

令和8年度

# 水産業振興施策の概要



令和8年4月

鹿児島県商工労働水産部





目



次

第1	本県水産業の概要	1
第2	水産業振興施策推進の基本目標	13
第3	令和8年度 水産業振興施策の体系	14
第4	令和8年度 水産業振興施策の概要	15
1	水産振興課	
ア	持続可能な漁業・養殖業の推進	
①	奄美水産資源利用開発推進事業 (漁業調整係)	20
②	漁場油濁被害救済対策事業 (漁業監理係)	21
③	海面環境保全事業 (〃)	21
④	水産多面的機能発揮対策事業 (水産企画普及係)	22
⑤	離島漁業再生支援事業 (漁業監理係)	23
⑥	浅海増養殖振興事業 (栽培養殖係)	24
⑦	栽培漁業推進体制整備事業 (〃)	24
⑧	資源管理型漁業定着化事業 (漁業監理係)	25
⑨	環境にやさしい養殖生産推進事業 (栽培養殖係)	26
⑩	豊かな海づくり総合推進事業 (〃)	27
⑪	ウナギ資源増殖対策事業 (〃)	28
⑫	内水面漁業振興事業 (〃)	29
⑬	内水面資源保全対策事業 (〃)	30
⑭	国際漁場確保対策事業 (漁業調整係)	31
⑮	漁業調整等委員会費 (〃)	32
⑯	漁業調整対策事業 (〃)	33
⑰	遊漁対策調整事業 (漁業監理係)	34
⑱	漁業協定等指導事業 (〃)	35
⑲	TAC制度推進事業 (〃)	36
⑳	漁船管理安全対策指導事業 (漁業調整係・漁業監理係)	37
㉑	漁業取締事業 (漁業監理係)	38
㉒	漁業取締関連施設適正管理事業 (〃)	39
㉓	漁業用燃油価格高騰緊急対策事業 (水産企画普及係)	40
㉔	養殖用配合飼料価格高騰緊急対策事業 (栽培養殖係)	41
㉕	赤潮対策緊急支援事業 (〃)	42
㉖	⑨高水温に対応したブリ人工種苗中間育成高度化事業 (〃)	43
㉗	⑨赤潮情報共有ネットワーク構築事業 (〃)	44
㉘	⑨環境変動に対応した藻類養殖強靱化事業 (〃)	44

イ 漁業の担い手の育成・確保

① 水産業改良普及事業	( 水産企画普及係 )	45
② 漁業生産の担い手育成確保事業	( 〃 )	46
③ かごんま漁師育成推進事業	( 〃 )	47
④ ブルー・ツーリズム推進事業	( 〃 )	48
⑤ <sup>新</sup> 気候変動・物価高騰に対応した水産業定着緊急支援事業	( 〃 )	49
⑥ 漁業近代化資金等融通助成事業	( 漁 協 係 )	50
⑦ 水産業経営安定支援資金融通助成事業	( 〃 )	51
(参考)		
水産金融の貸付条件等一覧表	( 〃 )	52
⑧ 沿岸漁業改善資金貸付事業	( 〃 )	54
(参考)		
沿岸漁業改善資金の貸付条件等一覧表	( 〃 )	55
⑨ 漁業経営改善促進資金融融事業	( 〃 )	57
⑩ 漁業共済推進事業	( 〃 )	58
⑪ 漁業協同組合経営改善等指導事業	( 〃 )	59
⑫ 水産業協同組合育成指導事業	( 〃 )	60
⑬ 漁協組織緊急再編対策事業	( 〃 )	61

ウ 水産物の流通・加工・販売対策

① 奄美水産資源利用開発推進事業(再掲)	( 漁 業 調 整 係 )	62
② かごしまのさかな消費拡大応援事業	( 水産流通対策係 )	63
③ 水産加工業の輸出向けH A C C P等 対応施設整備事業	( 〃 )	64
④ かごしまのさかな稼ぐ輸出応援事業	( 〃 )	65
⑤ 大規模輸出産地生産基盤強化 プロジェクト事業	( 栽培養殖係・水産流通対策係 )	66
⑥ 鯉節輸出体制構築支援事業	( 水産流通対策係 )	67

エ 漁業生産の基盤づくり

① 浜の活力再生施設整備事業	( 水産流通対策係 )	68
② 種子島周辺漁業対策事業	( 〃 )	69
③ 防衛施設周辺民生安定施設整備事業	( 〃 )	70
④ <sup>新</sup> 水産物卸売市場流通効率化緊急支援事業	( 〃 )	71

## 2 漁港漁場課

### ア 持続可能な漁業・養殖業の推進

① 広域漁場整備事業	( 漁 場 開 発 係 )	72
② 石油貯蔵施設周辺地域整備事業	( 〃 )	73
③ 浮魚礁維持管理事業	( 〃 )	73
④ 直轄広域漁場整備事業	( 〃 )	74

### イ 漁業生産の基盤づくり

① 漁港維持管理調査事業	( 管 理 係 )	75
② 漁港管理計画関連委託事業	( 〃 )	76
③ 県単漁港補修事業	( 管理係・計画係 )	77
④ 全国漁港漁場大会開催事業	( 管 理 係 )	78
⑤ 地域水産基盤整備事業	( 計画係・建設係 )	79
⑥ 広域漁港整備事業	( 〃 )	79
⑦ 漁港機能高度化事業	( 計画係・建設係 )	80
⑧ 水産基盤機能保全事業	( 〃 )	81
⑨ 漁港施設機能強化事業	( 〃 )	81
⑩ 漁港関連道整備事業	( 〃 )	82
⑪ 漁港漁村活性化対策事業	( 〃 )	82
⑫ 漁港海岸保全事業	( 〃 )	83
⑬ 県単漁港整備事業	( 〃 )	84
⑭ 市町村地域水産基盤整備事業	( 〃 )	85
⑮ 市町村水産基盤機能保全事業	( 〃 )	86
⑯ 市町村漁港海岸保全事業	( 〃 )	87
⑰ 漁業集落排水整備促進事業	( 〃 )	88
⑱ 漁港災害復旧事業	( 建 設 係 )	89
(参考)		
令和8年度漁港漁場関係事業補助率表	( 計 画 係 )	90

## 3 水産技術開発センター

### オ 水産技術の開発と普及

① 漁業情報提供事業	( 企画・栽培養殖部 )	100
② 200カイリ水域内漁業資源総合調査	( 資 源 管 理 部 )	101
③ マグロ漁場調査	( 〃 )	102
④ 沿岸・近海漁業資源調査	( 〃 )	103
⑤ 資源管理効果向上調査	( 〃 )	104
⑥ ICTを活用したスマート漁船漁業実装化事業	( 〃 )	105

⑦ 赤潮総合対策調査事業	( 漁 場 環 境 部 )	106
⑧ 鹿児島海藻パーク推進事業	(       "      )	107
⑨ 温排水影響調査事業	( 漁場環境部・資源管理部 )	108
⑩ かごしまのさかな付加価値向上事業	( 水 産 食 品 部 )	109
⑪ 魚病総合対策事業	(       "      )	110
⑫ 内水面漁業総合対策研究	(       "      )	111
⑬⑭ブリ類人工種苗養殖高度化技術普及事業	( 企画・栽培養殖部 )	112
⑭ ブリ類の養殖高度化技術開発事業	(       "      )	113
⑮ 人工生産ウナギ飼育技術向上試験	(       "      )	114
⑯⑰高水温に対応したブリ類養殖技術開発事業	( 企画・栽培養殖部・水産食品部 )	115
⑰ 公募型試験研究事業	( 各           部 )	116

第5 参 考 . . . . . 117

1 鹿児島県予算の概要

(1) 一般会計予算 . . . . .	117
(2) 特別会計予算 . . . . .	119
(3) 課別予算費目別予算 (水産関係) . . . . .	119

2 水産関係の行政組織

(1) 商工労働水産部 (水産関係) 事務分掌 . . . . .	120
(2) 水産庁等 . . . . .	122
(3) 海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会 . . . . .	123

3 水産関係各種機関・団体

(1) 水産関係学校 . . . . .	124
(2) 各種団体等 . . . . .	124
(3) 沿海市町村 . . . . .	126
(4) 漁業協同組合 . . . . .	127

# 第1 本県水産業の概要

## 1 本県水産業の概況

### (1) 漁業生産量の動向

令和6年の漁業総生産量は、前年に比べ230トン（2.3%）増加し、99,078トンとなっています。このうち、海面漁業・養殖業は、91,794トンで総生産量の92.6%を占めており、前年に比べ943トン（1.0%）増加しました。内水面漁業・養殖業は、7,284トンで総生産量の7.4%を占めており、前年に比べ713トン（8.9%）減少しました。

（単位：トン）

		H15	H20	H25	H30	R4	R5	R6	R6構成比	R6/R5
海面	漁業	90,401	93,683	89,430	40,621	40,621	45,724	44,069	44.5%	96.4%
	養殖業	55,662	60,588	56,140	43,703	43,703	45,127	47,725	48.2%	105.8%
	計	146,063	154,271	145,570	84,324	84,324	90,851	91,794	92.6%	101.0%
内水面	漁業	95	66	56	32	32	31	30	0.03%	96.8%
	養殖業	7,783	7,621	5,880	7,976	7,976	7,966	7,254	7.3%	91.1%
	計	7,878	7,687	5,936	8,008	8,008	7,997	7,284	7.4%	91.1%
合計		153,941	161,958	151,506	122,320	92,332	98,848	99,078	100.0%	100.2%

海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（内水面漁業は県水産振興課調べ）

### (2) 漁業産出額の動向

令和6年の漁業総産出額は、前年に比べ1,345百万円（1.2%）増加し、115,440百万円となっています。このうち、海面漁業・養殖業は、79,265百万円で総産出額の68.7%を占めており、前年に比べ2,483百万円（3.2%）増加しました。内水面漁業・養殖業は、36,175百万円で総産出額の31.3%を占めており、前年に比べ1,138百万円（3.0%）減少しました。

（単位：百万円）

		H15	H20	H25	H30	R4	R5	R6	R6構成比	R6/R5
海面	漁業	30,888	30,068	25,542	19,021	19,021	20,149	17,421	15.1%	86.5%
	養殖業	52,999	51,315	51,095	57,967	57,967	56,634	61,844	53.6%	109.2%
	計	83,886	81,383	76,637	76,988	76,988	76,782	79,265	68.7%	103.2%
内水面	漁業	156	114	118	81	81	104	98	0.08%	94.2%
	養殖業	10,855	22,284	27,512	40,690	40,690	37,209	36,077	31.3%	97.0%
	計	11,011	22,398	27,630	40,771	40,771	37,313	36,175	31.3%	97.0%
合計		94,897	103,781	104,267	106,367	117,759	114,095	115,440	100.0%	101.2%

海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（内水面は県水産振興課調べ）

(3) 本県漁業の主要指標

項 目	単位	鹿児島県			全国	全国 占有率 (%)	順位
		R 6	R 5	R 6/R 5 (%)			全国
海面漁業・養殖業生産量	トン	91,794	90,851	101.0	3,777,920	2.4	12
海面漁業漁獲量	トン	44,069	45,724	96.4	2,786,195	1.6	16
まぐろ類	トン	6,877	9,724	70.7	122,648	5.6	6
かじき類	トン	334	432	77.3	8,411	4.0	7
かつお類	トン	5,732	4,977	115.2	256,596	2.2	11
しらす	トン	448	612	73.2	36,391	1.2	15
さば類	トン	6,778	4,985	136.0	255,857	2.6	10
あじ類	トン	4,396	3,436	127.9	107,860	4.1	6
たい類	トン	687	653	105.2	23,451	2.9	10
いか類	トン	479	421	113.8	50,679	0.9	18
海面養殖業収穫量	トン	47,725	45,127	105.8	802,927	5.9	5
ぶり類 (かんぱちを含む)	トン	41,919	40,588	103.3	131,415	31.9	1
くろまぐろ	トン	3,148	1,848	170.3	18,687	16.8	2
ひらめ	トン	176	278	63.3	1,570	11.2	3
くるまえび	トン	303	267	113.5	1,383	21.9	2
内水面養殖業収穫量	トン	7,254	7,966	91.1	30,341	23.9	1
うなぎ	トン	7,150	7,852	91.1	18,341	39.0	1
海面漁業・養殖業産出額	百万円	79,265	76,782	103.2	1,524,104	5.2	5
海面漁業産出額	百万円	17,421	20,149	86.5	951,040	1.8	14
海面養殖業産出額	百万円	61,844	56,634	109.2	573,064	10.8	2
水産加工品生産量							
かつお節	トン	20,193	18,980	106.4	26,493	76.2	1
漁船隻数	隻	7,672	7,850	97.7	197,088	3.9	7

令和6年海面漁業生産統計調査, 内水面漁業生産統計調査, 水産加工統計調査, 漁船統計表

(4) 本県漁業の地位

・海面漁業魚種別漁獲量

(単位：トン)

令和6年海面漁業生産統計調査

	全国計	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	全国シェア (%)
みなみまぐろ	6,505	宮城 2,081	静岡 1,314	岡山 1,166	鹿児島 999	富山 406	高知 268	青森 193	15.4%
びんなが	26,849	高知 6,225	宮崎 6,190	沖縄 3,882	宮城 1,784	静岡 1,702	鹿児島 1,473	三重 1,726	5.5%
めばち	29,021	宮城 5,676	高知 3,650	静岡 3,233	神奈川 1,986	鹿児島 1,974	岩手 1,796	青森 1,744	6.8%
うるめいわし	69,476	長崎 30,863	宮崎 11,177	島根 5,478	愛媛 5,169	鹿児島 3,795	三重 3,529	高知 2,998	5.5%
あじ類	107,860	長崎 41,509	島根 12,411	宮崎 10,481	高知 5,053	愛媛 4,694	鹿児島 4,396	三重 4,200	4.1%

・海面・内水面養殖魚種別収穫量

(単位：トン)

令和6年海面漁業生産統計調査, 内水面漁業生産統計調査

	全国計	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	全国シェア (%)
ぶり	103,780	鹿児島 25,458	愛媛 19,705	大分 16,242	宮崎 10,130	長崎 9,147	高知 5,759	香川 4,223	24.5%
かんばち	23,344	鹿児島 14,574	高知 2,216	宮崎 1,979	愛媛 1,498	香川 1,122	大分 970	熊本 471	62.4%
くろまぐろ	18,687	長崎 6,666	鹿児島 3,148	高知 2,301	愛媛 1,534	三重 1,326	和歌山 1,274	大分 614	16.8%
ひらめ	1,570	大分 418	愛媛 267	鹿児島 176	長崎 148	宮崎 116	熊本 33	鳥取 4	11.2%
くるまえび	1,383	沖縄 450	鹿児島 303	熊本 231	長崎 91	山口 82	愛媛 10	徳島 4	21.9%
うなぎ	16,674	鹿児島 7,150	愛知 4,255	宮崎 2,635	静岡 1,806	三重 230	高知 122	徳島 121	42.9%

## 2 水産施策の推進状況

### (1) 資源管理の高度化と持続的利用の推進

#### ア 沿岸漁業の資源管理

本県沿岸域の重要資源については、漁業者により、体長制限や保護区の設定などの資源管理の取組が行われています。

魚種	取組地域	取組内容	備考
ヒラメ	県本土、甑島	<ul style="list-style-type: none"> <li>全長25cm以下の再放流</li> <li>刺網の網目を5寸目とする</li> <li>種苗放流の実施</li> </ul>	鹿児島海区漁業調整委員会指示 全長25cm以下採捕禁止
マダイ	県本土、甑島、熊毛	<ul style="list-style-type: none"> <li>全長15cm以下の再放流</li> <li>稚魚の採捕禁止</li> <li>種苗放流の実施</li> </ul>	鹿児島、熊毛海区漁業調整委員会指示 全長13cm以下採捕禁止
ヒゲナガエビ	北薩	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日の操業回数は4回まで</li> <li>7～8月及び12月を除く毎週土曜日、祝祭日は休漁</li> <li>網目は8節を上限とする</li> </ul>	
	南薩	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日の操業回数は4回まで</li> <li>1月～4月及び5月～9月の毎週土曜日は休漁</li> <li>網目は9節を上限とする</li> </ul>	
キビナゴ	甑島	<ul style="list-style-type: none"> <li>産卵期（5～7月）の禁漁区設定</li> <li>稚魚育成期（9～10月）の禁漁区設定</li> <li>網目は20節を上限とする</li> <li>出漁時間及び休漁日の設定</li> </ul>	
トコブシ	種子島	<ul style="list-style-type: none"> <li>殻長6cm以下は採捕禁止</li> <li>採捕期間の制限（5月1日～8月20日）</li> <li>操業時間の制限（午前9時～午後2時）</li> </ul>	
イセエビ	内之浦	<ul style="list-style-type: none"> <li>15cm未満の再放流</li> <li>旧暦の13～17日は休漁</li> <li>内之浦湾内は禁漁区とする</li> <li>許可数は50統を上限とする</li> <li>使用漁具数は50反を上限とする</li> </ul>	鹿児島県漁業調整規則 5/1～8/20採捕禁止
マゴチ	西薩	<ul style="list-style-type: none"> <li>400g未満は再放流</li> <li>使用漁具は網地が130間以内で総数40反以内、網丈を2.5m以内とする</li> <li>5月1～5日及び1日の休漁日を設定する</li> </ul>	
バショウカジキ	甑・西薩、鹿児島湾内、大隅・熊毛（刺網）	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期休漁日の設定</li> <li>大漁時は話し合いにより臨時休漁日を設定する</li> <li>反数制限の実施（1反100m以下で8反まで）</li> </ul>	
ゴマサバ	上屋久	<ul style="list-style-type: none"> <li>出荷量、出荷サイズの制限</li> <li>禁漁期（7、8月）の設定</li> <li>土曜日は禁漁日とする</li> </ul>	
マアジ、マイワシ、マサバ、ゴマサバ	鹿児島県地先海域（まき網）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1ヶ月の操業日数18日以内</li> <li>旧暦13～17日の晩は休漁</li> </ul>	
スジアラ	奄美	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型魚の水揚げ禁止</li> </ul>	
マチ類	奄美、熊毛	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護区の設定</li> <li>保護期間の設定</li> </ul>	

イ マグロ類の国際資源管理

マグロ類については、資源の保護と最適利用のため、5つの地域資源管理機関により、資源管理が行われています。

漁業管理機関名（設立年）	主な管理措置	備 考
I C C A T（1969年） （大西洋まぐろ類保存国際委員会） ※年次会合 毎年11月	○総漁獲可能量(TAC)の管理 ○30kg未満の大西洋クロマグロの採捕、保持、水揚げを原則禁止 ○保存管理措置に反したクロマグロの輸出入禁止と蓄養監視 ○運搬船へのオブザーバー乗船による、はえ縄漁船の洋上転載監視制度導入 ○クロマグロに対する漁獲証明制度(CDS)の導入	大西洋クロマグロの日本割当 ・東大西洋 R5 3,100トン R6 3,330トン R7 3,360トン ・西大西洋 R5 230トン(664.52) R6 255トン R7 270トン ( )は利用可能数量
I O T C（1996年） （インド洋まぐろ類委員会） ※年次会合 毎年6月	○毎年の実操業隻数を、メバチ・キハダについてはH18年水準、ビンナガ、メカジキについては、H19年水準に制限	
I A T T C（1950年） （全米熱帯まぐろ類委員会） ※年次会合 毎年6月又は7月	○管理措置は以下のとおり。 ・まき網漁業：72日間の全面禁漁、沖合特定区での1月間禁漁及びFADs使用数を大型まき網漁船で450個に制限	はえ縄漁業（メバチ） 日本漁獲枠32,372トン
W C P F C（2004年） （中西部太平洋まぐろ類委員会） ※年次会合 毎年12月	○まき網漁業 R4年～R5年の措置として、FADs禁漁期間設定(EEZ内3月、公海5月)及び使用個数を1隻あたり常時350個以下に制限（現行措置の継続） ○太平洋クロマグロ ・親魚資源量は既に回復目標を達成(2021年)、現在は資源の維持・管理段階に移行している。	30kg未満小型魚（10%増） 日本漁獲枠4,407トン 大型魚（50%増） 日本漁獲枠 4,882トン⇒8,421トン はえ縄漁業（メバチ） 日本漁獲枠18,265トン
C C S B T（1994年） （みなみまぐろ保存委員会） ※年次会合 毎年10月	○MP(管理方式)によるミナミマグロの総漁獲可能量(TAC)の管理 ○ミナミマグロに対する漁獲証明制度(CDS)の導入	ミナミマグロの日本割当 H29 4,737トン H30～R2 6,117トン(各年) R3～R4 6,197トン R5～R7 6,738トン

## (2) 漁場整備と栽培漁業の推進

持続的・安定的な漁業生産を実現するため、魚礁の設置等による漁場整備を進めるとともに、マダイやヒラメなど有用魚介類の種苗放流等を行っています。

### ア 漁場整備実績 (令和8年3月現在)

計 画 期 間	事業実施箇所数
第1次沿岸漁場整備開発事業 (S51～S56)	147
第2次沿岸漁場整備開発事業 (S57～S62)	151
第3次沿岸漁場整備開発事業 (S63～H5)	154
第4次沿岸漁場整備開発事業 (H6～H13)	163
漁港漁場整備長期計画 (第1次) (H14～H18)	63
漁港漁場整備長期計画 (第2次) (H19～H23)	20
漁港漁場整備長期計画 (第3次) (H24～H28)	22
漁港漁場整備長期計画 (第4次) (H29～R3)	20
漁港漁場整備長期計画 (第5次) (R4～)	16

### イ 放流実績 (豊かな海づくり広域連携事業 [H17～H21]、豊かな海づくり広域推進事業 [H22～])

	マダイ		ヒラメ	
	放流箇所	放流尾数 (千尾)	放流箇所	放流尾数 (千尾)
H23	33	872	34	513
H24	33	872	34	513
H25	33	872	34	513
H26	33	872	34	513
H27	33	872	34	513
H28	35	870	34	513
H29	36	870	34	513
H30	35	861	34	415
R1	36	861	34	519
R2	34	836	34	533
R3	35	836	34	533
R4	33	818	34	543
R5	33	792	33	533
R6	32	792	32	506
R7	32	735	32	518

### ウ 離島漁業再生支援交付金事業に係る漁業集落活動

離島漁業の再生を通じた水産業・漁村の持つ多面的機能の維持増進を図るため、漁場の生産力の向上に関する取組などが行われています。

#### ・漁場の生産力の向上に関する取組 (令和6年度実績)

活 動 内 容	市町村数	漁業集落数	活 動 内 容	市町村数	漁業集落数
種苗放流	13	22	漁場の管理・改善	16	35
産卵場・育成場の整備	14	28	サメ駆除	16	21
漁場監視	9	17	オニヒトゲ駆除	4	7
その他	7	11	藻場造成	7	15
			その他	6	6

#### ・漁業の再生に関する実践的な取組 (令和6年度実績)

活 動 内 容	市町村数	漁業集落数	活 動 内 容	市町村数	漁業集落数
新たな漁具・漁法の導入	5	7	流通体制改善	5	5
新規養殖業への着業	1	4	簡易加工	5	9
低・未利用資源の活用	2	2	海洋レジャーへの取組	1	1
高付加価値化	3	3	販路拡大	7	12
			その他	14	30

(3) 養殖業の振興

令和6年の海面養殖業生産量は、前年に比べ2,598トン増加し、47,725トンとなりました。

このうち、かんぱちを含めたぶり類養殖業は、41,919トンで海面養殖業生産量の87.8%を占めており、前年に比べ1,332トン増加しました。

一方、内水面養殖業の総生産量は7,254トンで、前年に比べ712トン減少しました。そのうち98.6%を占めるうなぎ養殖の生産量は7,150トンで、前年に比べ702トン減少しました。

ア 養殖種類別養殖生産量

(単位：トン)

養殖種類	H15	H20	H25	H30	R4	R5	R6	R6構成比	R6/R5
ぶり類	25,139	29,491	29,251	29,499	23,364	25,784	27,345	57.3%	106.1%
かんぱち	26,090	26,020	20,663	16,778	13,896	14,803	14,574	30.5%	98.5%
まだい	1,125	704	628	800	1,310	1,158	1,137	2.4%	98.2%
ひらめ	683	650	626	490	374	278	176	0.4%	63.3%
くるまえび	584	472	381	324	232	267	303	0.6%	113.5%
のり類	1,110	1,062	1,064	955	673	492	456	1.0%	92.7%
その他	882	2,189	3,527	3,408	3,854	2,345	3,734	7.8%	159.2%
合計	55,662	60,588	56,140	52,254	43,703	45,127	47,725	100.0%	105.8%

農林水産統計年報

イ 魚種別養殖産出額

(単位：百万円)

養殖種類	H15	H20	H25	H30	R4	R5	R6	R6構成比	R6/R5
ぶり類 (かんぱち含む)	43,481	39,992	36,459	41,685	44,440	46,053	47,918	77.5%	104.0%
まだい	853	522	535	736	1,134	1,061	1,115	1.8%	105.1%
くるまえび	3,063	2,444	1,758	1,494	1,400	1,431	1,441	2.3%	100.7%
のり類	1,126	527	573	507	-	-	-	-	-
くろまぐろ	-	-	9,152	7,978	9,050	5,633	8,820	14.3%	156.6%
その他	4,476	7,830	2,618	1,143	1,943	2,456	2,550	4.1%	103.8%
合計	52,999	51,315	51,095	53,543	57,967	56,634	61,844	100.0%	109.2%

農林水産統計年報（平成24年より、その他から「くろまぐろ」の項目を分離）

ウ 内水面養殖生産量

(単位：トン)

	H20	H24	H25	H30	R4	R5	R6	R6構成比	R6/R5
ます類	-	-	-	-	-	-	-	-	-
┌ にじます	87	69	68	74	93	88	78	1.1%	88.6%
└ その他	x	x	x	x	x	x	-	-	-
こい	x	x	x	x	19	x	20	0.3%	-
あゆ	83	68	53	x	x	x	7	0.1%	-
うなぎ	7,444	7,184	5,747	6,381	7,858	7,852	7,150	98.6%	91.1%
テラピア	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	7,621	7,329	5,880	6,468	7,976	7,966	7,254	100.0%	91.1%

農林水産統計年報

※各数値は四捨五入しているため、合計値と一致しないことがある

(4) 漁業の担い手の育成・確保

令和5年の漁業就業者数は4,807人で、うち65歳以上の就業者数は1,860人となっており、全体の38.7%を占めています。

ア 年齢別漁業就業者数

	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H25	H30	R5
65歳未満漁業就業者	13,443	12,644	9,681	6,998	5,818	5,743	4,896	4,013	2,947
65歳以上漁業就業者	1,666	1,739	2,255	2,805	2,930	2,741	2,304	2,103	1,860
合計	15,109	14,383	11,936	9,803	8,748	8,484	7,200	6,116	4,807
高齢化率(%)	11.0	12.1	18.9	28.6	33.5	32.3	32.0	34.4	38.7

漁業センサス

イ 新規就業者数の推移

	H20	H25	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6
新規学卒者	7	6	12	10	9	21	17	7	7	9	18
新規学卒者以外	44	73	73	73	91	75	74	58	82	105	54
計	51	79	85	83	99	96	91	65	89	114	72

県水産技術開発センター

ウ 沿海漁協数及び組合員数

		S63	H5	H10	H15	H20	H30	R4	R5	R6
組合数	設立	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	解散	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合併	—	1	—	9	—	—	—	1	—
	計	74	70	68	61	49	47	42	41	41
組合員数	正組合員	11,479	9,857	8,500	7,339	6,224	4,599	4,054	3,927	3,833
	准組合員	11,200	11,305	10,734	10,292	9,767	7,857	7,284	7,098	6,877
	総数	22,679	21,162	19,234	17,631	15,991	12,456	11,338	11,025	10,710
	平均組合員数	306.5	302.3	282.9	289.0	326.3	265.0	276.5	268.9	261.2

県水産振興課（平均組合員数は組合員総数を組合数で除して算出）

エ 漁船隻数の推移

		H15	H20	H25	H30	R4	R5	R6	R6構成比	R6/R5
合計隻数		12,069	11,239	10,146	8,868	8,035	7,850	7,672	100%	97.7%
海水無動力		45	39	34	35	32	31	32	0.4%	103.2%
動力船	3t未満	8,173	7,566	6,811	5,888	5,273	5,117	4,991	65.0%	97.5%
	3~5t	2,210	2,037	1,829	1,579	1,397	1,374	1,334	17.4%	97.1%
	5~10t	957	923	846	765	729	723	711	9.3%	98.3%
	10t以上	679	674	626	601	611	610	602	7.8%	98.7%
平均トン数		6.0	5.7	5.3	5.2	5.3	5.3	5.4	—	101.9%

漁船統計表



ア 本県市場取扱高の推移（単位 水揚量：トン, 取扱金額：百万円, 平均単価：円/kg）

	H5	H10	H20	H25	H30	R3	R4	R5	R5/R4
総水揚量	253, 270	228, 501	203, 603	228, 166	202, 636	156, 882	172, 793	159, 825	92.5%
取扱金額	83, 865	83, 865	65, 225	64, 894	62, 953	47, 896	66, 865	64, 298	96.2%
平均単価	367	367	320	284	311	305	387	402	103.9%

県水産振興課（鹿児島県水産物卸売市場年報）

イ ブランド認定状況

「かごしまのさかな」ブランド認定については、「かごしまのさかなづくり推進協議会」において、現在8件が認定されています。（令和8年3月末現在）

認定年月	認 定 魚
平成16年2月	東町漁協並びに福山養殖(福山町漁協)の養殖ブリ
平成16年7月	垂水市漁協の養殖カンパチ
平成18年3月	ねじめ漁協の養殖カンパチ
平成19年11月	牛根漁協の養殖ブリ
平成19年11月	鹿屋市漁協並びに山川町漁協の養殖カンパチ
平成29年12月	谷山水産(高山漁協)の養殖カンパチ

ウ K-GAPの認証状況

かごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)において、これまでの農林産物に加え、平成26年度に初めて水産物の認証基準を定め、2魚種3件が認証されています。

(令和8年3月末現在)

認定年月	認 定
平成26年10月	養殖クルマエビ((株)ミネックス(喜界町))
平成27年3月	養殖クルマエビ(車海老日本(株)(南九州市))
平成31年3月	養殖カンパチ(鹿屋市漁協)

エ 直売施設等整備状況(平成19以降分, 令和8年3月末現在)

年度	事業主体	整備内容	事業名
H18~19	瀬戸内町	食堂及び直売所 「せとうち海の駅」	市町村漁港漁村活性化対策事業
H19~20	日置市	直売施設増設 「江口蓬莱館」	市町村漁港漁村活性化対策事業
H20	串木野市島平漁協	産地直売施設 「照島 海の駅」	種子島周辺漁業対策事業
H20	羽島漁協	産地直売施設 「うんのもん」	種子島周辺漁業対策事業
H19~21	指宿市 (山川)	食堂及び直販所 「活お海道」	市町村漁港漁村活性化対策事業
H23	串木野市島平漁協	地域産物販売提供施設 「照島海の駅食堂」	種子島周辺漁業対策事業
H27	串木野市漁協	産地直売施設 「海鮮まぐろ家」	種子島周辺漁業対策事業
H28	市来町漁協	食堂「市来えびす市場」	種子島周辺漁業対策事業
R3~R4	谷山漁協	地域産物展示販売施設 「七ツ島海宝館」	種子島周辺漁業対策事業

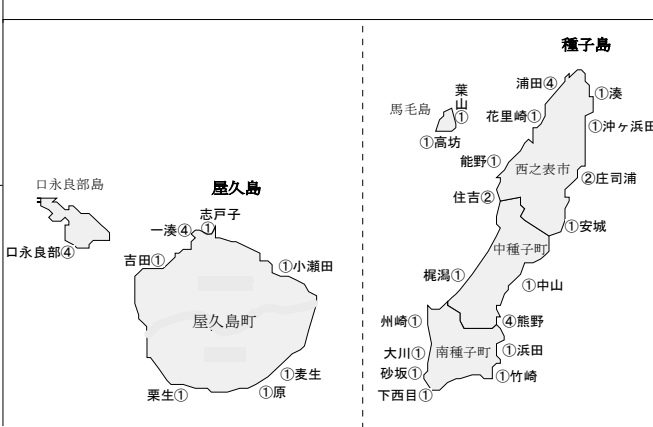
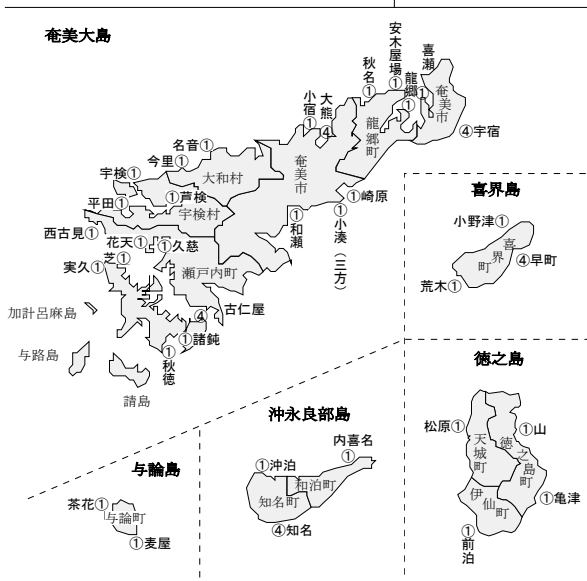
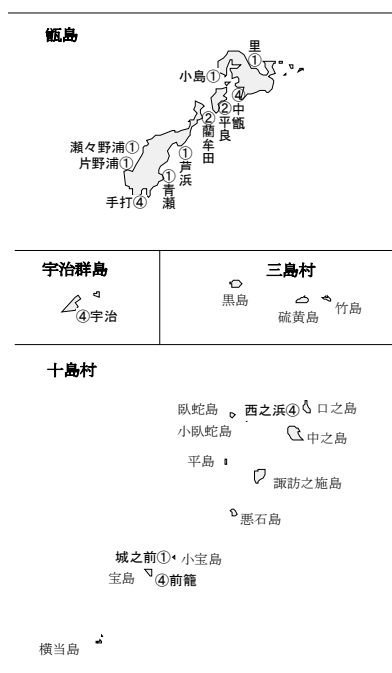
(6) 漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化

ア 漁港の整備

全国第3位の2,600kmに及ぶ海岸線と数多くの離島を抱える本県は、全国第5位の139港が漁港として指定されています。

これらの漁港は、昭和26年以来着実に整備が進められ、水産業の発展に寄与するとともに、離島航路の拠点港などとしても人々の生活を支えています。

種別	管理者	漁 港 数			
		合計	本土	離島	奄美
第①種	市町村	94	35	29	30
第②種	県	24	19	5	-
第③種	県	4	4	-	-
特③種	県	1	1	-	-
第④種	県	16	3	8	5
計		139	62	42	35



イ 漁村の整備

安全で活力ある漁村づくりを推進するため、防災力の強化や生活環境の改善を図っています。

(令和8年3月現在)

	整備完了地区数	整備中の地区数	整備予定地区数
生活環境施設整備	18	0	—
集落排水施設整備	12	0	—

※施設別地区数は重複あり

## 第2 水産業振興施策推進の基本目標

水産業・漁村は、水産物を安定的に供給することにより、健康で豊かな日本型食生活の一翼を担うとともに、多面にわたる公益的機能を通じて県民生活の向上や地域経済の振興に大きな役割を果たしています。

しかし、漁業生産量の減少、燃油価格の変動による漁業経営の不安定化、漁業就業者の減少・高齢化等や気候変動に伴う海水温の上昇等により、水産資源や漁業・養殖等への影響が懸念されるなど、水産業・漁村を取り巻く情勢は変化しています。

また、食糧資源の需給の逼迫、地球温暖化など世界規模での環境悪化が懸念される中、国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」においては、「海の豊かさを守ろう」なども目標に掲げられており、本県における持続可能な水産業・漁村の実現のためにも、この取組は重要と考えます。

国においては、「水産基本法」に基づく新たな「水産基本計画」を策定し、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢バランスのとれた漁業就労構造を目指すとした「水産政策の改革の方向性」を示しました。さらに、漁業法や水産業協同組合法が改正されました。

県においては、「鹿児島県水産業振興基本計画」に基づき、以下の5つの基本目標に沿って水産業の「稼ぐ力」を引き出し、「おさかな王国かごしま」の実現に向け、水産業の振興と漁村の活性化に取り組みます。

### 1 持続可能な漁業・養殖業の推進

#### (1) 資源管理の高度化と持続的利用の推進

水産資源を持続的に利用し、漁業経営の維持を図るため、資源管理の高度化と資源・環境に見合った適切な漁業操業を推進します。

#### (2) 漁場整備と栽培漁業の推進

漁場の整備や藻場・干潟等の維持・造成、有用魚介類の種苗放流を推進します。

#### (3) 海面養殖業の振興

持続可能な生産の推進を図るとともに、消費者ニーズに対応した安心・安全な養殖生産を推進します。

#### (4) 内水面漁業・養殖業の振興

内水面環境の維持・保全や資源の保護管理、増殖への取組を推進します。

内水面養殖業については、安心・安全な養殖魚づくりの推進に努めます。

#### (5) 危機管理への対応

災害や緊急事案等が発生した際は、速やかな対応に努めます。

### 2 漁業の担い手の育成・確保

漁業就業者の減少や高齢化の進行に加え、燃油価格の変動による漁業経営の不安定化など厳しい状況の中、持続可能な漁業・養殖業を目指すために、中核的漁業者の育成や水産制度金融の充実、ICT等の新たな技術の普及による経営改善、新規就業者の育成等により、漁業の担い手の育成・確保を推進します。

また、漁業者の生産活動を支える漁協の合併による組織体制の整備と経営基盤強化を支援します。

### 3 水産物の流通・加工・販売対策

国内の販路拡大のため、地産地消やブランド魚・かごしま旬の魚等を利用した認知度向上の取組を支援します。

低・未利用魚の利用など付加価値の高い商品づくりを支援します。

消費拡大のため、魚食普及への取組を支援します。

国外の販路拡大のため、商談会の実施、国際認証やHACCP認証の取得等に対して支援します。

### 4 漁業生産の基盤づくり

水産物の生産・流通機能の強化を目指し、漁港施設の整備や既存施設の長寿命化のための機能保全を推進するとともに、自然環境にも配慮した県土保全のための海岸施設の整備や老朽化対策を推進します。

### 5 水産技術の開発と普及

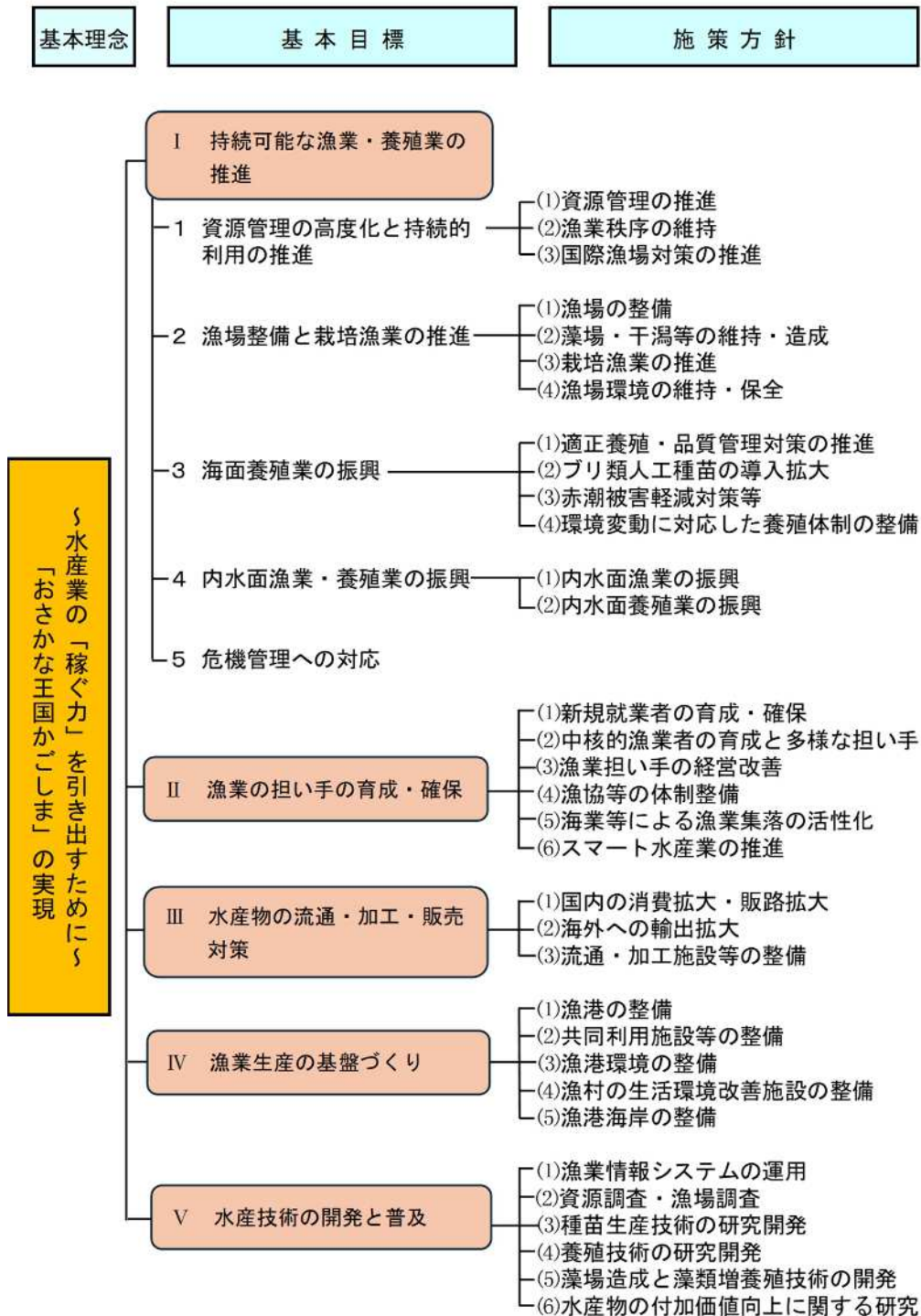
水産資源の持続的な利用や水産物の安定的な供給を図るために、多様化するニーズに対応するとともに新たな技術開発に取り組み、得られた成果の普及を図ります。

### 第3 令和8年度水産業振興施策の体系

#### 水産業・漁村の将来イメージ

- 新たな資源管理、ICT等を用いた生産性向上、「かごしまのさかな」等のブランド認知度向上、水産物特性に応じた付加価値向上、輸出拡大等により、漁業者の所得向上が図られるとともに、水産業の担い手が確保され、持続可能な生産体制が構築されています。
- また、食育や地産地消の取組の進展を通じて、水産業が地域に根ざして発展しています。
- 国土や藻場・干潟等の自然環境等の保全、文化の継承等、漁村の持つ多面的な機能が発揮されるとともに、住民生活の安定はもとより、特色ある地域資源を活用した産業の振興や都市等との交流促進などが図られており、個性豊かで活力ある地域社会が形成されています。

#### 3 施策の体系



## 第4 令和8年度水産業振興施策の概要

### 1 持続可能な漁業・養殖業の推進

- 奄美水産資源利用開発推進事業（沿岸域資源利用開発調査）  
2,638千円 水産振興課  
〔奄美海域の水産資源の有効活用を図るため、藻場造成試験、スジアラ種苗量産技術開発等を実施する。〕
- 水産多面的機能発揮対策事業  
12,592千円 水産振興課  
〔藻場や干潟、海浜や河川環境の保全活動など、漁村の有する多面的機能発揮に資する漁業者組織の活動を支援する。〕
- 離島漁業再生支援事業  
126,243千円 水産振興課  
〔離島漁業の再生や特定有人国境離島地域における雇用拡充を図るため、共同で漁場の生産力の向上に取り組む漁業集落や新たな漁業、水産物直売、漁家民宿などを行う民間事業者等に対して支援を行う。〕
- 豊かな海づくり総合推進事業  
296,914千円 水産振興課  
〔マダイ・ヒラメの大規模放流事業により資源の回復・維持を図るとともに、養殖用ブリ・カンパチ等の種苗生産を実施し、沿岸漁業の振興を図る。〕
- ウナギ資源増殖対策事業  
5,082千円 水産振興課  
〔ウナギ資源の増殖を図るため、シラスウナギの来遊モニタリング調査を行うとともに、放流技術の開発調査等を行う。〕
- 漁業取締関連施設適正管理事業  
7,827千円 水産振興課  
〔漁業指導取締船「制海」の係留港が、谷山二区へ移転することに伴い、これまでの係留港施設の原状回復を行う。〕
- 漁業用燃油価格高騰緊急対策事業  
104,771千円 水産振興課  
〔燃油価格高騰の影響を緩和するため、漁業経営セーフティーネット構築事業に参加する漁業者等の負担経費の一部を支援し、経営安定を図る。〕
- 養殖用配合飼料価格高騰緊急対策事業  
648,646千円 水産振興課  
〔配合飼料価格高騰の影響を緩和するため、漁業経営セーフティーネット構築事業に参加する養殖業者の負担経費の一部を支援し、経営安定を図る。〕
- 赤潮対策緊急支援事業  
206,217千円 水産振興課  
〔有害赤潮による漁業被害の軽減を図るため、モニタリング体制の高度化や赤潮抑制対策の実証及び係留施設や足し網等の施設整備を支援する。〕
- ⑨ 高水温に対応したブリ人工種苗中間育成高度化事業  
9,390千円 水産振興課  
〔ブリ人工種苗の中間育成時における高水温の影響緩和や中間育成初期の減耗を低減するため、飼育技術の改善による生残率の向上と漁家経営の安定を図る。〕

- ⑧ 赤潮情報共有ネットワーク構築事業 14,210千円 水産振興課  
 国の赤潮被害緊急総合対策補助金を活用し、赤潮対策に必要な情報の迅速な共有を図るため、海況情報や赤潮情報を集約・発信可能なネットワークを構築する。
- ⑧ 環境変動に対応した藻類養殖強靱化事業 25,743千円 水産振興課  
 国の環境変動に対応した栽培・養殖生産体制導入補助金を活用し、環境変動に対応した藻類養殖生産体制の確立を図るため、耐環境変動藻類の模索や養殖適地の探索などを行う。
- 広域漁場整備事業（公共） 971,271千円 漁港漁場課  
 水産資源の維持・増大と漁業経営の安定のため、魚礁設置等による広域的な漁場整備を行う。
- 直轄広域漁場整備事業（公共） 87,928千円 漁港漁場課  
 水産資源の増大を図るため、大隅海峡で国が行う漁場整備事業に負担金を支出する。

## 2 漁業の担い手の育成・確保

- 漁業生産の担い手育成確保事業 911千円 水産振興課  
 意欲と能力のある中核的な漁業者の育成等を行い、本県水産業を支える担い手の育成確保を図る。
- かごんま漁師育成推進事業 8,615千円 水産振興課  
 新規漁業就業者の確保・育成・定着を図るため、漁業のイメージアップやスマート水産業の普及促進に取り組むとともに、かごしま漁業学校における就業支援や、地域に密着した新米漁業者みまもり隊の運営・活動を支援する。
- ブルー・ツーリズム推進事業 403千円 水産振興課  
 ブルー・ツーリズムの体制づくりからブラッシュアップ、PRまでを一体的に支援し、学校教育や修学旅行等の体験学習や観光漁業などのブルー・ツーリズムを推進する。
- 漁業近代化資金資金利子補給事業 66,025千円 水産振興課  
 漁業者等への長期かつ低利の設備資金等の融通を円滑にするため融資機関に利子補給を行い、漁業者等の資本装備の高度化及び経営の近代化を図る。
- 沿岸漁業改善資金貸付 204,331千円 水産振興課  
 沿岸漁業の健全な発展、漁業生産力の増大及び沿岸漁業従事者等の福祉の向上を図るため、沿岸漁業従事者等に対し、操船漁ろう等の機器購入、漁家の住居等の改善、青年漁業者等の養成確保のための資金を無利子で貸し付ける。
- 漁業経営改善促進資金融資事業 2,681千円 水産振興課  
 漁業経営改善計画（経営の多角化、協業化及び販売方法の改善等の取組）の認定を受けた中小漁業者に対し、その取組の実施に必要な運転資金を融通した金融機関に対して利子補給を行う。

- 漁業共済推進事業 84,540千円 水産振興課  
〔 異常赤潮損害補てん特約に伴う養殖共済純掛金の掛金補助を行い、  
養殖漁業者の経営の安定を図る。 〕

### 3 水産物の流通・加工・販売対策

- 奄美水産資源利用開発推進事業（水産資源利用加工開発調査） 550千円 水産振興課  
〔 奄美海域の水産資源の有効活用を図るため、水産物の付加価値向上  
試験等を実施する。 〕

- かごしまのさかな消費拡大応援事業 3,051千円 水産振興課  
〔 県内外での本県水産物の認知度向上・消費拡大を図るため、魚食普  
及活動やマーケットの多様なニーズに対応した販売促進活動を支援す  
る。 〕

- 水産加工業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業 500,725千円 水産振興課  
〔 水産加工品の輸出拡大を図るため、水産加工業者が行う輸出先国の  
規制に対応したHACCP等の基準を満たすために必要な施設等の整  
備を支援する。 〕

- 奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業 568,881千円 水産振興課  
（総合政策部離島振興課で一括計上）  
〔 奄美群島における農林水産物等の輸送コストの負担軽減を図るた  
め、本土と比べ割高となっている農林水産物等の輸送費に対し、一部  
助成を行う。 〕

- かごしまのさかな稼ぐ輸出応援事業 45,442千円 水産振興課  
〔 県産水産物の輸出促進を図るため、関係者が一体となった販売促進  
活動や他国産・他県産競合商品との競争力向上等に資する取組を支援  
する。 〕

- 大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト事業 39,264千円 水産振興課  
（農政部農政課で一括計上）  
〔 県農林水産物輸出促進ビジョンに基づき、アジア、米国、EUなど  
に対する県産農林水産物の輸出拡大を図るため、生産体制と販売力の  
強化に取り組む。 〕

- 鯉節輸出体制構築支援事業 7,931千円 水産振興課  
〔 鯉節を海外の日本食ブームに伴う重要な輸出産品と位置づけ、EU  
の厳しい基準に適合した製造技術の実用化に向けた取組を行う。 〕

#### 4 漁業生産の基盤づくり

- 浜の活力再生施設整備事業 341,417千円 水産振興課  
〔水産物の収益力の向上や流通機能の強化を図るため、鮮度保持施設や加工処理施設等共同利用施設の整備を支援する。〕
- 種子島周辺漁業対策事業 483,764千円 水産振興課  
〔ロケット打上げによる漁業への影響を緩和するため、関係漁協等が行う共同利用施設等の整備を支援する。〕
- 〔新〕水産物卸売市場流通効率化緊急支援事業 40,432千円 水産振興課  
〔水産物卸売市場における環境変動対応や業務効率化等に資する設備等の整備を支援する。〕
- 全国漁港漁場大会開催準備事業 1,425千円 漁港漁場課  
〔令和9年度に本県で開催される「第76回全国漁港漁場大会」の円滑な実施に向け、実行委員会の開催、先催県への調査及び開催に係る関係機関との連絡調整を行う。〕
- 広域漁港整備事業（公共） 1,409,910千円 漁港漁場課  
〔水産物の生産及び流通の拠点整備を図るため、漁港施設の整備を行う。〕
- 水産基盤機能保全事業（公共） 1,162,671千円 漁港漁場課  
〔漁港施設等の長寿命化を図るため、機能保全計画の見直しや機能保全工事を行う。〕
- 漁港施設機能強化事業（公共） 435,950千円 漁港漁場課  
〔高潮・波高の増大や地震・津波等に対する漁港の安全対策として、漁港施設の機能強化を図る。〕
- 漁港海岸保全事業（公共） 919,040千円 漁港漁場課  
〔高潮等による被害から漁港背後集落等を守るため、漁港区域における海岸保全施設の整備や長寿命化対策を行う。〕

#### 5 水産技術の開発と普及

- 200カイリ水域内漁業資源総合調査 65,642千円 水産技術開発センター  
〔資源減少が危惧されている200カイリ水域内の漁業資源を評価し、漁獲可能量の設定や水産資源の維持、適切な利用の推進に資するため、漁場環境調査や資源量調査等に取り組む。〕
- 資源管理効果向上調査 920千円 水産技術開発センター  
〔ロケット打上げの影響緩和のため上記調査を一体的に行い、食害を未然に防ぐ事でマチ類の資源管理を推進し、経営安定化を図る。〕
- 〔新〕ICTを活用したスマート漁船漁業実装化事業 15,845千円 水産技術開発センター  
〔ICTを活用した海況予報や漁場予報を漁業現場に実装し、予報活用者の燃油消費量を削減して漁労所得を増加させることで、稼ぐ漁船漁業の推進を図る。〕

- 赤潮総合対策調査事業 5,787千円 水産技術開発センター

〔 有害赤潮等による漁業被害の未然防止、軽減を図るため、モニタリング技術や防除技術の高度化、赤潮発生の早期確認や短期予察等に取り組み、併せて調査等で得られた赤潮や貧酸素等の情報を養殖業者等へ提供する。〕
- 鹿児島海藻パーク推進事業 1,432千円 水産技術開発センター

〔 藻場の現状の把握や藻場造成・回復技術の改良・開発等による藻場の回復と、市場価値の高い有用海藻増養殖技術の改良によって、漁家経営の改善に資する。〕
- かごしまのさかな付加価値向上事業 523千円 水産技術開発センター

〔 水産加工業者の品質管理方法や漁業者の6次産業化への技術的課題を支援し、漁獲した魚の付加価値向上や加工品開発を支援する。〕
- 魚病総合対策事業 914千円 水産技術開発センター

〔 海面養殖業の魚病被害の軽減を図り、併せて食品として安全な魚の供給のため、魚類防疫対策、魚病検査・対策指導、水産用医薬品の適正使用指導等の総合的な魚病対策に取り組む。〕
- ⑧ ブリ類人工種苗養殖高度化技術普及事業 489千円 水産技術開発センター

〔 ブリ及びカンパチ人工種苗を用いた養殖の優位性や課題を把握し、人工種苗を用いた養殖の普及及び養殖技術の高度化を図る。〕
- ブリ類の養殖高度化技術開発事業 13,125千円 水産技術開発センター

〔 ブリ類の育種による高成長種苗の作出により生産原価の低減に取り組む。〕
- 人工生産ウナギ仔魚飼育実証試験 11,276千円 水産技術開発センター

〔 水産研究・教育機構と共同で人工生産ウナギ飼育技術の向上を目的とした仔魚飼育試験を実施するとともに、親魚養成技術の確立への取組を行う。〕
- ⑧ 高水温に対応したブリ類養殖技術開発事業 26,836千円 水産技術開発センター

〔 養殖ブリ類の生産原価の低減を図るため、高水温下における養殖期間の短縮とハダムシ被害の軽減に資する水中給餌技術を開発する。〕

ア 持続可能な漁業・養殖業の推進

事業名	① 奄美水産資源利用開発推進事業
-----	------------------

(水産振興課漁業調整係)

1 目的

奄美海域の水産資源の有効活用を図るため、藻場造成試験、スジアラ種苗量産技術開発、水産資源の利用加工試験を実施する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
沿岸域資源利用開発調査	県	2,088	2,088	<ul style="list-style-type: none"> <li>スジアラ種苗生産技術開発</li> <li>藻場造成試験</li> </ul>	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	
水産資源利用加工開発調査		550	550	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産資源の利用加工試験 (地魚の高品質冷凍技術の開発等)</li> </ul>	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	
計		2,638	2,638				

3 事業の実施状況

事業区分	令和7年度	令和8年度
沿岸域資源利用開発調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>南方系ガラモ場の造成試験等</li> <li>スジアラの種苗生産技術開発</li> <li>ソデイカ資源合理的利用支援調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南方系ガラモ場の造成試験等</li> <li>スジアラの種苗生産技術開発</li> </ul>
水産資源利用加工開発調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソデイカ等の付加価値向上試験</li> <li>特産品開発支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鮮度保持及び加工技術の指導</li> <li>地魚の高品質冷凍技術の開発及び普及</li> </ul>

事業名	② 漁場油濁被害救済対策事業
-----	----------------

(水産振興課漁業監理係)

1 目的

船舶等から流出し、又は排出される油による漁場油濁について、原因者が不明の場合又は原因者が判明していても防除措置及び清掃作業が行われない場合、被害の発生又は拡散防止のための費用を支弁することにより、被害漁業者の迅速かつ確実な救済と漁場の保全を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁場油濁被害救済対策事業費負担金 (S50～)	県	36千円	36千円	(公財)海と渚環境美化・油濁対策機構が行う漁場油濁の防除・清掃に要する費用の支弁事業に要する経費を負担金として拠出する。	1/4	1/4	1/2
計		36千円	36千円				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
漁場油濁被害救済対策事業費負担金	基金による防除作業等実績 なし	基金による防除作業等実績 なし

事業名	③ 海面環境保全事業
-----	------------

(水産振興課漁業監理係)

1 目的

黒神川流域等より流出し、漁業に被害を与えている軽石等を除去することにより、漁業被害の軽減を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
桜島軽石等除去事業 (S59～)	市	408千円	408千円	軽石除去作業に対して補助する。		1/2	1/2
計		408千円	408千円				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度			令和7年度		
	事業主体	事業費(千円)	事業量(m³)	事業主体	事業費(千円)	事業量(m³)
桜島軽石等除去事業	鹿児島市	275	11.0	鹿児島市	275	11.0
	垂水市	542	33.7	垂水市	542	33.7
	計	817	44.7	計	817	44.7

事業名	④ 水産多面的機能発揮対策事業
-----	-----------------

(水産振興課水産企画普及係)

1 目的

水産業・漁村の有する多面的機能の発揮に資する漁業者等の藻場や内水面の生態系の保全活動などを推進する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
水産多面的機能発揮対策事業 (H28～R7) ※水産多面的機能発揮対策推進事業 (H28～R7)	県協議会	8,213 千円	8,113 千円	・活動組織活動費(19 組織) 藻場や干潟, 内水面や海浜環境の保全など漁村の有する多面的機能の発揮に資する漁業者組織の活動を支援する。	7 10	1.5 10	1.5 10
	県	2,581 千円	2,729 千円	・県事務費 鹿児島県水産多面的機能推進協議会の運営指導及び市町の指導	10 10		
	市町村	1,750 千円	1,750 千円	・市町事務費 (14 市町) 活動組織との協定締結 活動組織の運営指導, 活動確認事務等	10 10		
計		12,544 千円	12,592 千円				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
水産多面的機能発揮対策事業 ※水産多面的機能発揮対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動組織数 22 (14 市町)</li> <li>・鹿児島県水産多面的機能推進協議会の運営指導を行ったほか、関係市町へ指導事務費を交付した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動組織数 19 (13 市町)</li> <li>・鹿児島県水産多面的機能推進協議会の運営指導を行ったほか、関係市町へ指導事務費を交付した。</li> </ul>

※ 事業実施のための交付金は県協議会から活動組織へ交付 (R6当初: 53,214 千円, R7当初:54,174 千円)

事業名 ⑤ 離島漁業再生支援事業

(水産振興課漁業監理係)

1 目的

離島漁業の再生や特定有人国境地域における雇用拡充を図るため、共同で漁場の生産力の向上に関する取組などを行う離島の漁業集落、新たな漁業・水産物直売・漁家民宿などを行う民間事業者等に対し支援を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
離島漁業再生支援事業 (H17～21, H22～26, H27～31, R2～6, R7～11)		千円	千円				
離島漁業再生支援交付金	市町村	124,025	115,990	○離島漁業再生支援交付金  ・離島漁業再生事業交付金（基本交付金） 共同で漁業の再生に取り組む離島の漁業集落（又は漁業地区）に対し交付金を交付する。（※特認離島における負担割合。交付単価は一般離島の2/3）  ・離島漁業新規就業者特別対策事業(H27～) 離島の新規就業者に対する漁船・漁具等のリースの取組を支援  ○特定有人国境離島漁村支援交付金(H29～)  特定有人国境離島地域の漁業集落が行う雇用機会の拡充を図るための取組を支援。  ※雇用の創出を円滑に行う為の環境整備	定額	任意	任意
					※定額	任意	任意
					2/4	1/4	1/4
					5/10	1/10	4/10
					2/4	1/4	1/4
離島漁業再生支援推進事業	県	3,600	3,600	・離島漁業再生支援事業推進交付金 離島漁業再生支援事業の円滑な推進を図るため、指導、助言、確認事務及び交付事務等を行う。	10/10		
	市町村	6,653	6,653		10/10		
計		134,278	126,243				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
離島漁業再生支援交付金	18市町村32漁業集落に交付金を交付 ・基本交付金(18市町村32漁業集落)	18市町村28漁業集落に交付金を交付 ・基本交付金(18市町村28漁業集落)
離島漁業再生支援推進事業	県及び18市町村が円滑な事業推進を図るため、指導、助言及び交付事務等を実施	県及び18市町村が円滑な事業推進を図るため、指導、助言及び交付事務等を実施

事業名	⑥ 浅海増養殖振興事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	-------------	--------------

1 目的

水産動植物の増殖及び養殖の推進による本県水産業の振興を図るため、増養殖の推進事業を行う関係機関との連携に努めるとともに、養殖種苗の適正な需要調整等により、海面養殖業の健全な発展を促進する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
栽培漁業促進事業 (S42～)	県	千円 1,750	千円 1,750	・(公社) 全国豊かな海づくり推進協会の会費負担 ・(公社) 日本水産資源保護協会の会費負担			
		450	450			10	
浅海増養殖振興事業		100	95	・養殖種苗の需要調整, 海面養殖業に関する実態調査, 情報交換等			10
計		2,300	2,295				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
栽培漁業促進事業 (1) 全国豊かな海づくり推進協会会費	(公社) 全国豊かな海づくり推進協会の会費を負担した。	(公社) 全国豊かな海づくり推進協会の会費を負担した。
(2) 日本水産資源保護協会会費	(公社) 日本水産資源保護協会の会費を負担した。	(公社) 日本水産資源保護協会の会費を負担した。
浅海増養殖振興事業	養殖種苗の需要調整、海面養殖業に関する実態調査等を実施した。	養殖種苗の需要調整、海面養殖業に関する実態調査等を実施した。

事業名	⑦ 栽培漁業推進体制整備事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	----------------	--------------

1 目的

資源の維持・増大により沿岸漁業を振興するため、栽培漁業の計画的かつ効率的な推進体制を整備する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
栽培漁業推進体制整備事業 (S58～)	県	千円 115	千円 115	・栽培漁業に関する企画・調査 ・栽培漁業に関する指導等会費負担			10
計		115	115				10

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
栽培漁業推進体制整備事業	・栽培漁業に関する調査・検討 ・各地域栽培漁業推進協議会に対し、栽培漁業に関する指導・協議を行った。 ・県栽培漁業推進協議会の書面開催	・栽培漁業に関する調査・検討 ・各地域栽培漁業推進協議会に対し、栽培漁業に関する指導・協議を行った。 ・県栽培漁業推進協議会の書面開催

事業名	⑧ 資源管理型漁業定着化事業
-----	----------------

(水産振興課漁業監理係)

1 目的

広域資源管理方針の策定指導とその効果の検証及び検討を行い、資源管理型漁業の定着を図る。  
 国の漁業収入安定対策において、漁業者が実践する資源管理計画の履行状況を確認する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
資源回復計画作成推進事業 (H11～)	県	千円 202	千円 200	・広域資源管理方針の策定指導, 効果の検証 及び検討, 漁業者協議会における指導等 ・漁業収入安定対策における漁業者が実践する資源管理計画の履行確認調査 (H23～)			10
	県	88	90				10
計		290	290				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
資源回復計画作成推進事業	(1) 漁業者協議会の開催及び出席指導 (マチ類) ・地区別漁業者協議会 3回 ・県漁業者協議会 1回 ・漁業者意見交換会 0回  (2) 広域資源管理方針関係会議出席 ・広域資源管理検討会議 ・広域漁業調整委員会	(1) 漁業者協議会の開催及び出席指導 (マチ類) ・地区別漁業者協議会 3回 ・県漁業者協議会 1回 ・漁業者意見交換会 0回  (2) 広域資源管理方針関係会議出席 ・広域資源管理検討会議 ・広域漁業調整委員会

(参考)

- ① 資源管理計画に取り組む漁業者に対しては、共済掛金に対する国庫補助の上乗せや国の収入安定対策（積立ぶらす）積立金の国庫補助率の拡大あり（漁業者：国＝1：1 → 1：3）
- ② 収入安定対策の強度資源管理タイプ（クロマグロ資源管理）については、拡充措置あり（払戻判定金額のH29の水産維持）
- ③ 漁業者協議会の開催については、県資源管理協議会が県漁連に委託

事業名	⑨ 環境にやさしい養殖生産推進事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	-------------------	--------------

1 目的

養殖漁場環境の現況を的確に把握し、改善策等の方策を実施することにより、養殖漁場の持続的利用と安定的な養殖生産を図り、本県養殖業の振興に資する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
魚類養殖協議会	県	69	69	魚類養殖協議会の開催 (H11~)		10	
						10	
計		69	69				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
魚類養殖協議会 持続的養殖生産推進事業	・魚類養殖協議会を開催 1回	・魚類養殖協議会を開催 1回

事業名	⑩ 豊かな海づくり総合推進事業
-----	-----------------

(水産振興課栽培養殖係)

1 目的

水産資源の維持・増大, 栽培漁業の推進を図るため、マダイ、ヒラメ、トコブシ、ブリ、カンパチの放流用及び養殖用種苗の生産、マダイ、ヒラメの大規模放流及び放流効果調査を実施する。

また、垂水市にある県種苗生産施設の全体的な維持管理を行うとともに、老朽化した施設等の計画的な補修を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
豊かな海づくり広域推進事業 (H27～)	県 (公財) かがしま豊かな海づくり協会	千円 35,840	千円 35,840	・放流効果の調査等 ・種苗の購入、放流			10 10
放流用種苗生産事業 (H27～)	県	161,516	198,499	・中間種苗の購入 ・種苗生産委託 (放流用: マダイ, ヒラメ, トコブシ 養殖用: ブリ, カンパチ)			
種苗生産施設維持補修事業	県	57,763	62,575	・土地建物の全体的な管理運営及び施設の維持補修			
計		255,119	296,914				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
豊かな海づくり広域推進事業 (H27～)	・マダイ (32箇所、792千尾) ・ヒラメ (32箇所、506千尾) ・放流効果調査	・マダイ (32箇所、755千尾) ・ヒラメ (32箇所、506千尾) ・放流効果調査
放流用種苗生産事業 (H27～)	・放流・養殖用種苗生産 マダイ 828千尾 ヒラメ 533千尾 トコブシ 126千個 カンパチ 378千尾 ブリ 221千尾	・放流・養殖用種苗生産 マダイ 787千尾 ヒラメ 537千尾 トコブシ 109千個 カンパチ 652千尾 ブリ 155千尾
種苗生産施設維持補修事業	・土地建物の全体的な管理運営及び施設の維持補修	・土地建物の全体的な管理運営及び施設の維持補修

事業名	⑪ ウナギ資源増殖対策事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	---------------	--------------

### 1 目的

ウナギ資源の保護増殖を図るため、ニホンウナギの来遊時期、来遊量、河川でのウナギ生息状況を把握するとともに、養殖ウナギの放流等により資源の維持、増大について検証する。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
ウナギ資源増殖対策事業	県	千円 5,082	千円 5,208	・シラスウナギ調査 ・馴致放流試験 ・ウナギ生息範囲拡大手法開発等	10		
計		5,082	5,208		10		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
ウナギ資源増殖対策事業	・シラスウナギ来遊調査を実施 ・標識放流調査を実施 ・汲み上げ放流手法開発試験を実施	・シラスウナギ来遊調査を実施 ・馴致放流試験を実施 ・汲み上げ放流手法開発試験を実施

#### (参考)

1. 令和7年度ウナギ資源の保護・増殖対策の取組（県ウナギ資源増殖対策協議会単独事業として実施）
  - (1) 協議会の開催（総会、勉強会、報告会）
  - (2) ウナギ資源の保護・増殖対策の調査事業  
鹿児島大学水産学部による、県内各河川等においてウナギの資源保護に係る各種調査を実施
  - (3) 保護・増殖の普及啓発（ポスターの作成・配付）
2. シラスウナギの採捕状況（令和6年度実績）
  - ・2,492 kg（昨年度 768 kg）
3. シラスウナギの池入状況（令和7年11月～令和8年4月）
  - (1) 池入上限数量 本県分 8.4トン（全国 21.7トン）
  - (2) 池入量 6.1トン（充足率 72%）※令和8年4月9日時点
4. ウナギ養殖業の許可の状況
  - ・51業者(R8.3.31現在)

事業名	⑫ 内水面漁業振興事業
-----	-------------

(水産振興課栽培養殖係)

1 目的

内水面漁業・養殖業の振興を図るため、情報収集、コイヘルペスウイルス病まん延防止対策、実態調査等を行う。また、県養鰻管理協議会が行うウナギ資源回復に向けた取組に対する支援を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
内水面漁業振興事業(S44～)	県	千円 117	千円 111	・内水面漁業・養殖業技術情報収集 ・コイヘルペスウイルス病まん延防止対策		10 10	
河川流域振興活動推進事業(H17～)	県	201	191	・内水面漁業実態調査 ・養殖用種苗需給調整		10 10	
養鰻資源管理推進事業(H27～)	県養鰻管理協議会	600	600	・県養鰻管理協議会が行うウナギ資源回復に向けた取組に対する補助	1 2		1 2
計		918	902				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
内水面漁業振興事業	コイヘルペスウイルス病まん延防止対策を実施(発症例なし)	コイヘルペスウイルス病まん延防止対策を実施(発症例なし)
河川流域振興活動推進事業	ウナギ・アユ資源の保護と適正な利用を図るため、内水面漁業、養殖業の実態調査を実施	ウナギ・アユ資源の保護と適正な利用を図るため、内水面漁業、養殖業の実態調査を実施
養鰻資源管理推進事業	県養鰻管理協議会のウナギ資源回復に向けた取組(総会、勉強会及びシラスウナギ池入状況現地検査等)に対する補助を実施	県養鰻管理協議会のウナギ資源回復に向けた取組(総会、勉強会及びシラスウナギ池入状況現地検査等)に対する補助を実施

事業名	⑬ 内水面資源保全対策事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	---------------	--------------

1 目的

本県の河川、湖沼等に生息する有用魚種に被害を及ぼすブラックバス、カワウ等食害生物の駆除や、アユの放流を通じた環境学習などの取組を支援する。また、ウナギ放流に係る経費の一部を支援する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
内水面資源保全対策事業(R3～)	漁協 県内水面漁連等	千円	千円	(1)外来魚被害対策事業 ・外来魚生息状況等調査事業 ・外来魚駆除事業 ・外来魚処理事業  (2)カワウ被害対策事業 ・カワウ生息状況等調査事業 ・被害防止対策事業 ・カワウ処理事業  (3)水辺の環境・資源保全推進事業 アユ種苗放流による資源増殖及び放流参加児童の水辺環境保全への意識向上  (4)ウナギの放流支援事業 ウナギの放流に係る経費の支援	1	1	1
		3,450	3,282		2	2	2
					1	1	1
					2	2	2
				10	10		
				1	2	2	
計		3,450	3,282		3	3	3

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
内水面資源保全対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラックバス等外来魚 8,414尾数を駆除(広瀬川漁協・県内水面漁連)</li> <li>・カワウの生息状況等調査と防除・駆除を実施(広瀬川漁協)</li> <li>・ウナギの放流 758kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラックバス等外来魚 3,374尾数を駆除(県内水面漁連)</li> <li>・カワウの生息状況等調査と防除・駆除を実施(県内水面漁連)</li> <li>・ウナギの放流 2,399kg</li> </ul>

事業名	⑭ 国際漁場確保対策事業
-----	--------------

(水産振興課漁業調整係)

### 1 目的

国際的な資源管理の強化や資源状態の悪化など、かつお・まぐろ漁業を取り巻く厳しい情勢に対処するため、県及び全国組織の協議会の運営や要望活動等を展開し、本県かつお・まぐろ漁業経営の維持安定を図る。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
国際漁場確保対策 (S52～)	県	千円 164	千円 164	1 県かつお・まぐろ漁業対策協議会の運営 (県、漁業団体、関係市などで構成) 委員20人		10 10	
				2 かつお・まぐろ漁業対策推進道県協議会 の運営 (全国12道県で構成) 会長：鹿児島県知事		10 10	
計		164	164				

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
県協議会の開催	10月 通常開催	10月 通常開催
全国協議会の開催	11月 通常開催	10月 通常開催
要望活動の実施	11月 農林水産省、水産庁、国会議員等へ 要望(対面)  要望内容 ① 資源及び漁業管理体制の推進 ② 国際競争力強化対策の推進 ③ 漁場確保対策の推進 ④ ALPS処理水放出に伴う影響対策	11月 農林水産省、水産庁、国会議員等へ 要望(対面)  要望内容 ① 資源及び漁業管理体制の推進 ② 国際競争力強化対策の推進 ③ 漁場確保対策の推進 ④ ALPS処理水放出に伴う影響対策

事業名	⑮ 漁業調整等委員会費
-----	-------------

(水産振興課漁業調整係)

### 1 目的

漁業法に基づき、知事からの諮問事項や漁業間の調整等の審議をするため海区漁業調整委員会（鹿児島・熊本・奄美大島・連合海区）及び内水面漁場管理委員会を開催する。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁業調整等委員会費 (S24～)	県	千円 17,097	千円 16,539	・海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会の開催  ※ 基礎的経費について定額	※	※	
計		17,097	16,539				

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
漁業調整等委員会費	海区漁業調整委員会等の開催（定例会）  連合海区 1回、鹿児島海区 7回、 熊本海区 6回、奄美大島海区 5回、 内水面委員会 6回	海区漁業調整委員会等の開催（定例会）  連合海区 2回、鹿児島海区 6回、 熊本海区 7回、奄美大島海区 6回、 内水面委員会 5回

事業名	⑩ 漁業調整対策事業
-----	------------

(水産振興課漁業調整係)

### 1 目的

漁業の免許・許可等を的確に行い、漁場の総合利用を促進するとともに、漁業相互間の調整を円滑にして漁業生産の安定を図る。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁業調整対策 (S24～)	県	千円 1,372	千円 1,279	・法令規則に基づく漁業の免許・許可及び漁業調整指導等	1/2	1/2	
稚ウナギ漁業許可デジタル化事業	県	8,000	—	・採捕から養鰻場への池入れまでの一貫したデジタル化の推進		10/10	
内水面総合漁業調整対策	県	—	5,000	・内水面における各種調査や稚ウナギ許可証デジタル化の運用及び水産流通適正化法対応に係る調査		10/10	
漁業権実態調査	県	1,089	4,243	・漁業権の免許を円滑にするための調査		10/10	
計		10,461	10,522				

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
漁業調整対策	(1) 法令規則に基づく漁業の免許・許可及び漁業調整指導等を実施 (2) 漁業権免許件数 (令和6年度末時点) 0件 (3) 漁業許可数 (令和6年度) ・まき網、敷網、もじゃこ等 1,963件 (4) 内水面採捕許可件数 (令和6年度) ・刺し網 35件 (5) 特別採捕許可件数 (令和6年度) ・試験研究等 59件 (6) 岩礁破砕許可件数 (令和6年度) 38件 (7) 特定水産動植物採捕許可件数 (令和6年度) 18件	(1) 法令規則に基づく漁業の免許・許可及び漁業調整指導等を実施 (2) 漁業権免許件数 (令和7年度末時点) 9件 漁業権変更件数 (令和7年度末時点) 5件 (3) 漁業許可数 (令和7年度) ・まき網、敷網、もじゃこ等 1,694件 (4) 内水面採捕許可件数 (令和7年度) ・刺し網 29件 (5) 特別採捕許可件数 (令和7年度) ・試験研究等 61件 (6) 岩礁破砕許可件数 (令和7年度) 16件 (7) 特定水産動植物採捕許可件数 (令和7年度) 15件

事業名	⑰ 遊漁対策調整事業
-----	------------

(水産振興課漁業監理係)

1 目的

遊漁船業の登録事務及び適正運営指導や遊漁船業務主任者講習会の開催し、利用者の安全確保等を図るとともに、遊漁船業の適正営業等の推進する。また、漁業者、遊漁者並びに海洋レクリエーション関係者との調和のとれた海面利用関係を確保する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
(S57～) 遊漁船業者等指導	県	千円 1,171	千円 1,208	・遊漁船業の登録事務及び適正営業等の指導や、海洋性レクリエーションに関するルールやマナー等について普及・周知を行う。		10	10
計		1,171	1,208				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
遊漁船業者等指導	・遊漁船業務主任者講習会 3回 19名	・遊漁船業務主任者講習会 3回 14名

事業名	⑱ 漁業協定等指導事業
-----	-------------

(水産振興課漁業監理係)

1 目的

日韓・日中漁業協定水域に出漁する小型漁船の安全かつ円滑な操業を図るとともに、自衛隊、在日米軍の海上演習に伴う漁業損失補償の申請事務の指導を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
適正操業指導事業 (S54～)	県	千円 0	千円 0	・日韓・日中漁業協定水域に出漁する本県漁船の安全かつ円滑な操業を図る。  ・自衛隊及び在日米軍の海上演習に伴う漁業損失補償の申請事務の指導等を行う。	10		
漁業損失補償調整指導		171	171		10		
計		171	171				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
適正操業指導事業	・日韓・日中漁業協定関係水域出漁船に対する協定内容の周知、安全操業及び規則の遵守等の適正操業指導等	・日韓・日中漁業協定関係水域出漁船に対する協定内容の周知、安全操業及び規則の遵守等の適正操業指導等
漁業損失補償調整指導事業	・漁業補償手続指導、協議調整等	・漁業補償手続指導、協議調整等

事業名	⑱ T A C 制度推進事業
-----	----------------

(水産振興課漁業監理係)

1 目的

「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律」(TAC法)に基づく漁獲可能量制度(TAC制度)による特定海洋生物資源の適正な管理のため、漁獲可能量制度に係る県計画の策定、公表及び指導を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
TAC制度推進事業(H9~)	県	千円 125	千円 125	県資源管理方針の変更及び管理 ・県資源管理方針見直しに係る情報収集及び関係機関との協議等 ・関係採捕漁業団体への情報提供・指導等		10 — 10	
計		125	125				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
TAC制度推進事業	<p>県資源管理方針に基づき、知事管理漁獲可能量の設定、変更及び管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年都道府県漁獲可能量</li> </ul> <p>まあじ 4,300トン(R6.1~R6.12) まいわし 現状水準(R6.1~R6.12) さば類 17,900トン(R6.7~R7.6) くろまぐろ (R6.4~R7.3) (大型魚) 23.2トン (小型魚) 27.9トン するめいか 現行水準(R6.4~R7.3) かたくちいわし 77,000トンの内数(R6.1~R6.12) うるめいわし 44,000トンの内数(R6.1~R6.12)</p> <p>鹿児島県資源管理方針における管理方策についての協議、情報収集等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①県方針の変更 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海区漁業調整委員会への県方針案の諮問、国承認申請等事務。</li> </ul> </li> <li>②県方針の漁業関係者への周知指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各漁業種別協議会等における県方針の周知指導、意見交換。</li> </ul> </li> <li>③TAC制度推進のための情報収集等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・TAC制度に係る都道府県担当者会議等への出席、意見交換、情報収集等。</li> </ul> </li> </ul>	<p>県資源管理方針に基づき、知事管理漁獲可能量の設定、変更及び管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年都道府県漁獲可能量</li> </ul> <p>まあじ 5,400トン(R7.1~R7.12) まいわし 15,000トン(R7.1~R7.12) さば類 11,300トン(R7.7~R8.6) くろまぐろ (R7.4~R8.3) (大型魚) 40.4トン (小型魚) 63.8トン するめいか 現行水準(R7.4~R8.3) かたくちいわし 50,000トンの内数(R7.1~R7.12) うるめいわし 46,000トンの内数(R7.1~R7.12) まだい 5,900トンの内数(R7.1~R7.12) ぶり 101,000トンの内数(R7.1~R7.12)</p> <p>鹿児島県資源管理方針における管理方策についての協議、情報収集等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①県方針の変更 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海区漁業調整委員会への県方針案の諮問、国承認申請等事務。</li> </ul> </li> <li>②県方針の漁業関係者への周知指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各漁業種別協議会等における県方針の周知指導、意見交換。</li> </ul> </li> <li>③TAC制度推進のための情報収集等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・TAC制度に係る都道府県担当者会議等への出席、意見交換、情報収集等。</li> </ul> </li> </ul>

事業名	⑳ 漁船管理安全対策指導事業
-----	----------------

(水産振興課漁業調整係・漁業監理係)

1 目的

漁船法等関係法令に基づき、漁船建造の調整や登録を行い、また漁業の指導監督に関する通信業務を鹿児島県無線漁業協同組合に委託し、漁船の安全航行に資する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁船管理安全対策 (S25～)	県	千円 4,567	千円 3,753	・漁船建(改)造指導, 漁船登録票交付, 漁船原簿謄本交付, 漁船検認及び漁船測度認定事務  ・漁業の指導監督に関する通信事務の委託		10	
漁業無線対策	県	27,070	27,000			10	
計		31,637	30,753				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
漁船管理安全対策	漁船登録件数 2,709件 (登録等に関する全ての事務処理件数)	・漁船登録件数 2,378件(2月末現在) (登録等に関する全ての事務処理件数)
漁業無線対策	・指導通信数 58,411通	・指導通信数 52,609通

事業名	② 漁業取締事業
-----	----------

(水産振興課漁業監理係)

### 1 目的

漁場の適正利用を図るため、漁業指導取締船等による適正操業の指導や漁業違反の取締りを行う。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁業指導・取締り (S24～)	県	千円 206,751	千円 161,009	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2隻の漁業指導取締船(制海, おおすみ)により本県海域を巡回し, 漁業指導及び取締りを実施する。</li> <li>・漁業指導取締船の船舶検査費・燃料費等の維持管理</li> <li>・海上保安部と取締会議を開催し, 取締業務の円滑化, 効率化を図る。</li> </ul>		10	
船舶維持管理						10	
漁業取締会議の開催							
計		206,751	161,009				

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
漁業取締事業	出動日数	318 日	出動日数	225 日
	検挙件数	3 件	検挙件数	4 件
	注意指導件数	500 件	注意指導件数	428 件

事業名

⑳ 漁業取締関連施設適正管理事業

(水産振興課漁業監理係)

## 1 目的

漁業取締関連施設の適正管理のため、使用を終了した鹿児島港中央港区（旧南港）の施設撤去を行う。

## 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁業取締関連施設適正管理事業	県	7,827千円	7,827千円	施設撤去工事の実施		10	
計		7,827千円	7,827千円			10	

## 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
漁業取締関連施設適正管理事業	施設撤去に向けた測量、設計業務を実施した。	当該の場所は、現在、国の港湾空港事務所が、湾岸道路の橋梁上部工事でヤードとして利用しており、着工できない状況にあるため、全額令和8年度に繰り越すこととした。

事業名	② 漁業用燃油価格高騰緊急対策事業
-----	-------------------

(水産振興課水産企画普及係)

1 目的

燃油価格高騰の影響を緩和するため、漁業経営セーフティーネット構築事業に加入している漁業者・養殖業者の負担経費の一部を支援し、経営安定化を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁業用燃油価格高騰緊急対策事業 (R4～)		千円	千円				
(1) 漁業者等の負担経費支援	県漁連等	106,915	104,019	(1) 漁業経営セーフティーネット構築事業に加入する際の漁業者等の積立金の1/6を補助	10	10	
(2) 事業主体の事務経費支援		752	752	(2) 漁業者等が所属する事業主体の事務経費を補助 (1千円/者)			
計		107,667	104,771				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
(1) 漁業者等の負担経費支援	・ 支援実績 721者	・ 支援実績 699者
(2) 事業主体の事務経費支援	・ 支援実績 5組織	・ 支援実績 5組織

事業名	④ 養殖用配合飼料価格高騰緊急対策事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	---------------------	--------------

1 目的

配合飼料価格高騰の影響を緩和するため、漁業経営セーフティネット構築事業に参加している養殖業者の負担経費の一部を支援し、経営安定化を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
養殖用配合飼料価格高騰緊急対策事業 (R7)		千円	千円				
(1) 養殖業者の負担経費支援	県漁連等	541,226	648,407	(1) 漁業経営セーフティネット構築事業に参加する際の漁業者等の積立金の1/6以内を補助	10		
(2) 事業主体の事務経費支援		245	239		(2) 養殖業者が所属する事業主体の事務経費を補助 (1千円/者)	10	
計		541,471	648,646				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
(1) 養殖業者の負担経費支援	・ 支援実績 235 者	・ 支援実績 233 者
(2) 事業主体の事務経費支援	・ 支援実績 3 組織	・ 支援実績 4 組織

事業名	㊼ 赤潮対策緊急支援事業
-----	--------------

(水産振興課栽培養殖係)

1 目的

有害赤潮による漁業被害の軽減を図るため、モニタリング体制の高度化や赤潮抑制対策の実証及び係留施設や足し網等の施設整備を支援する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
1 赤潮被害軽減対策実証事業		83,655	—		10		
(1)現場モニタリング体制高度化実証	漁協	57,023	—	・生産現場における赤潮監視体制を強化するための機器整備	—		
(2)赤潮研究体制高度化実証	県	24,214	—	・赤潮監視及び研究体制を強化するための機器整備	10		
(3)赤潮抑制対策実証	漁協	1,680	—	・赤潮被害抑制のための水中ドローン、海底耕耘の実証試験	定額		
(4)県指導事務費	県	738	—		5	1	4
2 赤潮被害軽減対策施設整備事業		122,562	—		—	—	—
(1)足し網の整備	漁協	12,702	—	・足し網により養殖魚の生簀内での赤潮回避を可能にし、被害を軽減する。	10	10	10
(2)生簀の大型化	漁協	109,860	—	・小型生簀を統合し赤潮被害が軽減される大型生簀に転換する。	以内	以内	以上
計		206,217					

※令和6年度3月補正予算を令和7年度に繰り越して執行。

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
1 赤潮被害軽減対策実証事業		
(1)赤潮モニタリング体制高度化実証	水質分析計1台、顕微鏡3台等の機器を整備	
(2)現場モニタリング体制高度化実証	顕微鏡17台、ドローン2台を整備	
(3)赤潮抑制対策実証	赤潮防除試験、海底耕耘試験を実施	
2 赤潮被害軽減対策施設整備事業		
(1)足し網の整備	足し網146台、中間パイプ115台を整備	
(2)生簀の大型化	15m角丸生簀2台を整備	
(3)避難漁場における養殖係留施設の整備	県内1地区に養殖係留施設を整備	

事業名	②⑥⑦高水温に対応したブリ人工種苗中間育成高度化事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	----------------------------	--------------

1 目的

ブリ人工種苗の中間育成時における高水温の影響緩和や中間育成初期の減耗を低減するため、飼育技術の改善による生残率の向上と漁家経営の安定を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
高水温に対応したブリ人工種苗中間育成高度化事業	県	—	9,390	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種による実証試験</li> <li>・中間育成環境を把握するための測定機器の購入支援・モニタリング指導</li> <li>・技術交流会の開催</li> </ul>			10
							10
計		—	9,390				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度

事業名	②⑦⑧赤潮情報共有ネットワーク構築事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	---------------------	--------------

1 目的

ICT ブイ等からの水温情報や赤潮プランクトン情報等を集約・共有し、関係者がリアルタイムで各種情報を入手できるシステムを開発することで、赤潮被害を減少させる。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
赤潮情報共有ネットワーク構築事業	県	14,210	—	・ ICT ブイ等からの水温情報や赤潮プランクトン情報等を集約・共有する赤潮情報共有ネットワークの構築	10	—	10
計		14,210	—				

※ 令和8年度は、令和7年度3月補正で実施

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度

事業名	②⑧⑨環境変動に対応した藻類養殖強靱化事業	(水産振興課栽培養殖係)
-----	-----------------------	--------------

1 目的

高水温耐性の藻類の模索や養殖適地の探索等を行い、環境変動に対応した藻類養殖生産体制の確立を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
環境変動に対応した藻類養殖強靱化事業	県	25,743	—	・ 高水温耐性藻類の導入に向けた培養試験や人工採苗試験 ・ ICT ブイ等を用いた海洋観測による養殖適地探索	10	—	10
計		25,743	—				

※ 令和8年度は、令和7年度3月補正で実施

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度

事業名	① 水産業改良普及事業	(水産振興課水産企画普及係)
-----	-------------	----------------

1 目的

沿岸漁業者の生産性の向上、経営の近代化を図るため、漁業者に対し技術、知識等の普及、指導を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分			
		令和7年度	令和8年度		国	県	他	
水産業改良普及事業(S28～)	県	千円	千円	(1) 普及管理 水産業改良普及業務に関する管理・運営				
		2,451	6,171	(2) 普及活動 水産業普及指導員の巡回指導				10
				(3) 職員研修 水産業普及指導員の資質向上を図るための研修				10
				(4) 技術改良 水産業普及指導員等が実施する漁業技術改良試験				
計		2,451	6,171					

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
水産業改良普及事業	(1) 普及管理 地域振興局・支庁、水産技術開発センターの23名で活動  (2) 普及活動 水産業普及指導員の巡回指導  (3) 職員研修（普及指導員） 現地研修会（東京都、福井県） 九州ブロック研修会（鹿児島市） 全体研修会（指宿市）  (4) 技術改良 現地適応化試験：アマモ場造成試験	(1) 普及管理 地域振興局・支庁、水産技術開発センターの23名で活動  (2) 普及活動 水産業普及指導員の巡回指導  (3) 職員研修（普及指導員） 現地研修会（東京都、宮崎県） 九州ブロック研修会（沖縄県） 全体研修会（指宿市）  (4) 技術改良 現地適応化試験：ヒオウギガイ養殖試験，トサカノリ増殖試験

事業名 ② 漁業生産の担い手育成確保事業

(水産振興課水産企画普及係)

1 目的

意欲と能力のある中核的な漁業者の育成などの後継者対策を推進するため、漁業士や中核的な漁業者グループの育成等を行い、本県水産業を支える担い手の育成確保を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
中核的漁業者育成確保事業(H19～)	県	569	569	中核的な協業体の育成支援、活動実績発表大会の開催、漁業士の認定等		10	10
研修推進事業	県	342	342	就業者研修、現地応用講座、コンサル派遣等		10	10
計		911	911				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
漁業生産の担い手育成確保事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地応用講座(0回)、コンサル派遣(0カ所)</li> <li>・活動実績発表大会(2名発表)</li> <li>・漁業士認定(5名)、研修会(2回)、</li> <li>九州ブロック研修会(38名※)</li> <li>※鹿児島開催のため多数参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地応用講座(0回)、コンサル派遣(1カ所)</li> <li>・活動実績発表大会(3名発表)</li> <li>・漁業士認定(2名)、研修会(2回)、</li> <li>九州ブロック研修会(2名)</li> </ul>

事業名	③ かごんま漁師育成推進事業	(水産振興課水産企画普及係)
-----	----------------	----------------

1 目的

新規漁業就業者の確保・育成及び漁業への定着率向上を図るため、関係機関等と連携し、漁業学校における就業支援や、新米漁業者みまもり隊の運営・活動の支援、スマート水産業を普及促進する取組を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
かごんま漁師育成推進事業(R6~R8)	県	千円 1,119	千円 944	(1)県が行う研修やイメージアップの取組等に要する経費		10 10	
	県漁連	1,878	1,878	(2)鹿児島県漁業協同組合連合会が漁業学校で行う研修に要する経費を支援		1 2	1 2
	地区漁業士会等	1,800	1,800	(3)漁業士会等が行う漁師紹介イベントに対し助成		1 2	1 2
	新米漁業者みまもり隊	4,063	3,803	(4)新米漁業者みまもり隊の運営・活動を支援		8 10	2 10
	県	285	190	(5)スマート水産業機器導入後の効果検証や先進地研修会を開催		10 10	
計		9,145	8,615				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
かごんま漁師育成推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入門研修 25名</li> <li>・ 短期研修 0名</li> <li>・ 中期研修 8名</li> <li>・ 漁業士会イベント等 4件</li> <li>・ 漁業の技術改善 6件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入門研修 25名</li> <li>・ 短期研修 0名</li> <li>・ 中期研修 3名</li> <li>・ 漁業士会イベント等 4件</li> <li>・ 漁業の技術改善 8件</li> </ul>

事業名	④ ブルー・ツーリズムPR推進事業	(水産振興課水産企画普及係)
-----	-------------------	----------------

1 目的

ブルー・ツーリズムの体制づくりからブラッシュアップ、PRまでを一体的に支援し、学校教育や修学旅行等の体験学習や観光漁業などのブルー・ツーリズムを推進する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
ブルー・ツーリズム推進事業(R7～R9)	県	千円	千円	(1)体制づくり支援 講習会の開催、体制づくり支援  (2)ブラッシュアップ支援 メニューづくり、人づくりの支援  (3)PR HP、イベント等を活用したPR			
		418	403			10	10
計		418	403				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
ブルー・ツーリズムPR推進事業	(1)HP等を利用した漁村地域の魅力発信 ブルー・ツーリズムの特集ページ等により、県内の魅力ある取組を発信した。 (2)ブルー・ツーリズム講習会の開催 2月に鹿児島市で開催し、漁協、市町村、観光関係者など約40名が出席	(1)HP等を利用した漁村地域の魅力発信 ブルー・ツーリズムの特集ページ等により、県内の魅力ある取組を発信した。 (2)ブルー・ツーリズム講習会の開催 2月に鹿児島市で開催し、漁協、市町村、観光関係者など約50名が出席

事業名 ⑤ ⑧ 気候変動・物価高騰に対応した水産業定着緊急支援事業 (水産振興課水産企画普及係)

1 目的

海水温の上昇や漁業用資材等の価格高騰などに対応するため、漁法導入や漁法転換、養殖手法の改良の支援を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
気候変動・物価高騰に対応した水産業定着緊急支援事業(R8～)	県	千円	千円	(1) 新たな漁法導入や漁法転換、養殖手法の改良等に要する経費の支援	2	1	
		40,000			—	—	
		—		(2) モデルとなる取組支援にあたっての対象事例の選定・審査(審査会の開催)や、先進地視察の実施	3	3	
			4,987		10		
計		—	44,987		10		

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度

事業名	⑥ 漁業近代化資金等融通助成事業
-----	------------------

(水産振興課漁協係)

1 目的

漁業者等の資本装備の高度化を図り、経営の近代化を促進するために必要となる資金を融通した金融機関に対して利子補給を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事 業 内 容	負担区分																																					
		令和7年度	令和8年度		国	県	他																																			
利子補給事業 (S44～)	県	千円	千円	1 借受資格者 漁業を営む個人・法人、漁業協同組合等  2 利率 (%) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>資金種類</th> <th>融資機関</th> <th>基準金利</th> <th>利子補給率</th> <th>貸付金利</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20ト以上</td> <td>信漁連</td> <td>3.75</td> <td>1.25</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>漁船</td> <td>農林中金</td> <td>3.55</td> <td>1.05</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>その他の</td> <td>信漁連</td> <td>3.75</td> <td>1.25</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>個人施設</td> <td>農林中金</td> <td>3.55</td> <td>1.05</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>共同利用</td> <td>信漁連</td> <td>2.90</td> <td>0.40</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>施設</td> <td>農林中金</td> <td>3.75</td> <td>1.25</td> <td>2.50</td> </tr> </tbody> </table> 注 利率は、令和8年3月18日現在  3 融資枠 26億円	資金種類	融資機関	基準金利	利子補給率	貸付金利	20ト以上	信漁連	3.75	1.25	2.50	漁船	農林中金	3.55	1.05	2.50	その他の	信漁連	3.75	1.25	2.50	個人施設	農林中金	3.55	1.05	2.50	共同利用	信漁連	2.90	0.40	2.50	施設	農林中金	3.75	1.25	2.50			10 10
		資金種類	融資機関		基準金利	利子補給率	貸付金利																																			
20ト以上	信漁連	3.75	1.25	2.50																																						
漁船	農林中金	3.55	1.05	2.50																																						
その他の	信漁連	3.75	1.25	2.50																																						
個人施設	農林中金	3.55	1.05	2.50																																						
共同利用	信漁連	2.90	0.40	2.50																																						
施設	農林中金	3.75	1.25	2.50																																						
計		66,025	65,192																																							

3 事業の実施状況

事業区分		年度別融資実績				令和7年度融資残高 (貸付残高累計) R7.12月末	
		令和6年度		令和7年度			
漁業近代化資金	個人施設(漁船・施設・ 機具・漁具・種苗等)	件	千円	件	千円	件	千円
		147	2,442,646	123	2,031,070	335	4,308,126
	共同利用施設	0	0	0	0	0	0
	計	147	2,442,646	123	2,031,070	335	4,308,126

1 目的

経営困難に陥っている中小漁業者及び水産加工業者の経営再建等を図るための資金を融通した金融機関に対して利子補給を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
利子補給事業 (H18～)	県	千円	千円	1 漁業経営維持安定資金を融資した融資機関に対する利子補給 (1) 延滞債務 (2) 返済期限延長、借換債務 (3) 賃金、退職金の未払い債務 (4) 金融機関以外の者からの借入金 (5) 漁業に関する保証債務、連帯債務で履行を必要とされているもの (6) 県単独の制度資金等で漁業経営の維持安定を図るための緊急融資に係る借入金 (7) 知事が特に必要と認めた債務  2 漁業経営再建資金を融資した融資機関に対する利子補給 ※金融債務で次のいずれかに該当するもの (1) 冷凍冷蔵、水産物加工の漁業関連事業に係るもの (2) 漁家の金融債務 (3) その他漁業経営に係るもの  3 水産加工業経営安定資金を融資した融資機関に対する利子補給 ※次の要件に該当する水産加工業者等の運転資金 (1) 原料の1/3以上が近海水産資源 (2) 欠損金計上、操業度の低下、原材料の高騰			
		699	699			10	10
計		699	699				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
利子補給事業	新規融資実績	0件 0円	新規融資実績	0件 0円
	過年度融資に係る利子補給実績	0件 0円	過年度融資に係る利子補給実績	0件 0円

(参考)

## 水産金融の貸付

資金名	区 分		基準 金利	利子補給率			貸付 (末端) 金利	償還期限 (据置期間)																																														
				国等	県	計																																																
漁業近代化資金	個人施設等	20トン以上の 漁船	漁協・信漁連	% 3.75	% —	% 1.25	% 1.25	% 2.50	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資金用途</th> <th>償還期限(据置)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">漁船</td> <td>FRP, 鋼船</td> <td>20年(3年)</td> </tr> <tr> <td>木船</td> <td>9年(2年)</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>10年(3年)</td> </tr> <tr> <td>保管修理施設等</td> <td>15年(3年)</td> </tr> <tr> <td>機具等</td> <td>7年(2年)</td> </tr> <tr> <td>漁具等</td> <td>5年(2年)</td> </tr> <tr> <td>ただし、大型定置網</td> <td>10年(2年)</td> </tr> <tr> <td>種苗購入費等</td> <td>5年(2年)</td> </tr> <tr> <td>〃(ぶり、はたがい、鱒)</td> <td>〃(3年)</td> </tr> <tr> <td>漁村環境整備施設</td> <td>20年(3年)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">大臣特認</td> <td rowspan="4">共同利用施設</td> <td rowspan="2">漁 協</td> <td rowspan="2">3.75</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">1.25</td> <td rowspan="2">1.25</td> <td rowspan="2">2.50</td> <td>①漁村給排水施設、特定漁家住宅、水産業労働力確保施設</td> <td>15年(3年)</td> </tr> <tr> <td>②初度的経営</td> <td>5年(2年)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信漁連・中金</td> <td rowspan="2">2.90</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">0.40</td> <td rowspan="2">0.40</td> <td rowspan="2">2.50</td> <td>①及び②以外</td> <td>12年(2年) ※漁協等は15年(3年)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	資金用途	償還期限(据置)	漁船	FRP, 鋼船	20年(3年)	木船	9年(2年)	機器	10年(3年)	保管修理施設等	15年(3年)	機具等	7年(2年)	漁具等	5年(2年)	ただし、大型定置網	10年(2年)	種苗購入費等	5年(2年)	〃(ぶり、はたがい、鱒)	〃(3年)	漁村環境整備施設	20年(3年)	大臣特認	共同利用施設	漁 協	3.75	—	1.25	1.25	2.50	①漁村給排水施設、特定漁家住宅、水産業労働力確保施設	15年(3年)	②初度的経営	5年(2年)	信漁連・中金	2.90	—	0.40	0.40	2.50	①及び②以外	12年(2年) ※漁協等は15年(3年)		
			資金用途	償還期限(据置)																																																		
		漁船	FRP, 鋼船	20年(3年)																																																		
			木船	9年(2年)																																																		
			機器	10年(3年)																																																		
		保管修理施設等	15年(3年)																																																			
	機具等	7年(2年)																																																				
	漁具等	5年(2年)																																																				
	ただし、大型定置網	10年(2年)																																																				
	種苗購入費等	5年(2年)																																																				
〃(ぶり、はたがい、鱒)	〃(3年)																																																					
漁村環境整備施設	20年(3年)																																																					
大臣特認	共同利用施設	漁 協	3.75	—	1.25	1.25	2.50	①漁村給排水施設、特定漁家住宅、水産業労働力確保施設	15年(3年)																																													
								②初度的経営	5年(2年)																																													
		信漁連・中金	2.90	—	0.40	0.40	2.50	①及び②以外	12年(2年) ※漁協等は15年(3年)																																													
漁業経営維持安定資金 (固定化負債の整理)	沿岸等	3.75	—	1.25	1.25	2.50	10年(3年)																																															
		以西、近海かつお・まぐろ	3.75	—	0.80	0.80	2.95	特認 15年(3年)																																														
漁業経営再建資金 (金融債務の負債整理)		3.75	—	0.15	0.15 融資機関 1.60	2.00	10年(—) 特認 15年(2年)																																															
水産加工経営改善促進 安定支援資金	従業員100人以下	3.75	—	1.25	1.25	2.50	3年(1年)																																															
	従業員100人超	3.75	—	0.80	0.80	2.95																																																

※利率は、令和8年3月18日現在

条件等一覧表

貸付限度額		令和5年度 承認実績	令和6年度 承認実績	令和7年度 承認実績
(千円)		百万円	百万円	百万円
借入者等	貸付限度額			
20トン以上漁船資金借受者	360,000			
水産養殖業者(法人)	360,000			
20トン未満漁船資金借受者 上記以外の漁業法人・水産加工業者・水産養殖業者(個人)	90,000	2,522	2,443	2,031
上記以外の個人	18,000			
漁協等	1,200,000			
農林水産大臣又は都道府県知事が承認した場合	承認額			
漁家民宿施設資金	90,000			
		11	0	0
計		2,533	2,443	2,031
40,000千円～400,000千円				
金融債務の総額の8割以内で、かつ、240万円×トン数を限度額とする。(ただし、8億円を限度とする。)		0	0	0
50,000千円				
計		0	0	0

事業名 ⑧ 沿岸漁業改善資金貸付事業

(水産振興課漁協係)

1 目的

沿岸漁業従事者等に対し、操船漁ろう等の機器購入、漁家の住居等の改善、青年漁業者等の養成確保を図るための資金を無利子で貸し付け、沿岸漁業の健全な発展、漁業生産力の増大及び沿岸漁業従事者等の福祉の向上に資する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
沿岸漁業改善資金貸付事業(特別会計)(S54~)	県	千円	千円	1 貸付対象者 沿岸漁業を営む個人、漁業協同組合、生産組合、協業体、会社(従業員数が20人以下の)、認定中小企業者、促進事業者等	2	1	
貸付勘定		200,000	200,000	2 貸付条件等 別表のとおり	3	3	
業務勘定		4,331	5,894	3 融資機関 県、金融機関等			
				4 利率 無利子			
				5 貸付審査 地区の運営協議会で貸付資格の適否について検討後本庁の貸付審査会に諮られる。			
計		204,331	205,894				

3 事業の実施状況

事業区分	年度別実績				令和7年度(令和8年3月末)融資残高(貸付残高累計)	
	令和6年度		令和7年度		件数	残高
	件	千円	件	千円	件	千円
貸付勘定						
(1) 経営等改善資金	0	0	0	0	16	17,591
(2) 生活改善資金	0	0	0	0	-	-
(3) 青年漁業者等養成確保資金	1	4,158	0	0	6	17,024
計	1	4,158	0	0	22	34,615

【別表】沿岸漁業改善資金の貸付条件等

1 経営等改善資金

資金の種類	貸付内容	基準	貸付限度額 (万円)	償還期間 (据置期間)
①操船作業省力化機器等設置資金	自動操だ装置	—	1台 100	7年 (1年) 連携→9年(3年) バイオ→9年(1年) 六次→9年(3年) みどり→9年(1年)
	遠隔操縦装置		1台 50	
	サイドスラスター		1台 400	
	レーダー		1台 180	
	自動航跡記録装置	型式認定	1台 120	
	G P S受信機		1台 130	
			(合計で 500)	
②漁ろう作業省力化機器等設置資金	動力式つり機	型式認定	1台 500	7年 (1年) 連携→9年(3年) バイオ→9年(1年) 六次→9年(3年) みどり→9年(1年)
	ラインローラー等の揚縄機		1台 120	
	ネットローラー等の揚網機		1台 120	
	巻取りウインチ		1台 500	
	放電式集魚灯		1セット 200	
	漁業用クレーン		1台 400	
	漁獲物等処理装置	—	1台 500	
	海水冷却装置	型式認定	1台 180	
	海水殺菌装置		1台 300	
	漁業用ソナー	型式認定	1台 500	
	カラー魚群探知機		1台 150	
	潮流計		1台 500	
			(合計で 500)	
③補機関等駆動機器等設置資金	補機関(動力取出装置付きの推進機関を含む)	—	1台 400	7年 (1年) 連携→9年(3年) バイオ→9年(1年) 六次→9年(3年) みどり→9年(1年)
	油圧装置	—	1台 500	
			(合計で 500)	
④燃料油消費節減機器等設置資金	漁船用環境高度対応機関	型式認定	1台 2,400	7年 (1年) 連携→9年(3年) バイオ→9年(1年) 六次→9年(3年) みどり→9年(1年)
	定速装置		1台 120	
	発光ダイオード式集魚灯		1セット 1,300	
			(合計で 2,500)	
⑤新養殖技術導入資金	養殖施設、種苗購入又は生産、餌料の購入	農林水産大臣が定める基準に基づく水産動植物の養殖技術等	400	4年(2年) 連携→5年(3年) バイオ→5年(2年) 六次→5年(3年) みどり→5年(2年)
⑥資源管理型漁業推進資金	水産資源を合理的かつ総合的に利用する漁業生産方式の導入を行うために必要な機器等の購入又は設置	農林水産大臣が定める基準に基づく水産資源の管理に関する取決めの締結	1,200	10年 (3年) 連携→12年(5年) バイオ→12年(3年) 六次→12年(5年) みどり→12年(3年)
⑦環境対応型養殖業推進資金	養殖業の生産行程を総合的に改善する漁業生産方式の導入を行うために必要な機器等の購入又は設置	農林水産大臣が定める基準に基づく漁場の保全に関する取決めの締結	2,000 漁場環境適正化管理協定に基づく取組 1,200	10年 (3年) 連携→12年(5年) バイオ→12年(3年) 六次→12年(5年) みどり→12年(3年)
⑧乗組員安全機器等設置資金	転落防止用手すり	—	50	5年 (1年)
	安全カバー装置		50	
	揚網機安全装置		40	
			(合計で 150)	

※ 償還期限(据置)欄の“連携”は農商工連携促進法に係るもの、“バイオ”は農林漁業バイオ燃料法に係るもの、“六次”は六次産業化法に係るもの、“みどり”はみどりの食料システム法に係るものをそれぞれ表しています。(次頁においても同じ)

( 経営等改善資金つづき)

資金の種類	貸付内容	基 準	貸付限度額 (万円)	償還期間 (据置期間)
⑨救命消防設備購入資金	救命胴衣	船舶安全法の型式承認を受け検定に合格したもの	10	2年 (-)
	消火器		60	
	イーバブ			65
	レーダートランスポンダ			
	小型漁船緊急連絡装置		-	(合計で130)
⑩漁船転覆防止機器等設置資金	漁獲物の横移動防止装置	-	30	5年 (1年)
	甲板下の魚そう	甲板上の魚そうを甲板下に設置する改造	100	
			(合計で150)	
⑪漁船衝突防止機器等購入等資金	レーダー反射器	-	40	5年 (-)
	無線電話		40	
			(合計で120)	
⑫漁具損壊防止機器等購入資金	灯火付きブイ	-	個人 70 団体又は会社 130	5年 (-)
	レーダ反射器付きブイ			
⑬特認資金	定置網用無線遠隔式魚群探知機の設置	-	350	5年 (1年)
	電気パルス発生装置	-	120	

## 2 生活改善資金

資金の種類	貸付内容	基 準	貸付限度額	償還期間 (据置期間)
①生活合理化設備資金	し尿浄化装置, 改良便そう	-	30	3年 (-)
	自家用給排水施設		10	2年 (-)
	太陽熱利用温水装置			
②住居利用方式改善資金	居室の改造	-	150	7年 (-)
	炊事施設の改造			
	衛生施設の改造			
	家事室等の改造			
③婦人・高齢者活動資金	機器等, 生産活動に要する費用	共同で行うもの	80	3年 (-)

## 3 青年漁業者等養成確保資金

資金の種類	貸付内容	基 準	貸付限度額	償還期間 (据置期間)
①研修教育資金	研修受講費用	農林水産大臣が定める基準	国内 180	5年 (1年)
			国外 100	
			(合計で180)	
②高度経営技術習得資金	近代的な経営方法又は技術の習得		150	5年 (-)
③漁業経営開始資金	沿岸漁業の経営を開始するのに必要な費用	青年漁業者又はその組織する団体	2,000 (中核的 5,000) (一部研修 800)	10年 (3年) バイオ-12年(3年)

事業名	⑨ 漁業経営改善促進資金融資事業
-----	------------------

(水産振興課漁協係)

1 目的

漁業経営の改善及び再建整備に関する特別措置法に基づく、漁業経営改善計画(経営の多角化、協業化及び販売方法の改善等の取組)の認定を受けた中小漁業者に対し、その取組の実施に必要な運転資金を融通した金融機関に対して利子補給を行う。

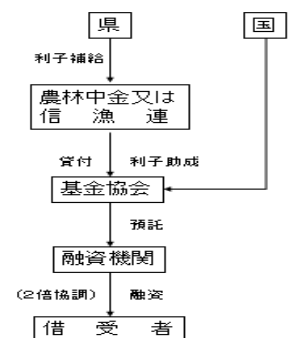
2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分			
		令和7年度	令和8年度		国	県	他	
利子補給事業 (H14~)	県	千円 2,681	千円 2,677	低利運転資金の原資となる県低利預託資金を、全国遠洋沖合漁業信用基金協会又は全国漁業信用基金協会鹿児島支所に貸し付ける金融機関に対して県が利子補給を行う。  (1) 利子補給対象金融機関 ・農林中央金庫 ・九州信用漁業協同組合連合会  (2) 利子補給率 農林中央金庫の系統向け長期プライムレート又は水産庁長官通知にて適用が認められる上限の利率のいずれか低い額  (3) 貸付条件 漁業経営改善計画の認定を受けた認定漁業者であること。  (4) 資金利用の主な要件 ・青色申告を行っている。 ・既往借入金の返済財源が確保されている。  (5) 貸付方式 極度貸付方式  (6) 極度額(借入限度額) ア 漁船漁業 30~190百万円 イ 養殖業 30百万円 ウ 定置漁業 40百万円		10 10		
計		2,681	2,677					

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
利子補給事業	(融資平均残高) 399,000千円	(融資平均残高) ※R7.12月末 408,444千円
	(利子補給額) 1,944千円	(利子補給額) 2,141千円

(参考)制度の仕組み H23.9~



事業名	⑩ 漁業共済推進事業
-----	------------

(水産振興課漁協係)

1 目的

異常赤潮損害てん補特約に伴う養殖共済純掛金の掛金補助を行い、養殖漁業者の経営の安定を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
赤潮特約純掛金補助事業 (S49～)	県漁業共済組合	千円 84,540	千円 74,749	養殖共済の赤潮に係る掛金に対する補助 (国と県が2:1の割合で全額負担) ※予算額は県負担分、国負担分は別途補助		10	10
計		84,540	74,749				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
赤潮特約純掛金補助事業	千円 82,869	千円 78,519

(参考)

1 漁業共済加入状況

(単位: 件, 千円)

区分	漁獲共済		養殖共済		特定養殖共済		漁業施設共済		いけす分損特約		休漁補償	
	件数	共済金額	件数	共済金額	件数	共済金額	件数	共済金額	件数	共済金額	件数	共済金額
年度												
R5	443	5,575,166	567	35,746,144	51	157,835	42	209,089	12	1,634,420	5	22,333
R6	433	5,638,681	617	37,673,393	48	164,431	44	209,747	12	2,187,357	4	12,351
R7	341	4,352,352	575	36,061,554	47	198,667	43	195,423	11	2,106,404	1	3,261

※ 令和7年度は令和8年2月末現在の実績

2 共済支払状況

(単位: 件, 千円)

区分	漁獲共済		養殖共済		特定養殖共済		漁業施設共済		いけす分損特約		休漁補償	
	件数	支払共済金	件数	支払共済金	件数	支払共済金	件数	支払共済金	件数	支払共済金	件数	支払共済金
年度												
R5	154	298,623	25	133,733	6	1,451	0	0	0	0	0	0
R6	152	281,405	39	268,450	2	546	0	0	0	0	0	0
R7	141	234,399	50	804,459	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 令和7年度は令和8年2月末現在の実績

事業名	⑪ 漁業協同組合経営改善等指導事業
-----	-------------------

(水産振興課漁協係)

1 目的

水産業協同組合法に基づき県が行う指導監督業務の一部を鹿児島県漁業協同組合連合会(県漁連)に委託し、漁協指導の充実・強化を図るとともに、鹿児島県海難遺族援助会が行う海難遺児救済学資援助に対し助成を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
県漁協指導業務委託 (H18～)	県漁連	千円 2,110	千円 2,110	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算指導, 経営改善指導及び各種研修会の開催の業務委託</li> <li>・漁船海難遺児学資補助 県(一人当たり15千円定額)</li> </ul>		10	10
漁船海難遺児救済費補助 (S52～)	海難遺族援助会	90	90			10	10
計		2,200	2,200				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
県漁協指導業務委託	2,110千円	2,110千円
漁船海難遺児救済費補助	15千円 (1人)	15千円 (1人)

事業名	⑫ 水産業協同組合育成指導事業
-----	-----------------

(水産振興課漁協係)

1 目的

常例検査等を実施して、水産業協同組合の業務及び会計処理の適正化並びに不正行為の未然防止に努める。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
組合検査・指導 (S24～)	県	千円 2,013	千円 1,846	・組合の組織・運営・会計処理の適正化を図るために、水産業協同組合法に基づき検査を実施する。		10 10	
計		2,013	1,846				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
組合検査・指導	18組合(うち認定検査1組合)	15組合

事業名	⑬ 漁協組織緊急再編対策事業
-----	----------------

(水産振興課漁協係)

1 目的

漁協の組織・経営基盤を強化し、漁協合併を推進するために、県漁連等への活動支援を行う。  
 また、財務内容の改善が必要な合併漁協へ資金貸し付けを行った県信用漁連に対し利子補給を行い、合併漁協の経営改善を支援する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁協合併推進支援事業 (H13～)	県	千円 200	千円 200	・県漁連等の行う漁協合併推進活動のために要する経費の助成		10 10	
計		200	200				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
漁協合併推進支援事業	200 千円	200 千円

ウ 水産物の流通・加工・販売対策

事業名	① 奄美水産資源利用開発推進事業	再掲 (水産振興課漁業調整係)
-----	------------------	-----------------

1 目的

奄美海域の水産資源の有効活用を図るため、藻場造成試験、スジアラ種苗量産技術開発、水産物の付加価値向上試験を実施する。

2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
沿岸域資源利用開発調査	県	千円 2,088	千円 2,088	・スジアラ種苗生産技術開発 ・藻場造成試験	1/2	1/2	
水産資源利用加工開発調査		550	550	・水産資源の利用加工試験 (地魚の高品質冷凍技術の開発等)	1/2	1/2	
計		2,638	2,638				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
沿岸域資源利用開発調査	・南方系ガラモ場の造成試験等 ・スジアラの種苗生産技術開発 ・ソデイカ資源合理的利用支援調査	・南方系ガラモ場の造成試験等 ・スジアラの種苗生産技術開発
水産資源利用加工開発調査	・ソデイカ等の付加価値向上試験 ・特産品開発支援	・鮮度保持及び加工技術の指導 ・地魚の高品質冷凍技術の開発及び普及

事業名	② かがしまのさかな消費拡大応援事業	(水産振興課水産流通対策係)
-----	--------------------	----------------

1 目的

・県内外での本県水産物の認知度向上・消費拡大を図るため、魚食普及活動やマーケットの多様なニーズに対応した販売促進活動を支援する。

・県内の水産加工品を一堂に集めた水産物品評会を開催し、生産者の意欲向上と技術革新を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
(1)かがしまのさかな普及 応援事業		千円	千円				
①水産物認知度向上・消費 拡大支援	かがしま マリンマ ルシェ協 議会等	1,500	1,500	①出前魚料理教室, SNSや情報誌等を活用した 県産魚のPR等への支援	1/4 以内	1/4 以上	1/2 以上
②スマート流通拡大支援							
③県指導事務費	県	56	56	②県内の量販店等での県産魚の販売促進		10/10	
(2)水産加工品マーケット 拡大応援事業	県	1,495	1,495			10/10	
①水産物品評会開催				①水産加工品の品質向上等を目的とした品評会 の開催		10/10	
②リアルイベント等の開催				②品評会受賞商品等を集めたリアルイベント等の 開催、PR ※イベント参加事業者に対し物品運搬費等 一部経費を補助	※ 定額	10/10	定額
計		3,051	3,051				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
	(1) かがしまのさかな普及応援事業 補助件数：3件（公募）	(1) かがしまのさかな普及応援事業 補助件数：2件（公募）
	(2) 水産加工品マーケット拡大応援事業 ①水産物品評会開催 出品数：114点 ②消費者等へのPR活動 ・県HPへの掲載等 ・鹿児島県の夕べでのPR	(2) 水産加工品マーケット拡大応援事業 ①水産物品評会開催 出品数：115点 ②消費者等へのPR活動 ・県HPへの掲載等 ・鹿児島県の夕べでのPR

事業名	③水産加工業の輸出向け HACCP 等対応施設整備事業 (水産振興課水産流通対策係)
-----	--

1 目的

水産加工品の輸出拡大を図るため、水産加工業者等が行う輸出先国の規制に対応した HACCP 等の基準を満たすために必要な施設等の整備を支援する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
水産加工業の輸出向け HACCP 等対応施設整備事業 (R元～)	水産業協同組合、水産加工業者等	千円	千円	(1) 施設等整備費 (新設、増築、改築、機器整備等) ※施設の新設、増築については規制対応を行う場合の経費から建築基準法に基づく構造耐力上主要な部分(壁及び床版は除く)を差し引いた金額とする。	1		1
		219,632 (276,000)	500,500		2		2
				(2) 効果促進事業 (HACCP等の認証取得に係る費用) ※施設整備事業と一体となつてその効果を一層高めるものとする。	3		3
				(3) 県・市町村附帯事務費	10		10
		249 (253)	225		10		10
計		219,881 (276,253)	500,725				

※ 令和7年度は、令和7年度当初予算及び令和6年度当初予算で実施

※ ( ) は前年度繰越分

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
水産加工業の輸出向け HACCP 等対応施設整備事業	・機器整備及び新設 2件	・新設 1件 ・機器整備及び改修 1件

※ 令和6年度は、令和6年度当初予算及び令和5年度当初予算で実施

※ 令和7年度は、令和6年度当初予算及び令和6年度補正予算で実施

事業名	④ かがしまのさかな稼ぐ輸出応援事業
-----	--------------------

(水産振興課水産流通対策係)

1 目的

本県水産物の輸出促進を図るため、漁協や輸出商社等関係者が一体となった販売促進活動や他国産・他県産競合商品との競争力向上等に資する取組を支援する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
かがしまのさかな 稼ぐ輸出応援事業 (R3~)		千円	千円				
(1)海外専門家による 伴走支援	県	8,500	8,500	(1)マッチング、助言、競争力向上 支援			10
(2)海外プロモーション 支援	加工業者 商社 漁協等	31,300	34,000	(2)販売促進活動、競争力向上に資 する取組			10
(3)県水産物等輸出 促進協議会負担金	協議会	485	485	(3)協議会運営・講習会開催			10
(4)県附帯事務費	県	2,444	2,457	(4)販促資材作成、実態調査及び輸 出認定養殖場監視事務等			10
計		42,729	45,442				10

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
(1)海外専門家による マーケティング調査、 マッチング支援及び 競争力向上支援	(2)について18件の伴走支援(販 路開拓やチャンネルプロモーション 等について適宜提案)、協議会 におけるセミナー等開催支援等	(2)について16件の伴走支援(販 路開拓やチャンネルプロモーション 等について適宜提案)、協議会 におけるセミナー等開催支援等
(2)海外プロモーション 支援	12の国・地域で18プロジェクト を実施	10の国・地域で16プロジェクト を実施
(3)県水産物等輸出 促進協議会負担金	国際認証・人材育成スキルア ップセミナー開催(3回)	国際認証・人材育成スキルア ップセミナー開催(3回)
(4)県附帯事務費	県輸出水産物PR資材作成 輸出実態調査 輸出認定養殖場監視事務等	県輸出水産物PR資材作成 輸出実態調査 輸出認定養殖場監視事務等

事業名	⑤大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト事業	(水産振興課栽培養殖係・水産流通対策係)
-----	------------------------	----------------------

### 1 目的

県農林水産物輸出促進ビジョンに基づき、県産農林水産物の輸出拡大を図るため、大規模輸出産地の形成等を支援する。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
(1) 生産・流通体系の転換を通じた大規模輸出産地のモデル構築 ア生産体系の転換 イ流通体系の転換	県, 民間 事業者等	千円	千円	輸出先国・地域の規制・ロット等に対応した産地の育成など、輸出向け生産への産地転換を支援 輸出物流の確立や輸送コスト軽減のための集荷・流通体系の構築に向けた実証	10		
		25,686	22,650				
		13,076	16,403				
(2) 県産品の品目横断的なプロモーション	県	8,333	-	県産農林水産物等の安定的かつ継続的な販路開拓のため、輸出支援プラットフォームと連携した品目横断的なプロモーションを実施	10		
(3) 地域の関係者による輸出推進体制の組織化	県		211	GFP 鹿児島を活用しながら輸出向け産地の育成に取り組む			
計		47,095	39,264				

※予算額には、農政課関係分を含む

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト事業	(水産関係分のみ記載) (1)生産・流通体系の転換を通じた大規模輸出産地のモデル構築 ア 生産体系の転換 ・人工種苗の安定供給体制構築等への支援 イ流通体系の転換 ・温度検知QRコードラベルを活用した鮮度保持に向けた検証  (2)県産品の品目横断的なプロモーション ・"オール鹿児島"での海外プロモーション(フランス)	(水産関係分のみ記載) (1)生産・流通体系の転換を通じた大規模輸出産地のモデル構築 ア 生産体系の転換 ・人工種苗の安定供給体制構築等への支援、褐変抑制対策 イ流通体系の転換 ・温度検知QRコードラベルを活用した輸送試験  (2)県産品の品目横断的なプロモーション ・BtoB品目横断プロモーション(フランス)

※令和6年度は令和5年3月補正予算、令和7年度は令和6年3月補正予算で実施

事業名	⑥ 鯉節輸出体制構築支援事業
-----	----------------

(水産振興課水産流通対策係)

1 目的

鯉節を海外の日本食ブームに伴う重要な輸出産品と位置づけ、EUの厳しい基準に適合した製造技術の実用化に向けた取組を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
鯉節輸出体制構築支援事業	県	千円	千円	鯉節製造試験（一部委託）	1	1	
		9,497	7,931		2	2	
計		9,497	7,931				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
鯉節輸出体制構築支援事業	/	・枕崎、山川の両加工組合から推薦のあったEU輸出に意欲ある3業者の製造工場において鯉節製造試験を実施

エ 漁業生産の基盤づくり

事業名	① 浜の活力再生施設整備事業	(水産振興課水産流通対策係)
-----	----------------	----------------

1 目的

水産業の再生を図るための「浜の活力再生プラン」等の目標の達成を支援するため、プランに位置づけられた共同利用施設の整備を取組を支援する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
浜の活力再生施設整備事業 (H29～)							
1 漁業共同利用施設	漁協 県漁連 市町村等	—	341,243	荷さばき施設、鮮度保持施設、作業保管施設等	※	1	
2 加工流通共同利用施設	漁協 水産加工 組合等	29,150	—	荷さばき施設、鮮度保持施設、作業保管施設、加工処理施設、廃棄物等処理施設等	※	1	
3 資源増殖施設	漁協 県漁連 市町村等	27,570	—	養殖施設、種苗生産施設、養殖場環境管理施設等	※	1	
4 県附帯事務	県	236	174	事務に関する経費		5	5
						10	10
計		56,956	341,417				

※ 事業区分1～3の負担区分は、1/2、4/10、1/3、5.5/10等で、メニューや実施箇所等により異なる。

※ 令和7年度は、令和6年度当初予算、令和6年度3月補正

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
浜の活力再生施設整備事業	補助額 81,573千円 補助件数 2件 ・養殖施設 1件 ・水産作業等軽労化機能整備 1件	補助額 52,101千円 補助件数 3件 ・鮮度保持施設 1件 ・燃油補給施設 1件 ・加工流通作業等軽労化機能整備 1件

<b>事業名</b>	<b>② 種子島周辺漁業対策事業</b>	(水産振興課水産流通対策係)
------------	----------------------	----------------

1 目的

ロケット打上げによる周辺漁業への影響を緩和するため、関係漁協等が行う共同利用施設等の整備を支援し、漁業経営の安定を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
種子島周辺漁業対策事業 (S43～45, S51～)	漁協等 県漁連 市町村 村 県	千円 470,524	千円 483,764	(1)蓄養殖用施設、漁船漁具保全施設、製氷冷蔵施設、水揚げ荷さばき施設等 (2)魚礁の設置等 (3)餌料供給施設等 (4)漁業研修施設、地域産物展示販売施設等 (5)水産物加工処理施設等 (6)実践的な実験事業等 (7)その他知事が特に必要と認めるもの (8)事務に関する経費	7	1	2
(1)共同利用施設設置事業 (2)漁場・増殖場造成改良事業 (3)増養殖・漁場管理施設設置事業 (4)水産業近代化施設設置事業 (5)漁村環境改善施設設置事業 (6)その他の事業 (7)知事が特に認める事業 (8)県附帯事務					10	10 以内	10 以上
計		470,524	483,764				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
(1)共同利用施設設置事業	【実績】 補助額 425,772 千円	【実績】 補助額 448,412 千円
(2)漁場・増殖場造成改良事業	補助件数 9 件	補助件数 20 件
(3)増養殖・漁場管理施設設置事業	・蓄養殖用施設 1 件 ・漁船漁具保全施設 2 件 ・製氷冷蔵施設 4 件	・蓄養殖用施設 3 件 ・漁船漁具保全施設 3 件 ・製氷冷蔵施設 2 件
(4)水産業近代化施設設置事業	・水揚げ荷さばき施設 1 件 ・餌料供給施設 1 件	・水揚げ荷さばき施設 6 件 ・餌料供給施設 1 件
(5)漁村環境改善施設設置事業		・水産物加工処理施設 2 件 ・漁場の整地及び有害生物の除去 1 件
(6)その他の事業		・その他 2 件

<b>事業名</b>	<b>③ 防衛施設周辺民生安定施設整備事業</b>	(水産振興課水産流通対策係)
------------	---------------------------	----------------

1 目的

防衛施設等が漁業活動に及ぼす影響を緩和するため、漁業用施設等の整備を行い、漁業経営の安定を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
防衛施設周辺民生安定施設整備事業 (S47～)	県漁連 無線漁協     県	千円	千円	(1)築いそ、魚礁、消波施設 (2)増養殖施設、漁船漁業施設、流通改善施設 (3)基本施設、機能施設 (4)漁民研修施設 (5)その他知事が特に必要と認める施設 (6)事務に関する経費	2	1	
(1)漁場整備事業		7,000	153,833		3	3	
(2)漁業近代化施設整備事業					以内	以上	
(3)漁港修築事業							
(4)漁民研修施設					2	1	
(5)特認事業		97	170		3	3	
(6)附帯事務					以上	以上	
(7)県附帯事務							
計		7,097	154,003				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
防衛施設周辺民生安定施設整備事業	—	給油船の設計を実施。

事業名	④⑧水産物卸売市場流通効率化緊急支援事業	(水産振興課水産流通対策係)
-----	----------------------	----------------

1 目的

省力化機器や鮮度保持機器等を整備することで、卸売市場業務の効率化や品質向上等を図り、市場事業者の経営負担の軽減及び漁業者の所得向上を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
水産物卸売市場流通効率化緊急支援事業	地方卸売市場の開設者	千円 —	千円 40,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高水温等の環境変動に対応した設備等に対する補助</li> <li>・ 水揚げ作業の効率化機器の導入に対する補助</li> <li>・ 水揚げ情報の電子化, 電算システム等の更新による省力化に対する補助</li> <li>・ 市場業務効率化に対する補助</li> <li>・ 鮮度保持機器の導入に対する補助</li> </ul>	2		1
	県		432		3以内		3以上
計		—	40,432				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度

ア 持続可能な漁業・養殖業の推進

事業名	① 広域漁場整備事業
-----	------------

(漁港漁場課漁場開発係)

1 目的

魚礁設置等による広域的な漁場整備を行い、水産資源や漁業生産量の維持・増大と漁業経営の安定を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
広域漁場整備事業		千円	千円				
(1) さつま地区 (R8~R12)	県	402,380	84,000	・魚礁整備 }	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	
(2) 鹿児島湾・大隅地区 (R4~R8)	〃	62,700	272,490	・増殖場整備 } ・魚礁整備 (共同漁業権内) }	$\frac{5}{10}$	$\frac{4}{10}$	$\frac{1}{10}$
(3) 熊毛地区 (R4~R8)	〃	131,300	271,400				
(4) 奄美地区 (R5~R11)	〃	333,200	343,381				
計		929,580	971,271				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
(1) さつま地区	事業費	261,050 千円	事業費	360,723 千円
(2) 鹿児島湾・大隅地区	事業費	105,000 千円	事業費	93,000 千円
(3) 熊毛地区	事業費	52,340 千円	事業費	129,700 千円
(4) 奄美地区	事業費	342,800 千円	事業費	331,900 千円
計		761,190 千円		915,323 千円

(注) 事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	② 石油貯蔵施設周辺地域整備事業
-----	------------------

(漁港漁場課漁場開発係)

### 1 目的

石油貯蔵施設周辺地域における漁場施設の整備を行い、漁業者の経営安定化に資する。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
石油貯蔵施設周辺地域整備事業	県	千円 18,302	千円 18,302	漁場の整備	$\frac{10}{10}$		
計		18,302	18,302				

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
石油貯蔵施設周辺地域整備事業	高山地区 天然石 517m <sup>3</sup> 事業費 18,302 千円	高山地区 天然石 485m <sup>3</sup> 事業費 18,302 千円

(注) 事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	③ 浮魚礁維持管理事業
-----	-------------

(漁港漁場課漁場開発係)

### 1 目的

県が設置した浮魚礁及び漁場施設の維持管理、補修を行い、魚礁等の機能保全を図る。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
浮魚礁維持管理事業	県	千円 5,904	千円 5,558	県が設置した浮魚礁及び漁場施設の維持管理、補修 (定期点検、補修等)		$\frac{10}{10}$	
計		5,904	5,558				

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
浮魚礁維持管理事業	定期点検等 事業費 7,307 千円	定期点検等 事業費 4,345 千円

(注) 事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	④ 直轄広域漁場整備事業
-----	--------------

(漁港漁場課漁場開発係)

1 目的

大隅海峡で国が直轄で行う漁場整備事業に要する県負担金。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
直轄広域漁場整備事業	国	千円 95,727	千円 87,928	・国が行うフロンティア漁場整備事業 に対する県の負担金	$\frac{3}{4}$	$\frac{1}{4}$ ※ 14.5%	
計		95,727	87,928				

(※) 予算額は、「後進地域の開発に関する公共事業に係る国の負担割合の特例に関する法律」による国負担割合引上げ後の県の負担額であり、令和8年度の県負担率は対象事業費の14.5%。

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
直轄広域漁場整備事業	負担金 70,634 千円	負担金 92,800 千円

(注) 事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

## イ 漁業生産の基盤づくり

事業名	① 漁港維持管理調査事業
-----	--------------

(漁港漁場課管理係)

### 1 目的

漁港管理に関する各種研修会等への参加や漁港港勢調査の実施、漁港施設の現地調査や保守点検等を行い、県が管理する漁港施設の円滑かつ適正な維持管理を図る。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
		千円	千円				
漁港維持管理調査事業 (S25～)							
(1) 漁港管理会議	県	599	663	漁港管理事務に関する各種研修会等への参加  (1) 漁港港勢調査の実施 (2) 漁港現地調査の実施 (3) 漁港施設の利用計画の変更及び財産処分等の事務処理 (4) その他管理指導に係る事務		10	
(2) 調査管理指導	県	3,456	3,832			10	
(3) 漁港施設維持管理	県	1,845	2,093			10	
計		5,900	6,588	県管理漁港施設の維持管理		10	

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
(1) 漁港管理会議	実績 ・ 漁港管理事務に関する各種研修会等への参加等 事業費	563 千円	実績 ・ 漁港管理事務に関する各種研修会等への参加等 事業費	592 千円
(2) 調査管理指導	実績 ・ 漁港港勢調査の市町村委託料 ・ 臨港道路の賠償責任保険料 ・ 権限移譲に係る市町村交付金 ・ 関係機関との協議及びその他管理指導等 事業費	4,040 千円	実績 ・ 漁港港勢調査の市町村委託料 ・ 臨港道路の賠償責任保険料 ・ 権限移譲に係る市町村交付金 ・ 関係機関との協議及びその他管理指導等 事業費	3,306 千円
(3) 漁港施設維持管理	実績 ・ 漁港施設の維持管理（県管理可動橋電気使用料・保守点検料等） 事業費	1,712 千円	実績 ・ 漁港施設の維持管理（県管理可動橋電気使用料・保守点検料等） 事業費	1,852 千円
計	事業費	6,315 千円	事業費	5,750 千円

(注) 事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	② 漁港管理計画関連委託事業
-----	----------------

(漁港漁場課管理係)

1 目的

県管理漁港の漁港施設使用料の徴収等に要する経費を市町村に交付する。

2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業区分	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
漁港管理計画関連委託事業 (S59～)	県	千円 49,065	千円 52,568	鹿児島県事務処理の特例に関する条例に基づき、市町村が処理する漁港施設使用料の徴収等の事務処理に要する経費の交付 (市町村が徴収した使用料総額の2/3)		10	
市町村交付金の交付						—	10
計		49,065	52,568				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
市町村交付金の交付	市町村交付金 49,407千円	市町村交付金 52,936千円

(注) 事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	③ 県単漁港補修事業
-----	------------

(漁港漁場課管理係・計画係)

1 目的

県管理漁港における漁港施設の修繕や維持補修工事及び港内清掃等を実施し、漁港機能の回復を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
県単漁港補修事業	県	千円 178,199	千円 134,406	(1) 水域施設並びに甲種漁港施設（県が所有し、又は占有する漁港施設）の修繕や維持補修工事及び港内清掃等 (2) その他、知事が特に必要と認めるもの  (予算内訳) 工事請負費 98,863 千円 委託料 16,019 千円 修繕料等 19,524 千円 (役務費含む)		10 — 10	
計		178,199	134,406				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
県単漁港補修事業	<p>1 維持補修事業</p> <p>実績（維持補修工事） 14 漁港</p> <p>総事業費 55,310 千円 (内訳) 工事請負費 34,652 千円 委託料 9,269 千円 修繕料等 11,389 千円 (役務費含む)</p>	<p>1 維持補修事業</p> <p>実績（維持補修工事） 17 漁港</p> <p>総事業費 135,201 千円 (内訳) 工事請負費 96,082 千円 委託料 16,383 千円 修繕料等 22,736 千円 (役務費含む)</p> <p>2 大熊漁港放置船撤去事業</p> <p>委託料 43,065 千円</p>

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	④ 全国漁港漁場大会開催事業
-----	----------------

(漁港漁場課管理係)

1 目的

令和9年度に本県で開催される「第76回全国漁港漁場大会」の円滑な実施に向け、実行委員会の開催、先催県への調査及び開催に係る関係機関との連絡調整を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業区分	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
全国漁港漁場大会開催準備事業	県	—	千円 1,425	大会準備経費 824千円 先催県等視察 601千円		10 — 10	
計		—	1,425				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
—	—	—

事業名	⑤ 地域水産基盤整備事業
-----	--------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

### 1 目的

地域における水産物の生産及び流通機能の強化を図るため、漁港施設の整備を行う。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
地域水産基盤整備事業	県	千円 315,623	千円 639,970	第2種漁港の整備 (1)外かく施設 (2)係留施設 (3)水域施設 (4)輸送施設 (5)漁港施設用地等	別表のとおり
計		315,623	639,970		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
地域水産基盤整備事業	実績	3 漁港	実績	7 漁港
	総事業費	111,587 千円	総事業費	333,245 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑥ 広域漁港整備事業
-----	------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

### 1 目的

水産物の生産及び流通の拠点整備を図るため、漁港施設の整備を行う。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
広域漁港整備事業	県	千円 1,156,900	千円 1,409,910	第2種、3種、4種漁港等の整備 (1)外かく施設 (2)係留施設 (3)水域施設 (4)輸送施設 (5)漁港施設用地等	別表のとおり
計		1,156,900	1,409,910		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
広域漁港整備事業	実績	8 漁港	実績	7 漁港
	総事業費	2,235,530 千円	総事業費	1,490,793 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑦ 漁港機能高度化事業
-----	-------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

1 目的

地域の既存ストックの有効活用等により漁村の再生を支援するため、生産基盤と生活環境施設の効率的整備を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
漁港機能高度化事業	県	千円 —	千円 21,000	(1)漁港施設整備 (2)漁港環境施設整備 緑地・防災施設等	別表のとおり
計		—	21,000		

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
	漁港機能高度化事業	実績	— 漁港	実績
	総事業費	— 千円	総事業費	— 千円

(注) ( ) は総事業費。額は3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑧ 水産基盤機能保全事業
-----	--------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

### 1 目的

漁港施設の長寿命化を図るとともに、更新コストの平準化及び縮減を図るため、機能保全計画を策定し、計画的に機能保全工事を行う。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
水産基盤機能保全事業	県	千円 1,180,008	千円 1,162,671	機能保全工事の実施、 機能保全計画の見直し	別表のとおり
計		1,180,008	1,162,671		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
水産基盤機能保全事業	実績(保全工事)	21 漁港	実績(保全工事)	22 漁港
	総事業費	1,413,312 千円	総事業費	1,433,239 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑨ 漁港施設機能強化事業
-----	--------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

### 1 目的

高潮・波高の増大等に対する漁港の安全対策として、漁港施設の機能強化を図る。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
漁港施設機能強化事業	県	千円 521,650	千円 435,950	外かく施設、係留施設等の波浪対策や地震・津波対策、施設機能診断	別表のとおり
計		521,650	435,950		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
漁港施設機能強化事業	実績(強化工事、機能診断)	9 漁港、2 地区	実績(強化工事、機能診断)	8 漁港
	総事業費	1,052,759 千円	総事業費	585,302 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑩ 漁港関連道整備事業
-----	-------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

### 1 目的

漁港と漁港区域外の主要道路を結ぶ道路を整備し、漁港機能の増大を図る。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
漁港関連道整備事業	県	千円 21,000	千円 56,175	漁港と主要道路等を結ぶ道路の新設、改良	別表のとおり
計		21,000	56,175		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
漁港関連道整備事業	実績	1 漁港	実績	1 漁港
	総事業費	51,600 千円	総事業費	18,638 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑪ 漁港漁村活性化対策事業
-----	---------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

### 1 目的

漁港の効率的な利用に資する整備を行い、漁港機能の高度化を図る。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
漁港漁村活性化対策事業	県 漁協	千円 52,300	千円 30,000	(1)海業の推進に係る漁港漁村の就労環境改善・強靱化や交流促進に必要な施設の整備 (2)海業取組に係る実施計画の策定に必要な調査、効果分析、取組の実証実施	別表のとおり
計		52,300	30,000		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
漁港漁村活性化対策事業	実績	1 漁港	実績	1 漁港
	総事業費	31,400 千円	総事業費	52,300 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑫ 漁港海岸保全事業
-----	------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

1 目的

漁港背後集落等を高潮、津波、波浪等による被害から守るための海岸保全施設を整備し、国土の保全を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
漁港海岸保全事業	県	千円 884,551	千円 919,040	(1)高潮対策 (2)侵食対策 (3)耐震対策 (4)老朽化対策 (5)津波・高潮対策 (6)海岸環境整備	別表のとおり
計		884,551	919,040		

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
漁港海岸保全事業	実績 総事業費	9 漁港海岸、2 地区 815,960 千円	実績 総事業費	10 漁港海岸、2 地区 985,871 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑬ 県 単 漁 港 整 備 事 業
-----	-------------------

(漁港漁場課計画係)

1 目 的

国庫補助事業として採択されない小規模な漁港施設の整備を行い、漁港機能の向上を図る。  
また、石油貯蔵施設立地対策等交付金による漁港施設の整備を行い、漁業者の経営安定化に資する。

2 内 容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
(1) 県単漁港整備事業	県	千円 39,272	千円 39,618	事業費 15,000 千円以下 (1) ア 漁港施設の新設又は改良 (7) 防波堤、防砂堤、導流堤 (イ) 泊地及び航路浚渫 (エ) 道路、橋梁 (オ) その他、特に知事が必要と認めるもの イ 県管理漁港であって起債対象とならない小規模な埋立事業		8 — 10 又 は 10 — 10	2 — 10
・石油貯蔵施設立地対策等交付金分	・県	3,705	3,705	・漁港施設の整備	10 — 10		
計		42,977	43,323				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
(1) 県単漁港整備事業	実績	12 漁港	実績	9 漁港
	総事業費	37,869 千円	総事業費	25,594 千円
・石油貯蔵施設立地対策等交付金分	実績	1 漁港	実績	1 漁港
	総事業費	3,656 千円	総事業費	3,705 千円
計	総事業費	41,525 千円	総事業費	29,299 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑭ 市町村地域水産基盤整備事業
-----	-----------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

### 1 目的

地域における水産物の生産及び流通機能の強化を図るため、漁港施設の整備を行う。

市町村が行う水産生産基盤整備事業、地方創生港整備推進交付金及び農山漁村地域整備交付金（地域水産物供給基盤整備事業）の国費相当分を県が受け入れ、市町村へ補助するもので、県予算はこの国費相当分である。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
市町村地域水産基盤整備事業	市町村	千円 579,256	千円 150,000	第1種漁港の整備 (1)外かく施設 (2)けい留施設 (3)水域施設 (4)輸送施設 (5)漁港施設用地等	別表のとおり
計		579,256	150,000		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
市町村地域水産基盤整備事業	実績	1 漁港 ( 374,770 千円)	実績	2 漁港 ( 227,156 千円)
	総事業費	187,385 千円	総事業費	113,578 千円

(注) ( ) は総事業費。額は3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑮ 市町村水産基盤機能保全事業
-----	-----------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

1 目的

漁港施設の長寿命化を図るとともに、更新コストの平準化及び縮減を図るため、機能保全計画を策定し、計画的に機能保全工事を行う。

市町村が行う水産基盤機能保全事業の国費相当分を県が受け入れ、市町村へ補助するもので、県予算はこの国費相当分である。

2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
市町村水産基盤機能保全事業	市町村	千円 312,270	千円 198,040	機能保全工事の実施	別表のとおり
計		312,270	198,040		

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
市町村水産基盤機能保全事業	実績(保全工事)	8 漁港 ( 206,400 千円)	実績(保全工事)	8 漁港 ( 420,775 千円)
	総事業費	116,940 千円	総事業費	312,270 千円

(注) ( ) は総事業費。額は3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑩ 市町村漁港海岸保全事業
-----	---------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

1 目的

国民経済上及び民生安定上、重要な地域を高潮、津波、波浪等による被害から守るための海岸保全施設や海岸環境を整備し、国土の保全を図る。

市町村が行う農山漁村地域整備交付金（海岸保全施設整備事業）の国費相当分を県が受け入れ、市町村へ補助するもので、県予算はこの国費相当分である。

2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
市町村漁港海岸保全事業	市町村	千円 —	千円 —	(1)高潮対策 (2)侵食対策 (3)耐震対策 (4)老朽化対策 (5)津波・高潮対策 (6)海岸環境整備	別表のとおり
計		—	—		

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
市町村漁港海岸保全事業	実績	— 地区 ( — 千円)	実績	— 地区 ( — 千円)
	総事業費	— 千円	総事業費	— 千円

(注) ( ) は総事業費。額は3月補正後最終予算額ベース。令和4年度から直接補助事業へ移行。県予算計上なし。

事業名	⑰ 漁業集落排水整備促進事業
-----	----------------

(漁港漁場課計画係・建設係)

### 1 目的

水産物の安定的な提供を支える安全で安心な漁村の発展に資する漁業集落排水施設等の整備を行う。

市町村が行う農山漁村地域整備交付金（漁業集落環境整備事業）の国費相当分を県が受け入れ、市町村へ補助するもので、県予算はこの国費相当分である。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
市町村漁業集落排水整備促進事業	市町村	千円 —	千円 35,000	(1)衛生関連施設 漁業集落排水施設、水産飲雑用水等 (2)防災関連施設 集落道、防災安全施設等	別表のとおり
計		—	35,000		

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
市町村漁業集落排水整備促進事業	実績	— 漁港 (— 千円)	実績	— 漁港 (— 千円)
	総事業費	— 千円	総事業費	— 千円

(注) ( ) は総事業費。額は3月補正後最終予算額ベース。

事業名	⑱ 漁港災害復旧事業
-----	------------

(漁港港漁場課建設係)

1 目的

県管理漁港施設の速やかな災害復旧を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予 算 額		事業内容	負担区分
		令和7年度	令和8年度		
現年発生漁港災害復旧事業	県	千円 700,000	千円 700,000	漁港施設の復旧	別表のとおり
計		700,000	700,000		

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度		令和7年度	
現年発生漁港災害復旧事業	実績 総事業費	1 漁港 124,009 千円	実績 総事業費	1 漁港 4,019 千円

(注) 総事業費は、3月補正後最終予算額ベース。

令和8年度 漁港漁場関係事業補助率表 1

種別	区分	本				土				島				奄				美	
		国		R8年		国		R8年		国		R8年		国		R8年			
		59年	【10:0】 (2.28/3) 7.5/10 2/3	59年	【10:0】 (0.72/3) 1/3	59年	【10:0】 (0.90) 85/100 (2.28/3)	59年	【10:0】 (0.15) 1/3	59年	【10:0】 (0.10) 0.15	59年	【10:0】 (0.90) 85/100 (2.28/3)	59年	【10:0】 (0.15) 1/3	59年	【10:0】 (0.10) 0.15		
水産流通基盤整備 特定	第4種	外	【10:0】 (2.28/3) 7.5/10 2/3	【10:0】 (0.72/3) 1/3	【10:0】 (0.90) 85/100 (2.28/3)	【10:0】 (0.15) 1/3	【10:0】 (0.10) 0.15	【10:0】 (0.90) 85/100 (2.28/3)	【10:0】 (0.15) 1/3	【10:0】 (0.10) 0.15	【10:0】 (0.90) 85/100 (2.28/3)	【10:0】 (0.15) 1/3	【10:0】 (0.10) 0.15	【10:0】 (0.90) 85/100 (2.28/3)	【10:0】 (0.15) 1/3	【10:0】 (0.10) 0.15	【10:0】 (0.90) 85/100 (2.28/3)	【10:0】 (0.15) 1/3	
		水	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.3036) 0.3736	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.3036) 0.3736	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.3036) 0.3736	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.3036) 0.3736	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.3036) 0.3736	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.3036) 0.3736	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.3036) 0.3736	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.3036) 0.3736	【6:4】 (0.5700) 6/10
		係	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10
		用	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.3036) 0.3736
	第3種	地	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10
		送	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10	【8:2】 (0.599/3) 0.879/3	【8:2】 (0.5700) 7/10
		所	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10
		備	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10	【6:4】 (0.432/3) 0.288/3	【6:4】 (0.5700) 6/10
		備	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10
		備	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10
第2種	油	【6:4】 (0.5700) 5/10	【6:4】 (0.258) 0.328	【6:4】 (0.5700) 5/10	【6:4】 (0.258) 0.328	【6:4】 (0.5700) 5/10	【6:4】 (0.258) 0.328	【6:4】 (0.5700) 5/10	【6:4】 (0.258) 0.328	【6:4】 (0.5700) 5/10	【6:4】 (0.258) 0.328	【6:4】 (0.5700) 5/10	【6:4】 (0.258) 0.328	【6:4】 (0.5700) 5/10	【6:4】 (0.258) 0.328	【6:4】 (0.5700) 5/10	【6:4】 (0.258) 0.328	【6:4】 (0.5700) 5/10	
	送	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	
	地	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	
	域	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	【7:3】 (0.258) 0.328	【7:3】 (0.5700) 6/10	

注) 1 R8年、県、市町村欄の( )内は後進地域による引上後の負担割合である。(R8引上率 1.14 ← R7 1.14)  
 2 59年補助率の【 】書は県と市町村の負担割合である。  
 3 浄化・廃油施設は、後進地域の開発指定事業に含まれないため、国の負担率の引き上げの対象外である。  
 4 59年補助率を基本に後進地域による引上後の負担割合を換算した結果、県負担割合が0.1未満の場合は、県負担割合を0.1とする。

令和8年度 漁港漁場関係事業補助率表 2

種別	区分	本				土				島				奄				美	
		国		R8年		国		R8年		国		R8年		国		R8年			
		59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年	59年		
水産流通 生産基盤 整備	外水係用輸送	【10:0】	(0.570)	(0.430)	(0)	【10:0】	(0.9)	(0.1)	(0)	【10:0】	(0.9)	(0.1)	(0)	【10:0】	1	9/10	0.1	0	
		7.5/10	5/10	0.5	0	9.5/10	8/10	0.2	0	10:0	8/10	0.2	0	10:0	0.9	8/10	0.2	0	
		【6:4】	(0.570)	(0.3036)	(0.1264)	【10:0】	(2.28/3)	(0.72/3)	(0)	【10:0】	2/3	1/3	(0)	【6:4】	0.75	2/3	0.7/3	0.3/3	
		6/10	5/10	0.3736	0.1264	8/10	2/3	(0.2466)	0.1264	6:4	(0.6270)	(0.2466)	(0.1264)	6:4	0.75	2/3	0.7/3	0.3/3	
一般	外水係用輸送	【8:2】	(0.570)	(0.3896)	(0.0404)														
		7/10	5/10	0.4596	0.0404														
		【6:4】	(0.570)	(0.3036)	(0.1264)														
		6/10	5/10	0.3736	0.1264														
農山漁村 地域整備 交付金	外水係用輸送	【6:4】	(0.570)	(0.258)	(0.172)														
		5/10	5/10	0.328	0.172														
		【6:4】	(0.570)	(0.3036)	(0.1264)														
		6/10	5/10	0.3736	0.1264														
漁港関連 道	外水係用輸送	【6:4】	(0.570)	(0.258)	(0.172)														
		5/10	5/10	0.328	0.172														
		【6:4】	(0.570)	(0.3340)	(0.0960)														
		2/3	1/2	0.4040	0.0960														
農山漁村 地域整備 交付金	外水係用輸送	【6:4】	(0.570)	(0.258)	(0.172)														
		1/2	1/2	0.328	0.172														
		【6:4】	(0.570)	(0.258)	(0.172)														
		1/2	1/2	0.328	0.172														

注) 1 R8年、県、市町村欄の( )内は後進地域による引上後の負担割合である。(R8引上率 1.14 ← R7 1.14)  
 2 59年補助率の【 】書きは県と市町村の負担割合である。  
 3 59年補助率を基本に後進地域による引上後の負担割合を検討した結果、県負担割合が0.1未満の場合は、県負担割合を0.1とする。

令和8年度 漁港漁場関係事業補助率表 3

種別区分	本 土				離 島				奄 美					
	国		県		市町村		国		県		市町村		国	
	59年	R8年					59年	R8年			59年	R8年		
地域基盤整備	外水係用輸送	【6:4】 5/10	(0.570) 5/10	(0.258) 0.328	(0.172) 0.172	【10:0】 9.5/10	(0.9) 8/10	(0.1) 0.2	(0.316) 0.4	(0) 0	(0) 0			
		【7:3】 1/2	1/2	0.35	0.15	【7:3】 1/2	1/2	0.35	0.3236	0.1264	【7:3】 1/2	1/2	0.35	0.15
漁港環境	外水係用輸送	【10:0】	1/2	0.5	0	【10:0】	6/10	0.4	0	【10:0】	7.5/10	0.25	0	
		【6:4】	1/2	0.3	0.2	【10:0】	6/10	0.4	0	【10:0】	7.5/10	0.25	0	
漁村再生交付金（漁港施設整備）	外水係用輸送	【8:2】	1/2	0.4	0.1									
		【6:4】	1/2	0.3	0.2	【6:4】	6/10	0.24	0.16	【6:4】	7.5/10	0.15	0.1	
農山漁村地域整備交付金	外水係用輸送	【6:4】	1/2	0.3	0.2									
		【6:4】	1/2	0.3	0.2									
海岸保全施設整備	高潮耐震	【8:2】 5/10	(0.570) 5/10	(0.344) 0.414	(0.086) 0.086	【10:0】 6/10	6/10	0.4	0	【10:0】 6/10	6/10	0.4	0	
		【8,72:1,28】 ※旧局改準用	(0.570) 1/2	(0.3750) 0.4450	(0.0550) 0.0550	【7:3】 6/10	5.5/10	0.24	0.16	【7:3】 7.5/10	2/3	0.775/3	0.225/3	
海岸環境	津波・高潮	【8:2】 1/3	1/3	1.6/3	0.4/3	1/3	1/3	1.7/3	0.3/3	1/3	1/3	1.775/3	0.225/3	
		【8:2】 1/3	1/3	1.6/3	0.4/3	1/3	1/3	1.7/3	0.3/3	1/3	1/3	1.775/3	0.225/3	
その他の施設	津波・高潮	【8:2】 1/3	1/3	1.6/3	0.4/3	1/3	1/3	1.7/3	0.3/3	1/3	1/3	1.775/3	0.225/3	
		【8:2】 1/3	1/3	1.6/3	0.4/3	1/3	1/3	1.7/3	0.3/3	1/3	1/3	1.775/3	0.225/3	

- 1 R8年、県、市町村欄の( )内は後進地域による引上後の負担割合である。(R8引上率 1.14 ← R7 1.14)
- 2 59年補助率の【 】書きは県と市町村の負担割合である。
- 3 59年補助率を基本に後進地域による引上後の負担割合を検討した結果、県負担割合が0.1未満の場合は、県負担割合を0.1とする。
- 4 海岸保全施設整備の離島において、基本負担割合による地方負担率(市町村負担が本土より高い場合は、本土と同率とする。
- 5 「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」に基づく補助率高上げ対象となる施設の負担率は次のとおり。

地域 第2種(本土)	国	県	市町村
	(0.6270)	(0.2238)	(0.1492)
	0.55	0.3008	0.1492
- 6 平成15年度以降の新規海岸環境整備事業の(便所・植栽・水飲場等附帯施設部分)については、県と市町村負担割合を同じとする。  
( 県 1/3 : 市町村 1/3 )
  - ※海岸保全施設:護岸、離岸堤、突堤、海浜等の整備
  - ※その他の施設:遊歩道、便所、ベンチ、植栽、水飲み場、駐車場、散水施設、安全情報伝達施設 等
- 7 海岸保全施設の老朽化対策(長寿命化計画策定)については、水産基盤整備事業の機能保全計画策定と同様、市町村負担は0とする。

令和8年度 漁港漁場関係事業補助率表 4

種別区分	本 土			離 島			奄 美		
	国		市町村	国		市町村	国		市町村
	59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年	
港整備交付金	外水係用輸送	【6:4】	(0.570)	(0.9)	(0.1)	(0)			
			1/2	8/10	0.2	0			
災害関連	域留地送	【6:4】	(0.258)	(0.684)	(0.316)	(0)			
			0.328	6/10	0.4	0			
県単漁港	一般整備 公共継足 委託費	【6:4】	(0.258)	(0.2238)	(0.2466)	(0.1492)			
			0.328	5.5/10	0.3008	0.1492			
県の活力再生交付金(漁港機能高度化)		5/10	0	(0.6270)	(0.3236)	(0.1264)	【6:4】	(0.7600)	(0.1136)
			0	5.5/10	0.3236	0.1264	3/5	2/3	0.2069
			0	0	0.8	0.2	0	0.8	0.2
			0	0	1.0	0	0	1	0
			1/2	1/2	0.4	0.1	1/2	0.4	0.1

注) 1 R8年、県、市町村欄の( )内は後進地域による引上後の負担割合である。(R8引上率 1.14 ← R7 1.14)

2 59年補助率の【 】書きは県と市町村の負担割合である。

3 59年補助率を基本に後進地域による引上後の負担割合を検討した結果、県負担割合が0.1未満の場合は、県負担割合を0.1とする。



令和8年度 漁港漁場関係事業補助率表 6

鹿兒島県漁港漁場課

(県営事業分)

種別区分	本 土			離 島			奄 美		
	国	県	市町村	国	県	市町村	国	県	市町村
	59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年	
水漁 産港 施設 盤設 機能 能保 全化 事業	外水係用輸	【10:0】	5/10	【10:0】	8/10	0	【10:0】	9/10	0
	域留地送	【6:4】	5/10	【10:0】	2/3	0	【10:0】	8/10	0
	外水係用輸	【8:2】	5/10	【6:4】	5.5/10	0.1	【6:4】	2/3	0.4/3
	域留地送	【6:4】	5/10	【6:4】		0.2			
特定第3種	【6:4】	5/10	0.3		0.2				
盤設	【6:4】	5/10	0.3		0.2				
機能	【6:4】	5/10	0.3		0.2				
能保	【6:4】	2/3	0.72/3		0.28/3				
全化	【6:4】	5/10	0.3		0.2				
事業	【6:4】	5/10	0.3		0.2				
外水係用輸	【10:0】			【10:0】	8/10	0			
域留地送	【6:4】	5/10	0.3	【10:0】	6/10	0			
	【6:4】	5/10	0.3	【6:4】	5.5/10	0.18			

注) 1 機能保全計画策定に係る費用については市町村の負担は無し。  
2 59年補助率欄の【】書きは県と市町村の負担割合である。

(市町村営事業分)

種別区分	本 土			離 島			奄 美		
	国	県	市町村	国	県	市町村	国	県	市町村
	59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年	
水漁 産港 施設 盤設 機能 能保 全化 事業	外水係用輸				8/10	0.20		9/10	0.10
	域留地送				6/10	0.40		8/10	0.20
	外水係用輸		0.50		5.5/10	0.45		2/3	1/3
	域留地送								

注) 1 欄外の☆印は間接補助事業である。

☆

令和8年度 漁港漁場関係事業補助率表 7

鹿兒島県漁港漁場課

(県営事業分)

種別区分	本			土			島			奄			美		
	国		県	国		県	国		県	国		県	国		県
	59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年	
漁港機能増進事業	外水係用輸	【10:0】	5/10	0.5	0	【10:0】	8/10	0.2	0	【10:0】	9/10	0.1	0	0	
	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2	【6:4】	2/3	1/3	0	【10:0】	8/10	0.2	0	0	
	外水係用輸	【8:2】	5/10	0.4	0.1		5.5/10	0.27	0.18		2/3	0.6/3	0.4/3		
	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2										
漁港機能増進事業	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2										
	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2										
	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2										
	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2										
漁港機能増進事業	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2	【10:0】	8/10	0.2	0	【10:0】					
	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2	【10:0】	6/10	0.4	0	【10:0】					
	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2	【6:4】	5.5/10	0.27	0.18	【6:4】	5.5/10	0.27	0.18		
	外水係用輸	【6:4】	5/10	0.3	0.2										

注) 1 59年補助率欄の【】書きは県と市町村の負担割合である。

(市町村営事業分)

種別区分	本			土			島			奄			美		
	国		県	国		県	国		県	国		県	国		県
	59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年		59年	R8年	
漁港機能増進事業	外水係用輸														
	外水係用輸			0	0.50		8/10		0.20		9/10		0.10		
	外水係用輸		5/10				6/10		0.40		8/10		0.20		
	外水係用輸						5.5/10		0.45		2/3		1/3		

注) 1 欄外の☆印は間接補助事業である。

☆

令和8年度 漁港漁場関係事業補助率表 8

(県営事業分)

種別区分	本			土			離			島			奄			美		
	国		R8年	県		市町村	国		R8年	県		市町村	国		R8年	県		市町村
	59年	【8:2】		59年	【7:3】		59年	【7:3】		59年	【7:3】							
海(補助事業)	高潮対策事業	2/3	(0.760)	0.192	0.048													
	侵食対策事業	2/3	(0.760)	0.192	0.048													
	海岸保全施設整備	1/2	(0.570)	0.344	0.086													
	海岸メンテナンス事業	1/2	(0.570)	0.414	0.086													
	1/2	(0.570)	(0.344)	0.627	0.287	0.086	0.6	0.55	0.364	0.086	0.086	7.5/10	2/3	0.775/3	0.225/3			

注) 1 R8年、県、市町村欄の( )内は後進地域による引上後の負担割合である。(R8引上率 1.14 ← R7 1.14)

2 59年補助率の【 】書きは県と市町村の負担割合である。

3 59年補助率を基本に後進地域による引上後の負担割合を検討した結果、県負担割合が0.1未満の場合は、県負担割合を0.1とする。

(市町村営事業分)

種別区分	本			土			離			島			奄			美		
	国		R8年	県		市町村	国		R6年	県		市町村	国		R6年	県		市町村
	59年	1/2		59年	0		59年	0		59年	0							
海(補助事業)		1/2		0	0.50													
				0	0.55													
				0	0.45													
				0	2/3													
				0	1/3													

令和8年度 漁港漁場関係事業補助率表 9

(県営事業分)

事業名	区分			本土			離島			奄美		
	工種	地域	箇所	国	県	市町村	国	県	市町村	国	県	市町村
広域漁場整備事業	魚礁	共通	権外	5/10	5/10	0	5/10	5/10	0	5/10	5/10	0
		共通	権内	5/10	4/10	1/10	5/10	4/10	1/10	5/10	4/10	1/10
	増殖場	共通	権外	5/10	5/10	0	5/10	5/10	0	5/10	5/10	0
		共通	権内	5/10	4/10	1/10	5/10	4/10	1/10	5/10	4/10	1/10
養殖場	共通	権内	5/10	4/10	1/10	5/10	4/10	1/10	5/10	4/10	1/10	

※表中箇所区分は、漁業法の規定に基づく共同漁業権の区域を示す。

(市町村営事業分)

事業名	種別区分			本土			離島			奄美		
	工種	地域	箇所	国	県	市町村	国	県	市町村	国	県	市町村
漁場環境保全創造事業	たいい積物の除去 着定基質 底質改善	共通	権内	3/6	2/6	1/6	3/6	2/6	1/6	3/6	2/6	1/6

※表中箇所区分は、漁業法の規定に基づく共同漁業権の区域を示す。

オ 水産技術の開発と普及

事業名	① 漁業情報提供事業
-----	------------

(水産技術開発センター企画・栽培養殖部)

1 目的

水産技術開発センターの試験研究の成果等を迅速に広報・普及するとともに、漁業情報システムの円滑な運用を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分			
		令和7年度	令和8年度		国	県	他	
漁業情報提供事業 (H16～)	県	千円 6,267	千円 6,396	・ 漁海況情報や赤潮情報等の漁業情報を収集し、インターネットを通じて迅速に情報提供するとともに、試験研究成果についてもホームページ等を通じて情報提供する。		10	10	
計		6,267	6,396					

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
漁業情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業情報システムの円滑な運用と漁業情報等の迅速な提供を行った。</li> <li>・ 漁業情報システムアクセス者数：36,154件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業情報システムの円滑な運用と漁業情報等の迅速な提供を行った。</li> <li>・ 漁業情報システムアクセス者数：39,654件</li> </ul>

<b>事業名</b>	② 200カイリ水域内漁業資源総合調査	(水産技術開発センター資源管理部)
------------	---------------------	-------------------

1 目的

わが国の200カイリ水域内の漁業資源を評価し、資源の維持増大、高度利用の推進に資するための基礎資料を整備する。また、漁海況情報を収集し、沿岸・沖合域の漁海況長期予報や漁期前予報、週報を発行することにより操業の効率化及び漁家経営の安定化を図る。

調査対象魚種：マアジ、マサバ、ゴマサバ、マイワシ等の資源評価対象種 23種

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
200カイリ水域内漁業資源総合調査 (S5 2~)	県	千円 55,118	千円 65,642	①主要港における水揚げ量調査、生物情報収集調査(体長、体重、生殖腺等の測定) ②標本船調査 (主要漁業種における操業日誌の記帳) ③卵稚仔調査(ネットによるサンプリング) ④沖合海域海洋観測調査 (水温、塩分、海流等の測定) ⑤標識放流調査 (マチ類(主としてハマダイ)、キンメダイ) ⑥漁場一斉調査(モジャコ調査) ⑦大型クラゲ調査 ⑧沖合の水温、塩分、海流等と漁場形成との関係のパターン化 ⑨市場情報の収集			10 — 10
計		55,118	65,642				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
200カイリ水域内漁業資源総合調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁場別漁獲状況調査 浮魚：主要4港の水揚データ整理</li> <li>・標本船調査 棒受網等 22隻</li> <li>・生物調査 マアジ、サバ類、イワシ類等 131回</li> <li>・沖合海域海洋観測調査 調査船による定点観測調査： 9回</li> <li>・卵稚仔量調査 調査船による卵、稚仔採集： 9回</li> <li>・漁場一斉調査 モジャコ分布調査 3回</li> <li>・標識放流 ハマダイ 39尾、アオダイ 11尾 キンメダイ 100尾</li> <li>・大型クラゲ調査 調査船による目視調査： 1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁場別漁獲状況調査 浮魚：主要4港の水揚データ整理</li> <li>・標本船調査 棒受網等 21隻</li> <li>・生物調査 マアジ、サバ類、イワシ類等 140回</li> <li>・沖合海域海洋観測調査 調査船による定点観測調査： 9回</li> <li>・卵稚仔量調査 調査船による卵、稚仔採集： 9回</li> <li>・漁場一斉調査 モジャコ分布調査： 3回</li> <li>・標識放流 ハマダイ 22尾、アオダイ 4尾 キンメダイ 107尾</li> <li>・大型クラゲ調査 調査船による目視調査： 1回</li> </ul>

事業名	③ マグロ漁場調査
-----	-----------

(水産技術開発センター資源管理部)

1 目的

国際資源である、カツオ・マグロ・カジキ類等の資源管理に関する基礎資料の収集を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
日本周辺クロマグロ調査委託事業 (H9～)	県	千円 8,808	千円 8,966	・クロマグロ稚仔魚分布調査、カツオ・マグロ類・カジキ類の水揚量調査及び体長測定			10 — 10
計		8,808	8,966				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
日本周辺クロマグロ調査委託事業	・クロマグロ等の漁獲量調査により、資源評価に必要な基礎資料を収集整備した。 また、クロマグロ仔魚期の移動・回遊を解明するために仔魚分布調査を行った。	・クロマグロ等の漁獲量調査により、資源評価に必要な基礎資料を収集整備した。 また、クロマグロ仔魚期の移動・回遊を解明するために仔魚分布調査を行った。

事業名	④ 沿岸・近海漁業資源調査
-----	---------------

(水産技術開発センター資源管理部)

1 目的

本県沿岸、近海の資源の有効利用と操業の効率化等を図るため、モジャコの分布状況調査及び魚礁効果調査等を実施する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
浮魚資源調査	県	千円 699	千円 655	・モジャコの分布状況や海況等情報の収集提供		10	
漁場環境調査	県	91	91	・ROV（水中テレビロボット）による魚礁効果調査		10	
計		790	746				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
浮魚資源調査	・モジャコの分布調査等を行い、結果等を情報提供した。	・モジャコの分布調査等を行い、結果等を情報提供した。
漁場環境調査	・出水市（北さつま漁協）、南さつま市（坊泊漁協）、南大隅町（ねじめ漁協）において水中ドローンによる調査を実施した。	・鹿児島市（鹿児島市漁協桜島支所）、南九州市（かいぬい漁協）、出水市（北さつま漁協出水支所）において水中ドローンによる調査を実施した。

事業名 ⑤ 資源管理効果向上調査

(水産技術開発センター資源管理部)

1 目的  
漁船漁業における漁場や資源の高度活用と効率的な操業を支援し、経営の安定化を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
資源管理効果向上調査 (R4～R8)	県	千円 920	千円 920	・「くろしお」によりサメの生態・被害実態調査を実施すると共に、サメの標識放流を実施する。		3 10	7 10
計		920	920				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
資源管理効果向上調査	「くろしお」により種子島東沖海域においてサメ類生態・被害実態調査を実施し、イタチザメ1尾、ヨシキリザメ1尾を漁獲した。漁獲したサメは、体長・体重の計測、胃内容物の測定を実施した。	「くろしお」により種子島東沖海域においてサメ類生態・被害実態調査を実施し、イタチザメ4尾、シロシュモクザメ1尾を漁獲した。漁獲されたシロシュモクザメ1尾にダートタグを装着し標識放流を実施した。漁獲したサメは、体長・体重の計測、胃内容物の測定を実施した。

事業名 ⑥ ICTを活用したスマート漁船漁業実装化事業 趣 (水産技術開発センター資源管理部)

1 目的

ICTを活用した海況予報や漁場予報を漁業現場に実装し、予報活用者の燃油消費量を削減して漁労所得を増加させることで、稼ぐ漁船漁業の推進を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
ICTを利用した漁船漁業スマート化推進事業 (R5～R7)	県	千円 15,845	千円	(1) 東シナ海 海況予報モデルの精度向上 (2) 鹿児島湾 海況予報モデルの精度向上 (3) 漁場予測技術の開発		10	
ICTを活用したスマート漁船漁業実装化事業 (R8～R10) (組替)	県		15,845	(1) 海況予報の精度向上 (2) 漁場予報魚種の拡充 (3) 操業支援ツールの改良		10	
計		15,845	15,845				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
・ICTを利用した漁船漁業スマート化推進事業 (R5～7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易型CTD25台、NMEAデータロガー5台を用いた漁業者等による海洋観測を行った。</li> <li>・鹿児島湾内を対象とした海況予測モデルを開発した。</li> <li>・鹿児島大学との共同研究により、海況データ収集・同化による海況予報モデルの精度向上、及び高精度の海況予測を活用した漁場予測技術の開発に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易型CTD24台、NMEAデータロガー5台を用いた漁業者等による海洋観測を行った。</li> <li>・鹿児島湾内を対象とした海況予測モデルを開発した。</li> <li>・鹿児島大学との共同研究により、海況データ収集・同化による海況予報モデルの精度向上、及び高精度の海況予測を活用した漁場予測技術の開発に取り組んだ。</li> </ul>

事業名	⑦ 赤潮総合対策調査事業
-----	--------------

(水産技術開発センター漁場環境部)

1 目的

鹿児島湾や八代海等で発生し大きな漁業被害を与えている有害赤潮の予察調査や赤潮発生時の情報発信等を行うことにより漁業被害を未然に防止する。また、主に鹿児島湾奥部における貧酸素水塊の出現状況を把握するため、モニタリング調査を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
赤潮対策技術高度化事業 (R5～R9)	県	千円 2,010	千円 1,960	①八代海の漁場環境調査 ②赤潮発生機構の解明 ③赤潮被害防止・軽減技術の開発			10 10
赤潮被害防止技術開発事業 (R7～R11)	県	4,013	3,827	①赤潮等発生早期確認調査 ②赤潮短期予察調査 ③赤潮発生緊急対策試験 ④産学官連携赤潮防除試験 ⑤赤潮早期発生予察技術開発 ⑥赤潮情報スマート技術開発 ⑦赤潮情報の積極的発信			10 10
計		6,023	5,787				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
赤潮対策技術高度化事業 (R5～R9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代海 : 年7回調査</li> <li>・魚毒性診断技術開発調査 : 年4回調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代海 : 年7回調査</li> <li>・魚毒性診断技術開発調査 : 年4回調査</li> </ul>
赤潮被害防止技術開発事業 (R7～R11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島湾 : 年15回調査</li> <li>・八代海南部 : 年19回調査</li> <li>・その他海域 : 年0回調査</li> <li>・赤潮発生早期確認調査実施</li> <li>・赤潮短期予察調査実施</li> <li>・赤潮発生緊急対策試験実施</li> <li>・赤潮情報の発行 : 22回</li> <li>・貧酸素調査情報 : 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島湾 : 年15回調査</li> <li>・八代海南部 : 年10回調査</li> <li>・その他海域 : 年2回調査</li> <li>・赤潮発生早期確認調査実施</li> <li>・赤潮短期予察調査実施</li> <li>・赤潮発生緊急対策試験実施</li> <li>・赤潮情報の発行 : 24回</li> <li>・貧酸素調査情報 : 1回</li> </ul>

事業名	⑧ 鹿児島海藻パーク推進事業
-----	----------------

(水産技術開発センター漁場環境部)

1 目的

藻場の現状の把握や藻場造成・回復技術の改良・開発等による藻場の回復と、市場価値の高い有用海藻増養殖技術の改良によって、漁家経営の改善に資する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分			
		令和7年度	令和8年度		国	県	他	
海藻畑造成事業 (R4～R8)	県	千円 1,012	千円 991	① 藻場の残存要因把握及び回復(造成)手法の改良・確立 ② 魚類による食害防除手法開発 ③ 水温上昇等に対応した有用海藻類の人工採苗手法等の開発 ④ 藻場回復(造成)及び藻類養殖技術等の普及・指導		10	10	
藻場定期モニタリング調査事業 (R8～R12)	県	441	441	① 環境、生物調査 ② 藻場の維持・回復手法の指導			10	10
計		1,453	1,432					

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
海藻畑造成事業 (R4～R8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藻場状況把握調査(笠沙・羽島地区)</li> <li>・ 食害防除技術開発研究(坊泊他：人工海藻等)</li> <li>・ 水温上昇等への対応研究(ヒトエグサ養殖：徳之島産株)</li> <li>・ 藻場造成試験・藻場回復指導</li> <li>・ 藻類養殖技術指導(アサクサノリ種苗生産指導)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藻場状況把握調査(笠沙・羽島地区)</li> <li>・ 食害防除技術開発研究(坊泊他：忌避物質等)</li> <li>・ 水温上昇等への対応研究(ヒトエグサ養殖：徳之島産株)</li> <li>・ 藻場造成試験・藻場回復指導</li> <li>・ 藻類養殖技術指導(アサクサノリ種苗生産指導)</li> </ul>
藻場定期モニタリング調査事業 (R3～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藻場モニタリング調査(指宿・山川地区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藻場モニタリング調査(指宿・山川地区)</li> </ul>

事業名	⑨ 温排水影響調査事業
-----	-------------

(水産技術開発センター漁場環境部、資源管理部)

### 1 目的

川内原子力発電所の温排水影響調査を実施し、海域モニタリング技術委員会により調査結果の検討を行う。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
温排水影響調査事業 (S56～)	県	千円 12,127	千円 12,966	① 温排水影響調査 ・水温・塩分：年2回(夏、冬)、水平分布と鉛直分布(水温)を調査 ・流況：年2回(夏、冬)、25時間連続調査と15日間連続調査を実施 ・海生生物の状況調査：年1回(春)、海藻類と潮間帯生物を調査 ・主要魚類及び漁業実態調査：イワシ類(シラス)とタイ類(マダイ、チダイ)の漁獲量を調査  ② 海域モニタリング技術委員会 ・調査計画の検討 ・調査結果の検討評価	10		
					10		
計		12,127	12,966				

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
温排水影響調査事業 (R3～R7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季調査における温排水の拡散範囲は、放水口の周辺に限られており、また、流況や周辺海域の海生生物の出現状況については過去の調査結果の変動の範囲内であった。</li> <li>冬季調査、主要魚類及び漁業実態調査を実施した(調査結果は7年度に報告)。</li> <li>海域モニタリング技術委員会を2回開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季調査における温排水の拡散範囲は、放水口の周辺に限られており、また、流況や周辺海域の海生生物の出現状況については過去の調査結果の変動の範囲内であった。</li> <li>冬季調査、主要魚類及び漁業実態調査を実施した(調査結果は8年度に報告)。</li> <li>海域モニタリング技術委員会を2回開催した。</li> </ul>

事業名	⑩ かがしまのさかな付加価値向上事業	(水産技術開発センター水産食品部)
-----	--------------------	-------------------

1 目的

本県漁業生産者及び水産加工業者の抱える各種課題に対し、製品開発・技術改良及び各種試験を実施することで、関係者への技術支援を図り、本県水産加工業の発展に寄与する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
かがしまのさかな付加価値向上事業 (R6～)	県	千円 543	千円 523	①水産加工技術サポート ②生産現場の課題解決 ③講習会等の開催		10	10
計		543	523				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
かがしまのさかな付加価値向上事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設、機器の開放による技術支援を行い、特産品開発のための指導を行った。</li> <li>製品の品質管理指導を行った。</li> <li>生産現場から要望を受けイワシの加工品開発、ヒトエグサの異物除去対策に取り組んだ。</li> <li>スプレードライヤーを用いて、粉末化基材なしでの出汁粉末化を検討した。</li> </ul> <p>※水産加工利用棟の利用実績 延べ18団体、46名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設、機器の開放による技術支援を行い、特産品開発のための指導を行った。</li> <li>製品の品質管理指導を行った。</li> <li>生産現場から要望を受け、ツキヒガイの新商品開発、ヒトエグサの異物除去対策の現場試験に取り組んだ。</li> <li>ブリの褐変抑制対策やヒトエグサの異物除去対策等に関する講習会を行った。</li> </ul> <p>※水産加工利用棟の利用実績 延べ19団体、35名</p>

事業名	⑪ 魚病総合対策事業
-----	------------

(水産技術開発センター水産食品部)

### 1 目的

海面養殖業の魚病被害の軽減を図り、併せて食品として安全な魚の供給のため、魚類防疫対策、魚病検査・対策指導、水産用医薬品の適正使用指導等の総合的な魚病対策を推進する。

### 2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
魚病総合対策事業 (S59～)	県	千円 940	千円 914	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚類防疫会議、魚病講習会、ワクチン接種技術講習会、巡回指導、水産用医薬品適正、使用指導、魚病検査等</li> <li>・魚病対策研究</li> <li>・輸入種苗(カンパチ等)監視対策</li> </ul>	5	5	
					10	10	
							10
							10
計		940	914				

### 3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
魚病総合対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚類防疫対策事業として、5回の魚病講習会、6回のワクチン接種技術講習会を実施した。</li> <li>・年間魚病診断件数：184件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚類防疫対策事業として、8回の魚病講習会、3回のワクチン接種技術講習会を実施した。</li> <li>・年間魚病診断件数：308件</li> </ul>

事業名	⑫ 内水面漁業総合対策研究
-----	---------------

(水産技術開発センター水産食品部)

1 目的

内水面養殖業における魚病の多発、複雑化に対応するため、魚病検査等に加え、水産用医薬品の適正使用の指導等の総合的な魚病対策を推進する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
内水面魚病対策推進事業 (H30～)	県	千円 475	千円 475	・魚病診断、水産用医薬品の適正使用指導、巡回指導、魚類防疫会議、ウナギ台湾輸出衛生証明書発行、着地検査等	5	5	
計		475	475		10	10	

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
内水面魚病対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間魚病診断件数：66件</li> <li>・衛生証明書発行数：台湾向け8件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間魚病診断件数：127件</li> <li>・衛生証明書発行数：台湾向け1件</li> </ul>

事業名	⑬⑯ブリ類人工種苗養殖高度化技術普及事業
-----	----------------------

(水産技術開発センター企画・栽培養殖部)

1 目的

ブリ及びカンパチ人工種苗を用いた養殖の優位性や課題等を把握し、人工種苗を用いた養殖の普及および養殖技術高度化を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
ブリ類人工種苗養殖技術高度化調査事業 (R3～R7)	県	千円 489	千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリ類人工種苗の飼育データの収集</li> <li>・飼育データの解析</li> <li>・解析結果の漁業者への提供</li> <li>・成長の優れた親魚候補の情報提供</li> </ul>			10
			489				10
ブリ類人工種苗養殖高度化技術普及事業 (R8～R12) (組み換え)			489	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリ類人工種苗の飼育データの収集</li> <li>・飼育データの解析</li> <li>・解析結果の漁業者への提供</li> <li>・成長の優れた親魚候補の情報提供</li> </ul>			10
計		499	489				10

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
ブリ類人工種苗養殖技術高度化調査事業 (R3～R7)	ブリ、カンパチ人工種苗の飼育データの収集を実施した。 カンパチ養殖業者を対象に意見交換会を実施した。	ブリ、カンパチ人工種苗の飼育データの収集を実施した。 カンパチ養殖業者を対象に意見交換会を実施した。

**事業名** ⑭ ブリ類の養殖高度化技術開発事業

(水産技術開発センター企画・栽培養殖部)

1 目的

ブリ類の人工種苗を用いた養殖の普及、養殖技術の高度化を図るとともに、育種による高成長種苗の作出による生産原価の低減を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
ブリ類の養殖高度化技術開発事業 (R6～R10)	県	千円 11,827	千円 13,125	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高成長形質を有する親魚候補養成、催熟</li> <li>・選抜親魚からの種苗生産</li> <li>・近親交配による負の影響への対策</li> </ul>			
						3	7
					10	10	
計		11,827	13,125				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
ブリ類の養殖高度化技術開発事業	高成長形質を有するブリ親魚候補を選抜し、養成した。 カンパチ親魚の遺伝的多様性を回復させるための交配試験を実施した。	選抜したブリ親魚から採卵し、人工授精を行い、人工種苗第1世代を生産した。 カンパチ親魚の遺伝的多様性を回復させるための交配試験を実施した。

事業名	⑮ 人工生産ウナギ飼育技術向上試験
-----	-------------------

(水産技術開発センター企画・栽培養殖部)

1 目的

水産研究・教育機構と共同で人工生産ウナギ飼育技術の向上を目的とした仔魚飼育試験を実施するとともに、親魚養成技術の確立への取組を行う。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
人工生産ウナギ飼育技術向上試験 (R6～R8)	県	千円 15,415	千円 11,276	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産技術開発センターにて、人工生産ウナギ仔魚の提供を受け、飼育技術の向上に向けて一定期間飼育する。</li> <li>水産技術開発センター実験池にて、人工生産ウナギを用いた親魚養成を実施する。</li> </ul>			10 10
計		15,415	11,276				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
人工生産ウナギ飼育技術向上試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年7月24日に水研機構南伊豆庁舎より導入した仔魚を飼育開始し、令和7年3月26日(250日齢)で飼育試験を終了し、合計4,254尾のシラスウナギを生産し、目標の年間1,000尾の生産を3年連続で達成。</li> <li>他機関で生産した人工生産シラスウナギを将来の親魚候補として養成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年7月9日に水研機構南伊豆庁舎より導入した仔魚を飼育開始し、令和8年3月31日(270日齢)時点で、合計11,448尾のシラスウナギを生産し、年間10,000尾の生産を達成。</li> <li>他機関で生産した人工生産シラスウナギを将来の親魚候補として養成し、一部を親魚として水研機構に受渡した。</li> </ul>

事業名 ⑩⑪ 高水温に対応したブリ類養殖技術開発事業

(水産技術開発センター企画・栽培養殖部・水産食品部)

1 目的

養殖ブリ類の生産原価の低減を図るため、高水温下における養殖期間の短縮とハダムシ被害の軽減に資する水中給餌技術を開発する。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
高水温に対応したブリ類養殖技術開発事業 (R8～R10)	県	千円 —	千円 26,836	<ul style="list-style-type: none"> <li>カンパチ養殖における水中給餌方法の開発及び実証試験を行い従来給餌方法と比較する。</li> <li>陸上施設で水温別にカンパチを飼育し、適水温を把握する。</li> <li>養殖場における水深別のハダムシ感染状況を調査し、水中給餌の有効性及び沈下水深を評価する。</li> </ul>		4	6
					10	10	
計			26,836				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
—	—	—

事業名 ⑰ 公募型試験研究事業

(水産技術開発センター企画・栽培養殖部)

1 目的

公募型研究資金を活用した水産関連の試験研究を行うことにより、本県水産業の振興を図る。

2 内容

事業区分	事業主体	予算額		事業内容	負担区分		
		令和7年度	令和8年度		国	県	他
公募型試験研究事業 (H22～)	県	千円 17,200	千円 29,362	公募型研究資金を獲得し、生産現場等のニーズに的確に対応した試験研究を実施する。			10 10
計		17,200	29,362				

3 事業の実施状況

事業区分	令和6年度	令和7年度
公募型試験研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生鮮冷凍水産物の高品質化技術の開発</li> <li>・ ブルーカーボンを利用した養殖技術・藻場形成技術の開発</li> <li>・ 人工種苗安定生産体制構築（ブリ、カンパチ）</li> <li>・ 気候変動に左右されない赤潮対応技術の開発</li> <li>・ 昆虫粉末による寄生虫抑制効果確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生鮮冷凍水産物の高品質化技術の開発</li> <li>・ 人工種苗安定生産体制構築（ブリ、カンパチ）</li> <li>・ 気候変動に左右されない赤潮対応技術の開発</li> <li>・ 昆虫粉末による寄生虫抑制効果確認</li> <li>・ 海水温上昇に対応した藻場整備における検討調査</li> </ul>

第5 参 考

1 鹿児島県予算の概要

(1) 一般会計予算

① 歳 入

款 別	8年度当初 予算額 (A)	7年度当初 予算額 (B)	前年度比 (A) / (B)	(A) の 構成比
	百万円	百万円	%	%
県 税	170,461	168,410	101.2	18.5
地 方 消 費 税 清 算 金	91,151	81,670	111.6	9.9
地 方 譲 与 税	38,744	35,700	108.5	4.2
地 方 特 例 交 付 金	8,015	966	829.7	0.9
地 方 交 付 税	295,620	284,364	104.0	32.1
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	375	417	89.9	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	5,921	5,098	116.1	0.6
使 用 料 及 び 手 数 料	10,733	10,742	99.9	1.2
国 庫 支 出 金	170,942	152,341	112.2	18.6
財 産 収 入	1,582	1,942	81.5	0.2
寄 附 金	18	19	94.7	0.0
繰 入 金	45,627	33,752	135.2	5.0
繰 越 金	2,000	2,000	100.0	0.2
諸 収 入	10,783	10,230	105.4	1.2
県 債	68,752	65,083	105.6	7.5
合 計	920,724	852,734	108.0	100.0

② 歳 出

(ア) 目的別

款 別	8年度当初 予算額 (A)	7年度当初 予算額 (B)	前年度比 (A) / (B)	(A) の 構成比
	百万円	百万円	%	%
議 会 費	1,457	1,493	97.6	0.2
総 務 費	44,761	45,407	98.6	4.9
民 生 費	130,957	125,559	104.3	14.2
衛 生 費	66,538	63,540	104.7	7.2
労 働 費	2,323	2,386	97.4	0.3
農 林 水 産 業 費	76,877	71,578	107.4	8.3
商 工 費	20,226	13,364	151.3	2.2
土 木 費	86,835	85,255	101.9	9.4
警 察 費	43,935	41,048	107.0	4.8
教 育 費	223,701	196,877	113.6	24.3
災 害 復 旧 費	15,659	16,156	96.9	1.7
公 債 費	113,606	105,524	107.7	12.3
諸 支 出 金	93,649	84,347	111.0	10.2
予 備 費	200	200	100.0	0.0
合 計	920,724	852,734	108.0	100.0

## (イ) 性質別

款 別	8年度当初 予算額 (A)	7年度当初 予算額 (B)	前年度比 (A) / (B)	(A) の 構成比
	百万円	百万円	%	%
人 件 費	258,830	235,541	109.9	28.1
物 件 費	34,976	32,992	106.0	3.8
維 持 補 修 費	5,599	5,168	108.3	0.6
扶 助 費	151,183	144,756	104.4	16.4
補 助 費 等	183,959	163,994	112.2	20.0
普 通 建 設 事 業 費	150,617	139,514	108.0	16.4
災 害 復 旧 事 業 費	15,368	15,912	96.6	1.7
失 業 対 策 事 業 費	0	0	0.0	0.0
公 債 費	113,239	105,147	107.7	12.3
積 立 金	2,601	6,427	40.5	0.3
出 資 金	588	0	0.0	0.1
貸 付 金	2,328	2,184	106.6	0.3
繰 出 金	1,236	899	137.5	0.1
予 備 費	200	200	100.0	0.0
合 計	920,724	852,734	108.0	100.0

## ③ 歳出内訳 (商工労働水産部関係)

## (ア) 農林水産業費

款 別	8年度当初 予算額 (A)	7年度当初 予算額 (B)	前年度比 (A) / (B)
	千円	千円	%
水 産 業 費	11,529,641	11,253,742	102.5

## (イ) 災害復旧費

(目)	8年度当初 予算額 (A)	7年度当初 予算額 (B)	前年度比 (A) / (B)
	千円	千円	%
漁 港 災 害 復 旧 費	704,667	702,703	100.3
水 産 施 設 災 害 復 旧 費	0	0	—
合 計	704,667	702,703	100.3

## (2) 特別会計予算

会 計 名	8年度当初 予算額 (A)	7年度当初 予算額 (B)	前年度比 (A) / (B)
	千円	千円	%
沿岸漁業改善資金貸付事業	205,894	204,331	100.8

## (3) 課別予算目別予算(水産関係)

## ① 一般会計予算

課 名	目 名	8年度当初 予算額 (A)	7年度当初 予算額 (B)	前年度比 (A) / (B)
		千円	千円	%
水産振興課	水産業総務費	1,063,268	1,041,739	102.1
	水産業振興費	2,996,062	2,016,742	148.6
	水産業協同組合指導費	4,246	4,413	96.2
	漁業調整費	59,318	60,662	97.8
	漁業取締費	161,009	1,116,266	14.4
	水産施設災害復旧費	0	0	—
	公債費	0	0	—
	計	4,283,903	4,239,822	101.0
漁港漁場課	漁港管理費	194,987	233,164	83.6
	水産基盤整備費(漁港・漁場)	6,367,228	6,363,509	100.1
	漁港災害復旧費	704,677	702,703	100.3
	公債費	0	0	—
	計	7,266,892	7,299,376	99.6
水産技術開発センター	水産技術開発センター費	671,523	417,247	160.9
合 計		12,222,318	11,956,445	102.2

## ② 特別会計予算

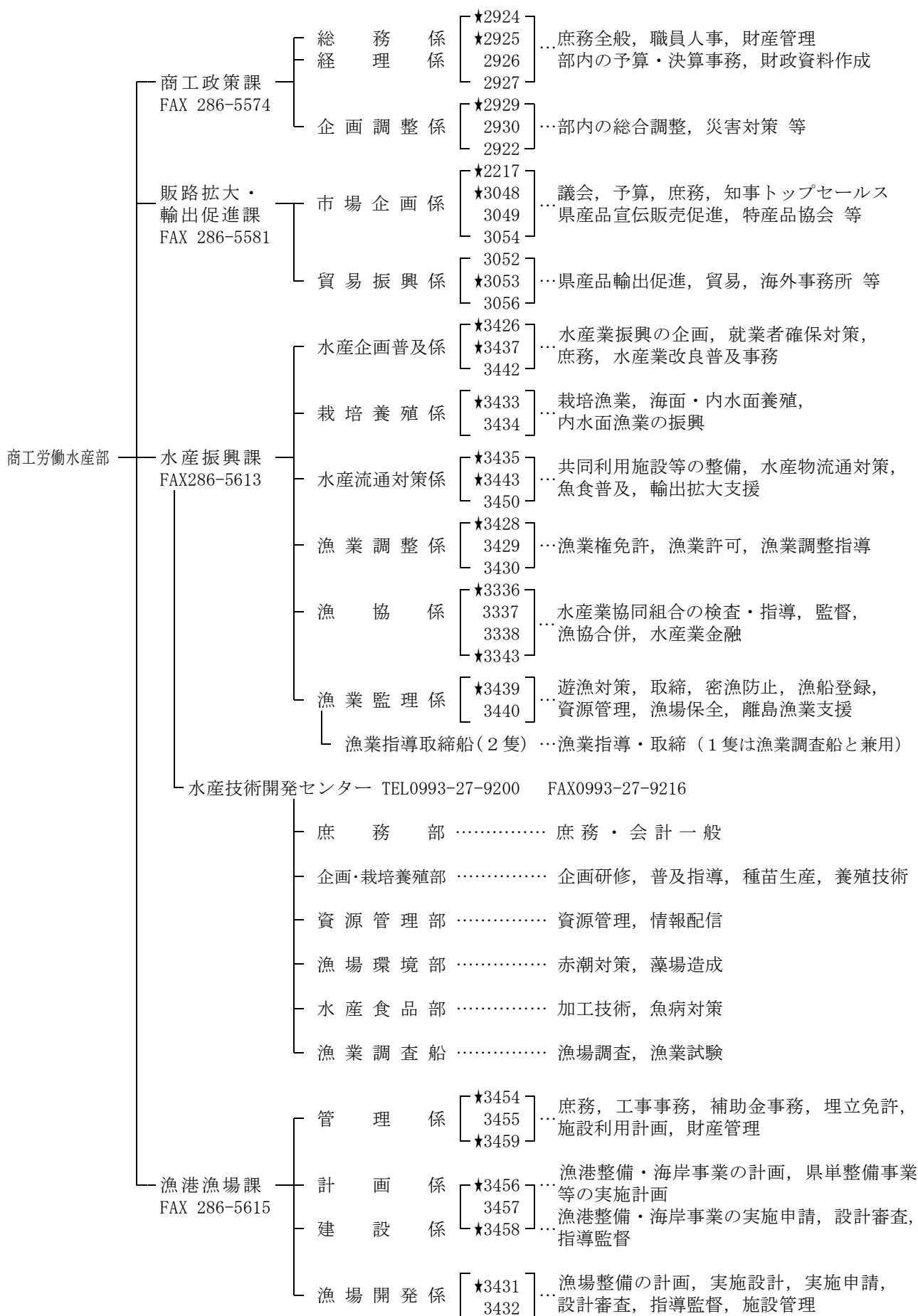
課 名	目 名	8年度当初 予算額 (A)	7年度当初 予算額 (B)	前年度比 (A) / (B)
		千円	千円	%
水産振興課	沿岸漁業改善資金 貸付事業費	205,894	204,293	100.8
	貸付勘定	200,000	200,000	100.0
	業務勘定	5,894	4,293	137.3
合 計		205,894	204,293	100.8

## 2 水産関係の行政組織

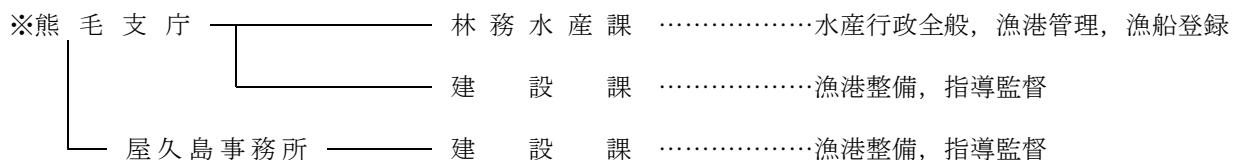
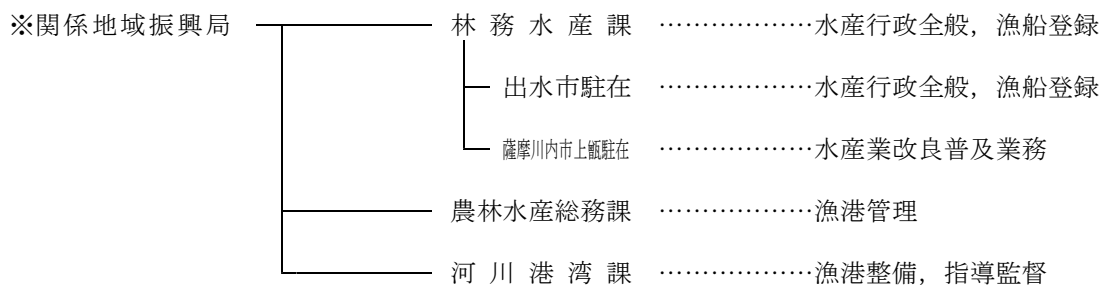
### (1) 商工労働水産部（水産関係）事務分掌

★：ダイヤル

内線 ダイヤルNTT番 099-286-XXXX



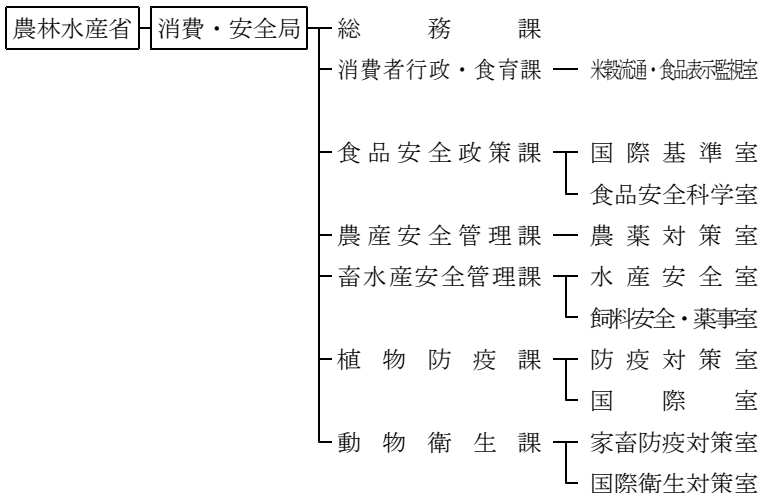
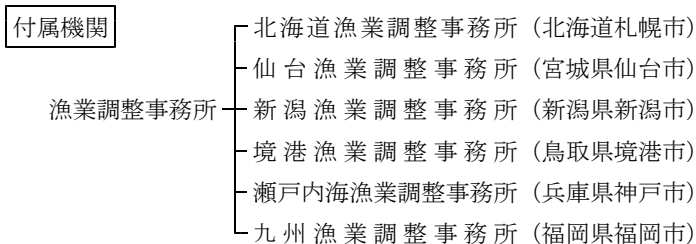
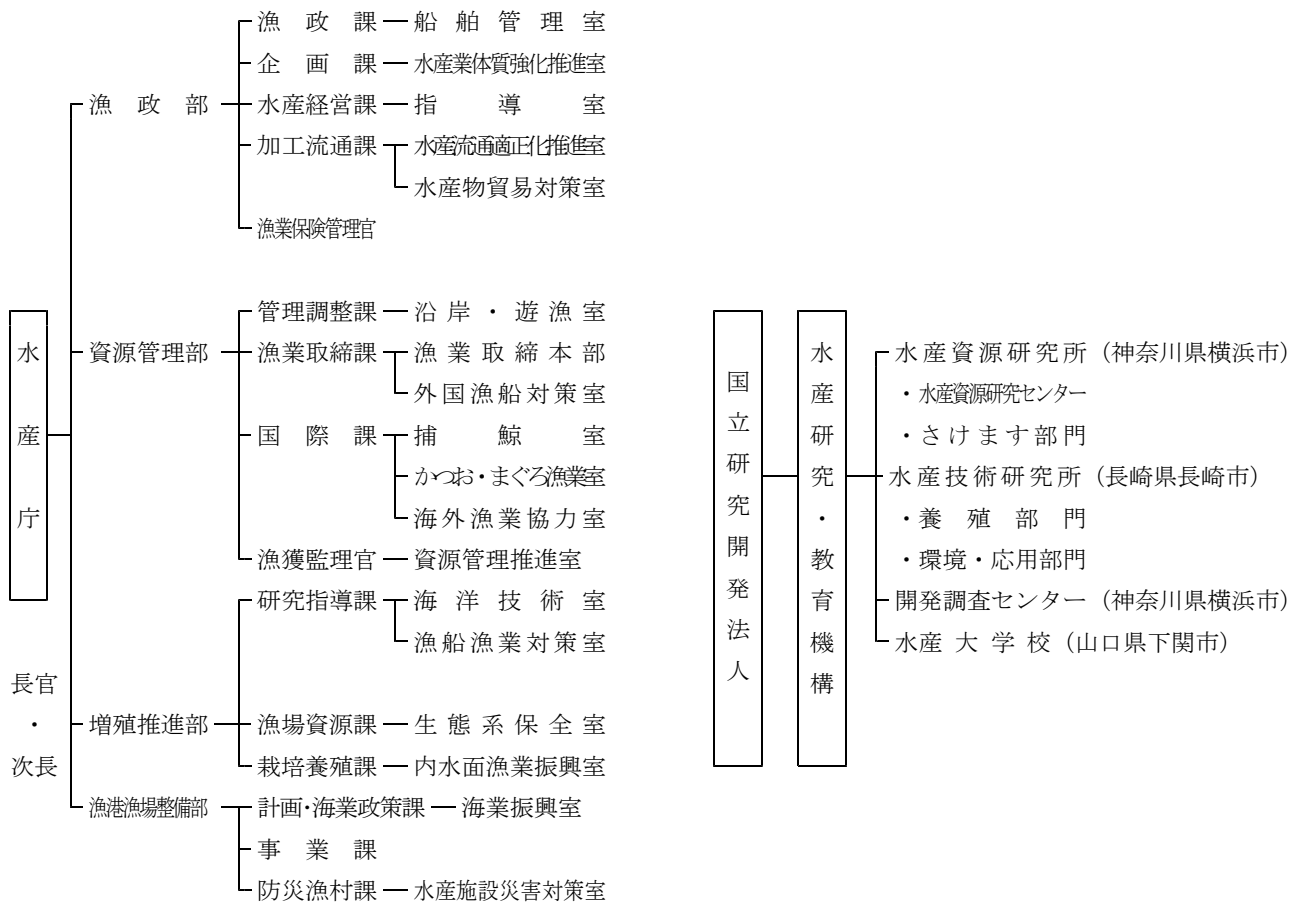
※農 政 部 — 農政課 (かごしまの食輸出・ブランド戦略室) ……食品表示の実態調査, 指導



※東京事務所 — 行政第三課 ……国, 関係団体等との調整

## (2) 水産庁等

(〒100-8907) 東京都千代田区霞が関1の2の1 TEL03-3502-8111 (代表)



(3) 海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会（令和8年4月1日現在）

① 第23期鹿児島海区漁業調整委員会

区分	氏名	摘要
漁業者・漁業従事者	◎ 阿久根金也	鹿児島県漁協加世田支所組合員
〃	① 重信 雅彦	鹿児島県漁協理事・鹿児島市支所支所運営委員長
〃	野村 敬司	鹿児島県旋網漁協副組合長
〃	小崎 春海	北さつま漁協理事
〃	増本 雄二	鹿児島県漁協枕崎支所支所運営副委員長
〃	大久保 光朗	鹿児島県漁協理事・市来支所支所運営委員長
〃	山下 伸吾	東町漁協組合長
〃	鵜瀬 芳昭	鹿屋市漁協監事
〃	川畑 興文	垂水市漁協組合員
学識経験	西 一樹	県漁連常務理事 鹿児島県漁協理事
〃	② 篤 昭仁	元県職員
〃	久賀 みず保	鹿児島大学水産学部准教授
中立	前田 祝成	枕崎市長
〃	前田 圭子	弁護士
〃	久保 源一郎	十島村長

任 期: 令和7年4月1日から令和11年3月31日

② 第23期熊本海区漁業調整委員会

区分	氏名	摘要
漁業者・漁業従事者	◎ 伊東 恭三郎	鹿児島県漁協種子島支所組合員
〃	奥村 洋海	鹿児島県漁協種子島支所組合員
〃	鞆 保徳	鹿児島県漁協屋久島支所組合員
〃	浜崎 一成	鹿児島県漁協種子島支所支所運営委員
〃	① 羽生 隆行	鹿児島県漁協理事・屋久島支所運営委員長
〃	② 浦邊 美智生	鹿児島県漁協南種子支所支所運営委員長
学識経験	折田 和三	元県職員
〃	江幡 恵吾	鹿児島大学水産学部准教授
中立	稲盛 重弘	元県職員
〃	八板 俊輔	西之表市長

任 期: 令和7年4月1日から令和11年3月31日

③ 第21期奄美大島海区漁業調整委員会

区分	氏名	摘要
漁業者・漁業従事者	◎ 茂野 拓真	瀬戸内漁協組合員
〃	① 奥田 忠廣	鹿児島県漁協大和支所組合員
〃	前田 啓一	鹿児島県漁協宇検支所支所運営委員
〃	阿多 美智雄	鹿児島県漁協与論支所組合員
〃	山下 安富	鹿児島県漁協沖永良部島支所支所運営副委員長
〃	竹山 昌治	鹿児島県漁協笠利支所支所運営委員
学識経験	② 鳥居 享司	鹿児島大学水産学部准教授
〃	柳原 重臣	元県職員
中立	築地新 光子	鹿児島市水族館公社学芸員
〃	元山 公知	宇検村長

任 期: 令和7年4月1日から令和11年3月31日

④ 第22期鹿児島県内水面漁場管理委員会

区分	氏名	摘要
漁業者代表	① 出水 昭彦	県内水面漁連理事
〃	中村 博文	霧島天降川漁協組合員
〃	山田 満	県内水面漁連会長
〃	下川 智美	川内市内水面漁協婦人部長
漁業者以外の採捕者等代表	大田 勉	西之表市うなぎ種苗採捕組合長
〃	別府 宏一	日本釣振興会鹿児島県支部長
学識経験者	◎ 福留 己樹夫	元県職員
〃	安樂 和彦	鹿児島大学水産学部教授
〃	② 吉田 明彦	鹿児島市水族館公社学芸員
〃	國師 恵美子	鹿児島大学水産学部准教授

任 期: 令和6年12月1日から令和10年11月30日

◎ 会長    ① 会長職務代理者第1位    ② 会長職務代理者第2位

### 3 水産関係各種機関・団体

#### (1) 水産関係学校

学 校 名	学科課程名	校長(学部長)名	電 話	所 在 地
鹿 児 島 大 学 水 産 学 部	水産学科	西 隆一郎	099(286)4111	〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目50-20
県立鹿児島 水産高等学校	海洋科, 情報通信科 食品工学科, 専攻科	上田 勇一	0993(76)2111	〒898-0083 枕崎市板敷南町650

#### (2) 各種団体等

##### ① 県内

名 称	電 話	郵便番号	所 在 地
第十管区海上保安本部	099(250)9800	890-8510	鹿児島市東郡元町4-1第二地方合同庁舎内
鹿児島海上保安部	099(222)6680	892-0812	鹿児島市浜町2-5-1
喜入海上保安署	099(345)0125	891-0202	鹿児島市喜入中名町1000の28 喜入港湾合同庁舎内
志布志海上保安署	0994(72)4999	899-7103	志布志市志布志町志布志3259 志布志港湾合同庁舎内
指宿海上保安署	0993(34)2999	891-0511	指宿市山川福元6713
種子島海上保安署	0997(22)0118	891-3101	西之表市西之表16314番地6
串木野海上保安部	0996(32)2205	896-0036	いちき串木野市浦和町54-1
奄美海上保安部	0997(52)5811	894-0034	奄美市名瀬入船町22-1名瀬港湾合同庁舎内
古仁屋海上保安署	0997(72)2999	894-1506	大島郡瀬戸内町古仁屋字船津35-1
鹿児島航空基地	0995(58)2541	899-6404	霧島市溝辺町麓字曲迫276-2空港内
九州運輸局鹿児島運輸支局	099(222)5660	892-0812	鹿児島市浜町2番5-1鹿児島港湾合同庁舎内
九州農政局鹿児島県拠点	099(222)5840	892-0816	鹿児島市山下町13-21鹿児島合同庁舎内
(株)日本政策金融公庫鹿児島支店	099(805)0511	892-0843	鹿児島市千日町1-1センテラス天文館
鹿児島県漁業協同組合連合会	099(225)0611	892-0835	鹿児島市城南町37-2
九州信用漁業協同組合連合会 鹿児島統括支店	099(253)5531	890-0051	鹿児島市高麗町43-20 (キラメキ南国ビル4F)
日本漁船保険組合鹿児島県支所	099(257)5311	890-0064	鹿児島市鴨池新町6-6(鴨池南国ビル4F)
鹿児島県漁業共済組合	099(256)7725	890-0051	鹿児島市高麗町43-20(キラメキ南国ビル4F)
全国漁業信用基金協会鹿児島支所	099(253)8815	890-0051	鹿児島市高麗町43-20(キラメキ南国ビル4F)
全国共済水産業協同組合連合会 鹿児島県事務所	099(256)1361	890-0051	鹿児島市高麗町43-20(キラメキ南国ビル4F)
鹿児島県旋網漁業協同組合	099(256)7712	890-0051	鹿児島市高麗町43-20(キラメキ南国ビル4F)
鹿児島県無線漁業協同組合	099(226)3231	892-0836	鹿児島市錦江町11-39
鹿児島県漁業協同組合青年部連合会	099(225)0611	892-0835	鹿児島市城南町37-2
(公財)かごしま豊かな海づくり協会	0994(32)5604	891-2116	垂水市柊原3551
鹿児島県かん水養魚協会	099(256)6261	890-0051	鹿児島市高麗町43-20(キラメキ南国ビル4F)
鹿児島県漁港漁場協会	099(206)4529	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1(県漁港漁場課内)
鹿児島税関支署	099(260)3125	891-0122	鹿児島市南栄5-10-5
鹿児島まぐろ船主協会	0996(32)2181	896-0043	いちき串木野市港町116
若潮船主協会	0996(32)5208	896-0044	いちき串木野市西浜町119
(一社)鹿児島県養鰻管理協議会	090-3323-9973	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1(水産振興課内)
(一社)鹿児島県しらすうなぎ採捕 取扱者協議会	090-8806-3428	890-0063	鹿児島市鴨池2丁目30-8(鹿児島県老人福祉 会館3F)
(一社)鹿児島県水産振興会	099-204-4710	890-0064	鹿児島市鴨池新町5-1(鴨池ACアネックス6F)

## ② 県外

名 称	電 話	郵便番号	所 在 地
農林水産省(水産庁)	03(3502)8111	100-8907	東京都千代田区霞が関1-2-1
国土交通省	03(5253)8111	100-8918	東京都千代田区霞が関2-1-3
海上保安庁	03(3591)6361	100-8976	東京都千代田区霞が関2-1-3
文部科学省	03(5253)4111	100-8959	東京都千代田区霞が関3-2-2
防衛省	03(5366)3111	162-8801	東京都新宿区市谷本村町5-1
九州漁業調整事務所	092(273)2000	812-0031	福岡市博多区沖浜町8-1
(一社)大日本水産会	03(3528)8511	100-0011	東京都千代田区内幸町1-2-1 (日土地内幸町ビル3F)
全国漁業協同組合連合会	03(6222)1301	104-0033	東京都中央区新川1-28-44 (新川K・Tビル)
国立研究開発法人水産研究・教育機構	045(227)0120	221-8529	神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 (テクノウェイブ100 6F)
(公社)全国漁港漁場協会	03(6206)0066	101-0045	東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 (ウンピン神田ビル2F)
(一社)全日本漁港建設協会	03(6661)1155	104-0032	東京都中央区八丁堀3-25-10 (J R 八丁堀ビル5F)
(一財)漁港漁場漁村総合研究所	03(5259)1031	101-0047	東京都千代田区内神田1-14-10 (内神田ビル)
(公財)海外漁業協力財団	03(6895)5381	105-0001	東京都港区虎ノ門3-2-2 (虎ノ門30森ビル5F)
(独)国際協力機構	03(5226)6660	102-8012	東京都千代田区二番町5-25 (二番町センタービル)
(一社)マリノフォーラム21	03(6280)2791	104-0032	東京都中央区八丁堀1-5-2 (はごろもビル5F)
(一社)漁業情報サービスセンター	03(5547)6888	104-0055	東京都中央区豊海町4-5 (豊海振興ビル6F)
(公社)全国豊かな海づくり推進協会	03(5651)3501	103-0001	東京都中央区日本橋小伝馬町9番6号 (小伝馬町松村ビル6F)
(公社)日本水産資源保護協会	03(6280)5033	104-0042	東京都中央区入船3-10-9 (新富町ビル5F)
日本かつお・まぐろ漁業協同組合	03(5646)2381	135-0034	東京都江東区永代2-31-1 (いちご永代ビル4F)
(一社)全国近海かつお・まぐろ漁業協会	03(3526)6774	101-0047	千代田区内神田2-7-14 (トーハン第2ビル4階)
全国遠洋沖合漁業信用基金協会	03(5646)2658	135-0034	東京都江東区永代2-31-1 (いちご永代ビル8F)
日本政策金融公庫鹿児島支店	099(805)0511	892-0843	鹿児島市千日町1-1 (センテラス天文館5F)

## (3) 沿海市町村

市町村名	水産主務課	電話番号	FAX番号
長島町	水産景観課	0996-86-1137	0996-86-0950
出水市	農林水産整備課	0996-63-4133	0996-63-4131
阿久根市	環境水産課	0996-73-1162	0996-72-2029
薩摩川内市	耕地林務水産課	0996-23-8115	0996-20-5570
いちき串木野市	水産商工課	0996-33-5637	0996-32-3124
日置市	農林水産課	099-273-8870	099-273-8877
南さつま市	商工水産課	0993-53-1607	0993-52-0113
枕崎市	水産商工課	0993-73-1092	0993-73-1747
南九州市	商工観光課	0993-83-2511	0993-83-2050
指宿市	商工水産課	0993-22-2111	0993-23-4987
鹿児島市	生産流通課	099-216-1341	099-216-1336
十島村	経済課	099-222-2101	099-223-6720
三島村	経済課	099-222-3141	099-223-1832
始良市	林務水産課	0995-66-3346	0995-66-2370
霧島市	林務水産課	0995-64-0938	0995-64-0944
垂水市	水産商工観光課	0994-32-1454	0994-32-6625
鹿屋市	林務水産課	0994-31-1173	0994-43-2140
錦江町	産業振興課	0994-22-3034	0994-22-1951
南大隅町	経済課	0994-24-3128	0994-24-3119
志布志市	耕地林務水産課	099-474-1111	099-474-2377
大崎町	農林振興課	099-476-1111	099-476-1662
東串良町	農林水産課	0994-63-3123	0994-63-3138
肝付町	林務水産商工課	0994-67-4513	0994-67-2488
西之表市	農林水産課	0997-22-1111	0997-24-3115
中種子町	農林水産課	0997-27-1111	0997-27-3634
南種子町	総合農政課	0997-26-1111	0997-26-0708
屋久島町	産業振興課	0997-43-5900	0997-43-5905
奄美市	農林水産課	0997-52-1157	0997-69-3259
龍郷町	農林水産課	0997-62-4524	0997-62-2535
大和村	産業振興課	0997-57-2153	0997-57-2955
宇検村	産業振興課	0997-67-2215	0997-67-2987
瀬戸内町	水産観光課	0997-72-1114	0997-72-1120
喜界町	まちづくり課	0997-65-3690	0997-65-2797
徳之島町	農林水産課	0997-82-1150	0997-82-1101
天城町	商工水産観光課	0997-85-5382	0997-85-3110
伊仙町	経済課	0997-86-3111	0997-86-2301
和泊町	経済課	0997-84-3518	0997-92-2935
知名町	農林課	0997-84-3164	0997-93-3115
与論町	産業課	0997-97-4924	0997-97-4196

## (4) 漁業協同組合

令和8年4月1日現在

## ① 沿海地区組合 (12組合)

組合名	郵便番号	住所	電話番号	FAX	組合長名
東町	899-1401	出水郡長島町鷹巣1769-1	0996(86)1200	(86)1202	山下伸吾
北さつま	899-1614	阿久根市晴海町2	0996(72)1511	(73)2760	鶴長洋一
甑島	896-1101	薩摩川内市里町里3527-1	09969(3)2316	(3)2356	塩田耕太郎
吹上町	899-3304	日置市吹上町入来4090番地4先	099(296)2405	(296)3901	上園哲生
かいぬい	891-0602	指宿市開聞川尻5873-7	0993(32)2056	(32)4636	丸山義明
山川町	891-0511	指宿市山川福元6717	0993(34)0111	(35)3068	鮫島祐藏
鹿児島県	892-0835	鹿児島市城南町37-2	099(806)1313	(222)1408	市田恵八朗
垂水市	891-2101	垂水市海潟643-6	0994(32)1165	(32)3209	篠原重人
鹿屋市	891-2321	鹿屋市古江町7468	0994(46)3111	(46)2251	皆倉貢
内之浦	893-1402	肝属郡肝付町南方22-2	0994(67)2121	(67)2951	柳川良則
志布志	899-7102	志布志市志布志町帖6617-17	0994(72)1011	(72)2573	岩下龍司
瀬戸内	894-1506	大島郡瀬戸内町古仁屋船津38	0997(72)1135	(72)1766	上田哲生

## ○合併の状況 (平成15年度以降)

組合名	合併日	被合併組合
北さつま	H15. 4. 1	長島町、出水市、黒之浜、阿久根市、西目
甑島	H15. 10. 1	里村、上甑村、鹿島村、下甑村
屋久島	H16. 12. 1	上屋久町、屋久町
内之浦	H17. 4. 1	船間、岸良、内之浦町
奄美	H17. 12. 1	龍郷町、笠利町、大和村、住用村
おおすみ岬	H18. 2. 1	大根占町、佐多、佐多岬
指宿	H18. 4. 1	指宿市、指宿市岩本
南さつま	H18. 8. 1	野間池、秋目
とくのしま	H18. 8. 1	徳之島、天城町、伊仙町
南さつま	H25. 1. 7	南さつま、久志
日当山天降川	H28. 1. 29	日当山天降川、天降川
鹿児島県	R 2. 4. 1	串木野市島平、南さつま、喜入町、錦海、福山町、おおすみ岬
鹿児島県	R 5. 4. 1	三島村
霧島天降川	R 7. 1. 6	日当山天降川、松永、手籠川
鹿児島県	R 8. 4. 1	川内市、串木野市、市来町、江口、加世田、笠沙町、坊泊、枕崎市、指宿、谷山、鹿児島県、鹿児島市、東桜島、十島村、錦江、牛根、ねじめ、高山、東串良、種子島、南種子町、屋久島、奄美、名瀬、宇検村、喜界島、とくのしま、沖永良部島、与論町

② 内水面地区組合（14組合）

組合名	郵便番号	住所	電話番号	組合長名
広瀬川	899-0201	出水市緑町39-19	0996(62)2780	小坪洋隆
高尾野内水面	899-0401	出水市高尾野町大久保4467	0996(82)0348	高崎正風
高松川	899-1603	阿久根市鶴川内1411-3	0996(73)3428	寺園聡一
川内川	895-1815	薩摩郡さつま町西新町2-15	0996(53)0443	山下信男
川内川上流	895-2511	伊佐市大口里258	0995(22)4777	山田満
川内市内水面	895-0066	薩摩川内市五代町8135	0996(22)5656	上菌保正
甲突川	891-1205	鹿児島市犬迫町110番地先	099(238)3757	稲留慎一
別府川	899-5303	始良市蒲生町北1993-4	0995(52)1923	出水昭彦
網掛川	899-5223	始良市加治木町新生町4	0995(71)0505	木村毅
思川	899-5651	始良市脇元447	0995(65)2427	本村一雄
霧島天降川	899-5114	霧島市隼人町西光寺745-1	0995(42)6063	隈元敏明
検校川	899-4314	霧島市国分川内574-6	0995(46)1873	宮原清治
安楽川	899-7104	志布志市志布志町安楽5773-6	0994(72)1213	宮脇利廣
川辺広瀬川	897-0215	南九州市川辺町平山3234（南九州市役所川辺支所内）	0993(56)1111	小菌義文

③ 業種別組合（3組合）・水産加工業協同組合（2組合）・漁業協同組合連合会（4組合）

	組合名	郵便番号	住所	電話番号	組合長名
業種別組合	鹿児島県旋網	890-0051	鹿児島市高麗町43-20キラメキ南国ビル4階	099(256)7712	上村忍
	大隅地区養まん	893-1604	鹿屋市串良町下小原2313-1	0994(63)2796	大和治仁
	鹿児島県無線	892-0836	鹿児島市錦江町11-39	099(226)3231	上竹秀人
水産加工業組合	枕崎	898-0025	枕崎市立神本町12	0993(72)3331	的場信也
	山川	891-0501	指宿市山川新栄町9	0993(34)0155	國澤伸二
漁業協同組合連合会	鹿児島県	892-0835	鹿児島市城南町37-2	099(225)0611	（代表理事会長） 市田恵八朗
	九州信用（鹿児島統括支店）	890-0051	鹿児島市高麗町43-20キラメキ南国ビル4階	099(253)5531	（常務理事） 三浦雄一
	宇治群島	892-0835	鹿児島市城南町37-2	099(225)0611	（代表理事会長） 上村一郎
	鹿児島県内水面	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1（水産振興課内）	099(286)3433	（代表理事会長） 山田満